# リフォレ

## （I型　標準間口タイプ）

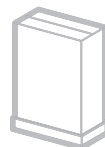
リトイレタイプ　　　：GDS-H1H*
排水芯 120 タイプ ：GDS-H1K*

# 施工説明書

※イラストは、手洗付を示す。

**梱包は以下の順序で開梱ください。**
**※施工手順ごとに梱包されています。**

手洗付の場合

施工手順

便器　→　タンクキャビネット　→　シャワートイレ

手洗なしの場合

施工手順

便器　→　タンクキャビネット　→　タンク上カウンター　→　シャワートイレ

**このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。**

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書をお渡しください。

PSU-1420（14080）

商品・施工方法についてのお問合せは

お客さま相談センター商品相談窓口　ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間　平日　　　「9:00 ～ 18:00」対応
　　　　　土日・祝日　「9:00 ～ 17:00」対応（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

# 安全のために守ってください！

商品を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

 警告　**取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。**

 注意　**取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。**

 **この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。**

 **この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。**

##  警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※感電、火災、故障の原因になります。

水道水以外に接続しないでください。
※機械内部の腐食により破損や漏水、感電、火災、
故障の原因になります。

ガタついているコンセントは使用しないでください。
※感電、火災、故障の原因になります。

濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※感電の原因になります。

交流 100V 以外では使用しないでください。
※感電、火災、故障の原因になります。

アース工事は電気設備技術基準等、関連法令・規則に従って必ず「法的有資格者（電気工事士）」による D 種設置工事（100Ω）以下を行ってください。また設置場所等の分電盤に漏電遮断器を設置してください。
※故障や漏電時に感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、感電、火災、故障の原因になります。

シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障（異音･異臭･発煙･高温･割れ）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
※感電・火災の原因になります。

シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
※感電・火災・室内浸水の原因になります。

## ⚠警告

水につけたり、水をかけないでください。
※感電、火災、故障の原因になります。

表面に結露を生じるような湿気の多くなる場所に設置しないでください。
※故障や感電の原因になります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
※感電、火災、故障の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電、火災、故障の原因となります。

## ⚠注意

手洗器、キャビネット類の固定は確実に行ってください。
※落下・転倒などによってケガをする恐れがあります。

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす恐れがあります。

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

施工完了後はキャビネットの固定、扉の傾き、ガタツキ、蝶番のゆるみがないことを確認してください。
※ゆるみがありますと使用中に落下し、ケガをする恐れがあります。

陶器は割れものです。
●施工前に輸送中の破損がないことを確認してください。
●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

ストーブやヒーターなど、熱を発生するものを近くに置かないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して拭かないでください。
※変形や変色の恐れがあります。（溶剤がつきますと跡が残ることがあります。）

取付けは施工店が行ってください。また、施工説明書の指示通りに施工してください。
※誤った施工は取付けが不安定になり、ケガをする恐れがあります。

商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃を与えたり、固いものをぶつけたり、冷水・熱湯などをかけたりしないでください。
※破損やケガの恐れがあります。

棚を切断した後は必ずバリを取ってください。
※バリ取りが不十分な場合、切断面でケガをする恐れがあります。

**◎機能部の注意につきましては、機能部に同梱されている施工説明書をご覧ください。**

▼はじめに▼



▼施工方法▼

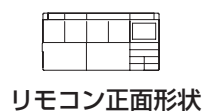
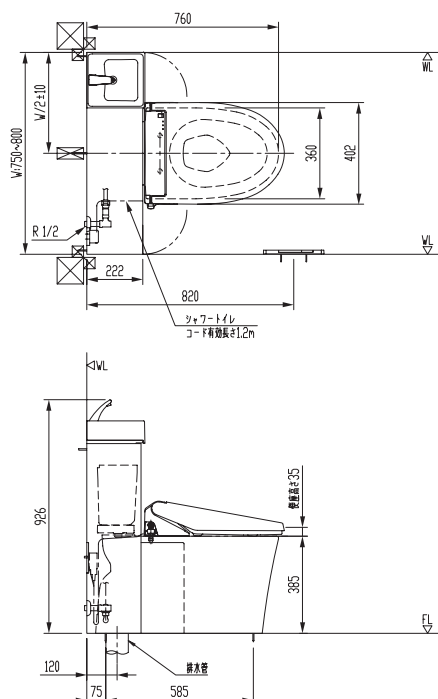
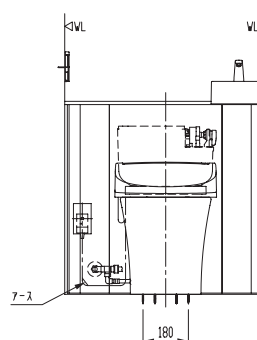
# 標準施工図

## 【リトイレタイプの場合】

便器キャビネットタンクセット：GDS-H1HX81X3

※既設の給排水管を利用するため（　）内寸法は参考寸法、給水位置は寸法表示せず。
※インバータ照明により誤作動する場合あり。

## 【排水芯 120 タイプの場合】

便器キャビネットタンクセット：GDS-H1KX81X3

※同梱の止水栓は左右給水および壁給水、床給水の双方に使用可能。
　上図の場合、壁給水を寸法表記付きの実線、床給水を破線（参考）で示す。
※インバータ照明により誤作動する場合あり。

# 施工前の確認

## 1. トイレブースと便器排水位置について

●便器後壁の左右に柱があること。

●柱の横に間柱（壁から最低 25mm）があること。

●キャビネットのビス位置の壁裏に電気配線や配管等がないこと。

●間口が 750 ～ 800, 801 ～ 850, 851 ～ 900, 901 ～ 950mm であること。ご購入の商品により間口対応幅は異なります。

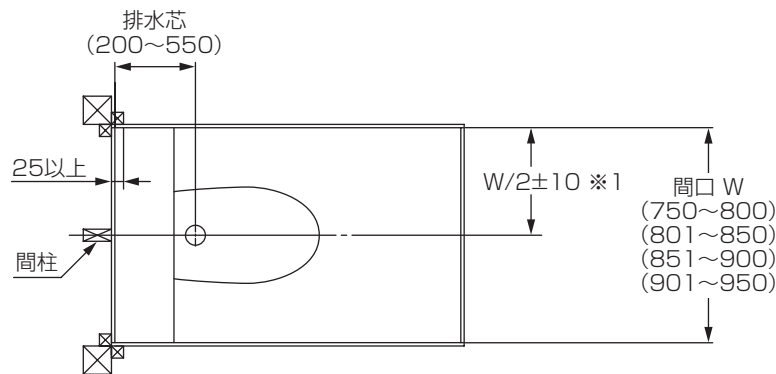
●図のように便器後方壁に間柱またはスタッドが入っていること。

●幅木がある場合、幅木の厚さ 10mm 以下、高さ 50 ～ 85mm 以下であること。

●取付壁面の不陸は 2mm/1m 以下であること。

### 【リトイレタイプの場合】 代表品番：GDS-H1H*

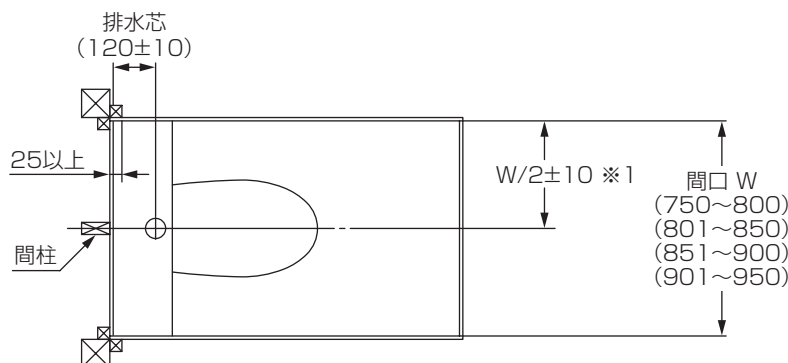
●排水芯位置が後壁から 200 ～ 550mm の範囲に入っていること。

※**排水芯が手前にずれた場合（551 ～ 580mm）**、奥行調整部材（別売：SUC-P827/ 色）を別途手配してください。

※1：排水芯が中心からずれた場合は、扉のサイズが左右で異なります。

### 【排水芯 120 タイプの場合】 代表品番：GDS-H1K*

●排水芯位置は後壁から 120 ± 10mm です。

※**排水芯が手前にずれた場合（131 ～ 190mm）**、奥行調整部材（別売：SUC-P827/ 色）を別途手配してください。

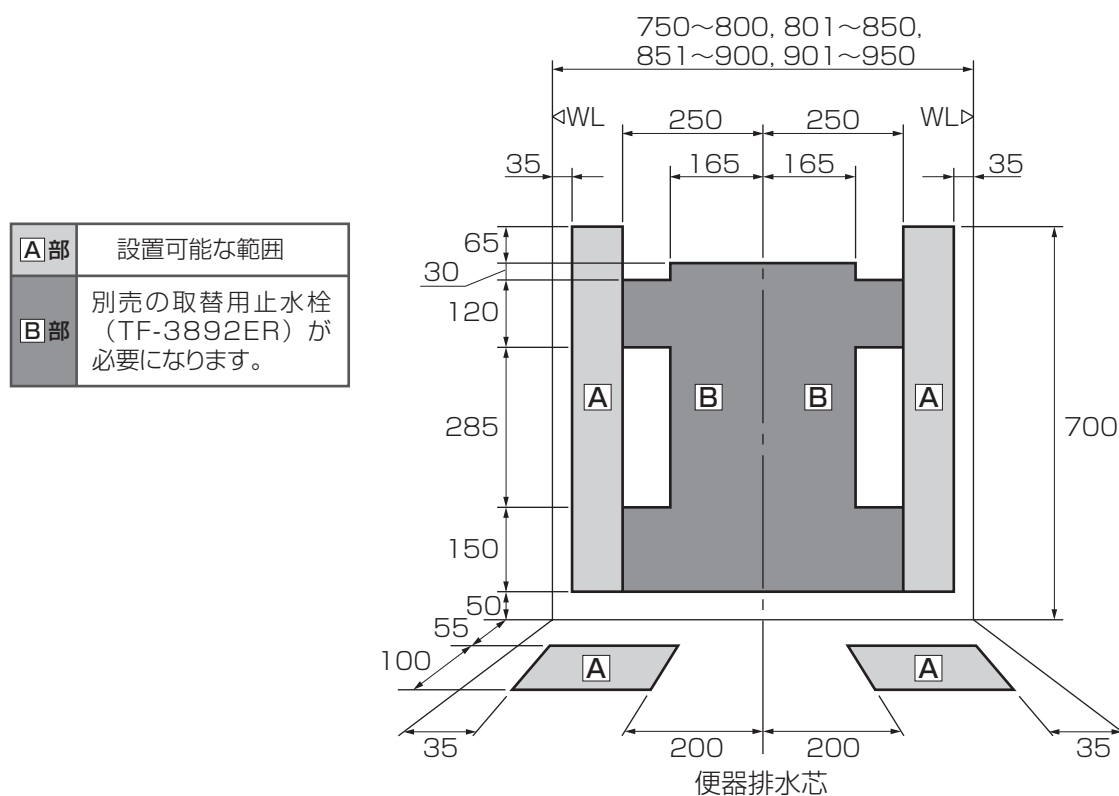
※**排水芯が奥にずれた場合（～ 110mm）**、排水を立ち上げなおしてください。キャビネットが取り付きません。

※1：排水芯が中心からずれた場合は、扉のサイズが左右で異なります。

## 2. 給水位置について

- 止水栓および給水ホース類は、同梱されているものを使用してください。
- 止水栓を給水管に取り付けるときは、ねじ部にシール材を巻き付けてください。
- 止水栓は工具でしっかり締め付けてください。

### 【リトイレタイプ、排水芯 120 タイプ共通】

- 下図の対応範囲に給水管が取り出されていること。
  ※給水位置が下図の対応範囲に入っていない場合は、給水位置の移動が必要になります。

| | |
|---|---|
| A部 | 設置可能な範囲 |
| B部 | 別売の取替用止水栓（TF-3892ER）が必要になります。 |

## 3. コンセントについて

●**寒冷地ヒーター付便器の場合は、1 口コンセントを別に設置してください。**
※コンセントは KA21GQ タイプの場合は **AC100V、最大定格 350W** に適していること。KA22GQ タイプの場合は**最大定格 390W** に適していること。EA14Q、EA13Q、EA12Q タイプの場合は**最大定格 1300W** に適していること。
※**ヒーター付便器の場合**は、最大定格に 27W を加えた電気配線をしてください。

●**必ずアース工事（D 種接地工事）を行ってください。**

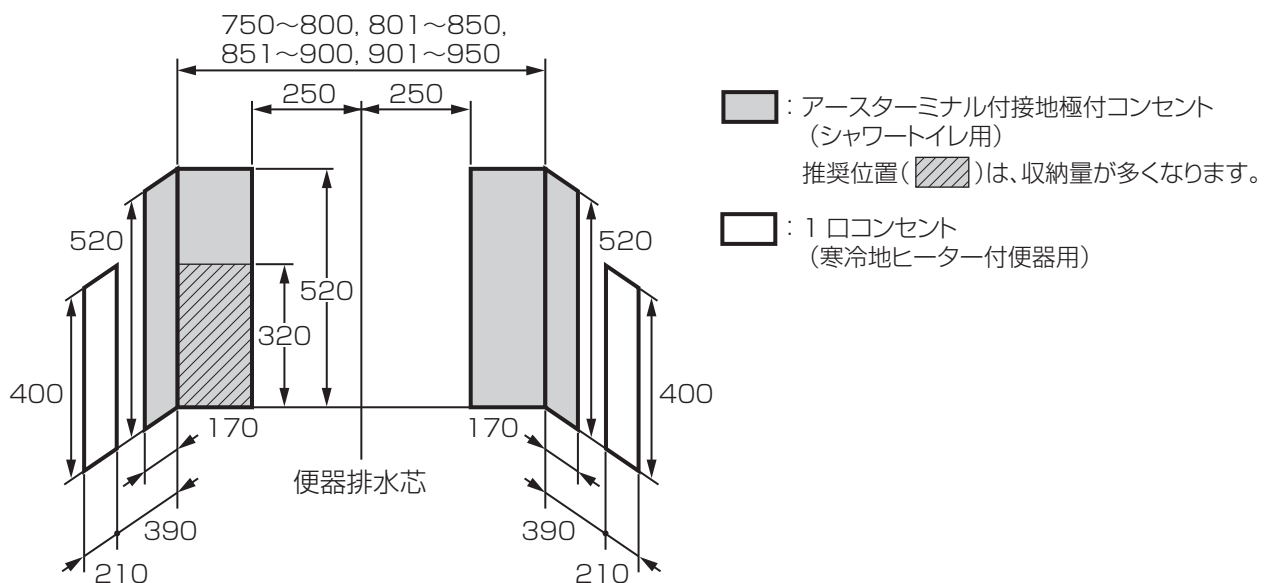
●**配線工事は電気工事店にご依頼ください。**

●施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

●シャワートイレの電源コードの長さは 1.2m です。

### 【リトイレタイプ、排水芯 120 タイプ共通】

●アースターミナル付接地極付コンセントが下図の対応範囲にあることを確認してください。
※下図の範囲にコンセントが入っていない場合は、電源コードが届かなかったり、扉とコンセントが干渉する恐れがあるため別途移動工事が必要です。

●アースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。

# 取付前の注意

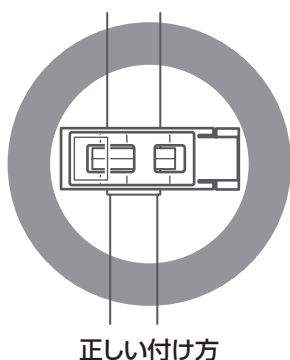
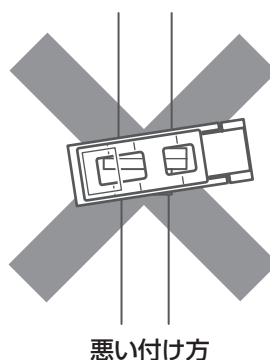
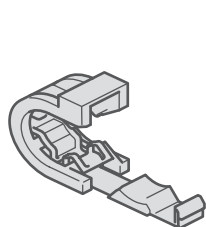
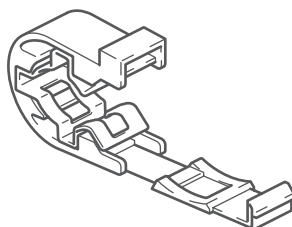
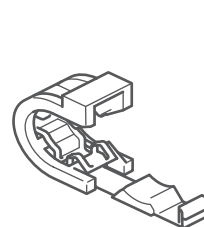
## 1. 水圧の確認

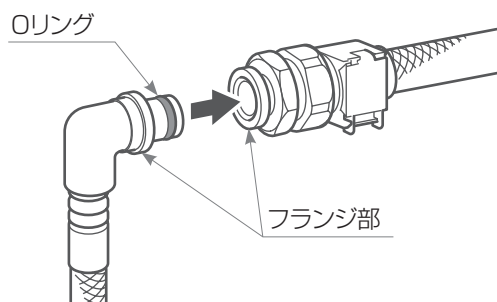
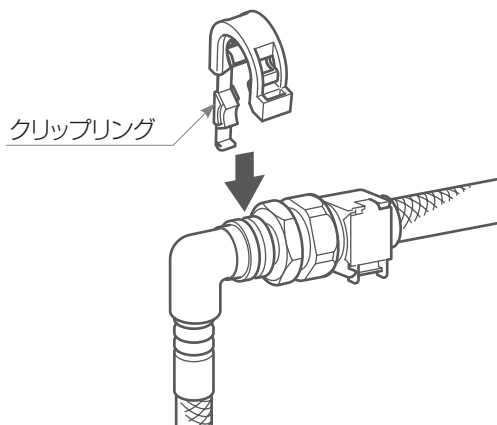
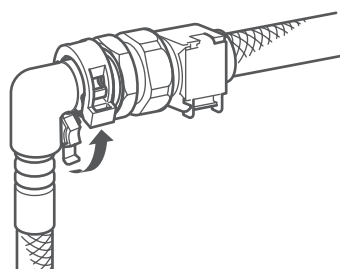
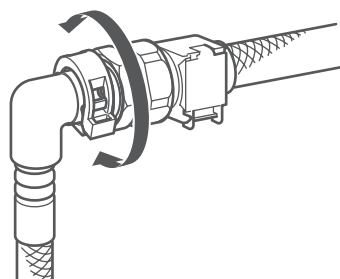
●**給水圧力は、0.06MPa（流動圧）以上です。また最高水圧は 0.75MPa（静水圧）です。**
※ 0.06MPa 未満では、満足なシャワーが得られません。このような場合は、お求めの取扱店にご相談ください。

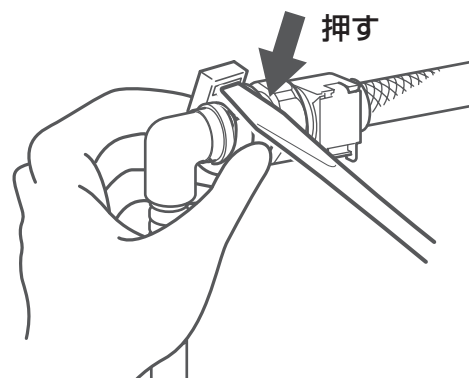
## 2. 配管、給水・排水ホース類の注意

●**給水は必ず水道水に接続してください。**
※中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。また、機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

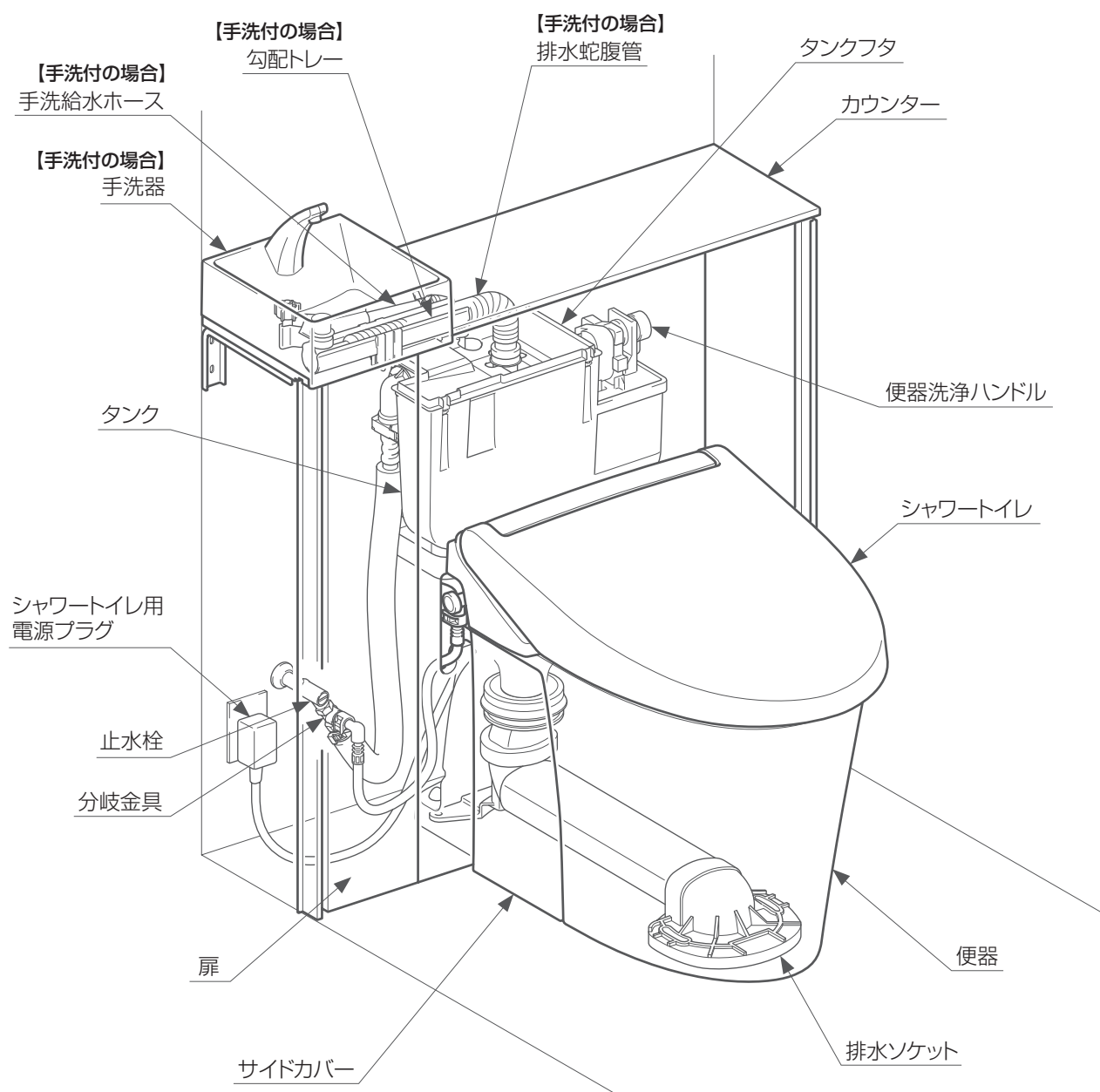
●**給水配管はぐらつきがないように、しっかりと固定してください。**
※漏水する恐れがあります。

●**給水・排水ホース類の接続は、クリップリングで確実に固定してください。**
※漏水する恐れがあります。

●クリップリングは、3 種類あります。本書の指示に従って適切なクリップリングを使用してください。

**●クリップリングの取り付け方**

①ホースをフランジ部がぴったりと合わさるまで差し込みます。このとき、O リングを傷つけないように注意してください。
※漏水の原因になります。

②クリップリングを両フランジ部に挟み込むように「パチン」と差し込みます。

③クリップリングを折り曲げ、「カチッ」と音がするまではめ込みます。

④クリップリングを回転させ、確実にはまっていることを確認してください。

**●クリップリングの外し方**

クリップリングを外す際は、クリップリングを指で押さえ、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように下方向に押すようにして外してください。

## 3. シャワートイレの注意

**●シャワートイレに同梱の施工説明書をご確認ください。**

# 各部のなまえ

※この施工説明書のイラストは、代表として排水芯 200 ～ 550mm 手洗付で示しています。

# 部品の確認

●シャワートイレの部品につきましては、それぞれに同梱されている施工説明書をご覧ください。

※品番により形状が異なる場合があります。



## 【便器部】

## 【タンクキャビネット部】

手洗なしの場合

タンクフタ
エンドキャップ
平ワッシャー
タンク
スプリングワッシャー
タンク固定ナット
タンク給水ホース
工具
(タンク固定ナット用)
クリップリング
(グレー)
クリップリング
(白：大)

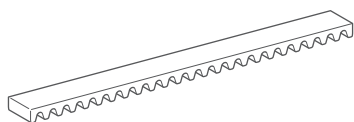
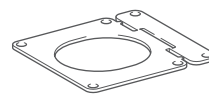
手洗付の場合

手洗器
カウンター
タンクフタ
手洗吐水口
スペーサー
勾配トレー
排水蛇腹管
クリップ
タンク
平ワッシャー
クイックファスナー（大）
給水管防露材
手洗給水
エルボ
スプリングワッシャー
クイックファスナー（小）
タンク固定ナット
タンク給水ホース
パッキン
クリップリング
(グレー)
クリップリング
(白：大)
工具
(タンク固定ナット用)

前扉
後扉
扉
タンクキャビネット
カウンターブラケット
サイドカバー
シャワートイレ
給水ホース
棚
クリップリング
(白：小)
皿ねじ
(φ4×40)
木ねじ
(φ4.5×45)
トラスねじ
(φ4×14)
キャップ
当たり止め
スプーンねじ
(φ3.8×51)
止水栓シール

## 【カウンター部】 手洗なしの場合のみ

**取替用止水栓・奥行調整部材・エンドパネル・防振シート・床排水用ソケットスペーサーを使用する場合、事前に部材の設置・準備が必要です。**

※必ず、先に上記部材の施工説明書をお読みください。カウンターブラケット・便器などの設置や取付ねじ・下穴の変更などがありますのでご注意ください。

# STEP 1 便器の取付け

## 1 止水栓と分岐栓の取付け

【便器同梱品】

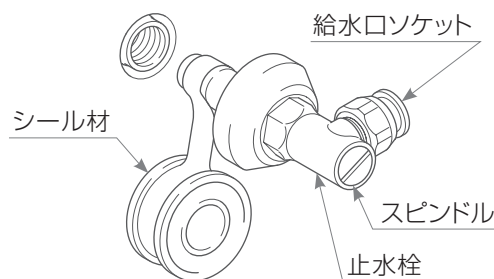
### ① 壁・床仕上げ完了後、 止水栓を取り付ける。

- 止水栓を給水管に取り付けるときは、ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けてください。
- 取替用止水栓を使用する場合は、止水栓に同梱されている説明書を参照して取り付けてください。
- 同梱されている止水栓は、初めは開いていますので、取付後にスピンドルを回して閉めてください。

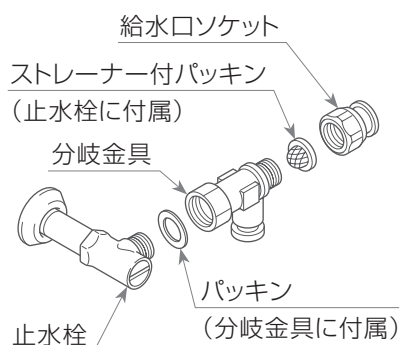
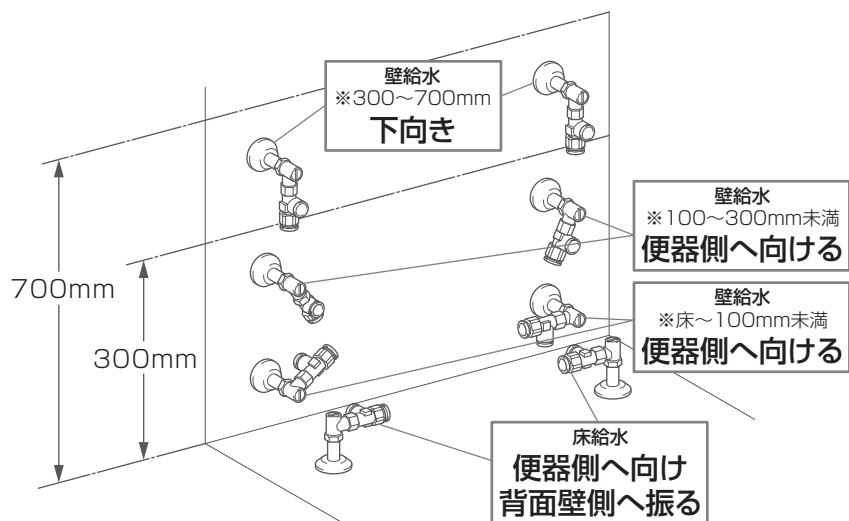
**⚠注意**

**●止水栓に手をかけたり、踏んだりしないでください。**

※配管がぐらついたり、破損して漏水の原因になります。

※壁や床を傷める恐れがあります。

※イラストは左側壁給水を示す。

### ② 止水栓から給水口ソケットを外し、分岐金具および給水口ソケットを取り付ける。

- 各接続部にパッキンを入れてください。

※止水栓と分岐金具は、図の方向で取り付けてください。

# 2 排水接続部材の取付前準備



## ■ 既設排水接続部材（排水ソケットなど）の確認

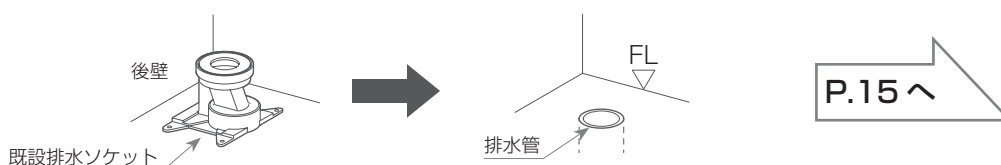
**① 既存の便器を取り外す。**

**② 既設の排水ソケットタイプを確認し、下記の取り外し手順で取り外す。**

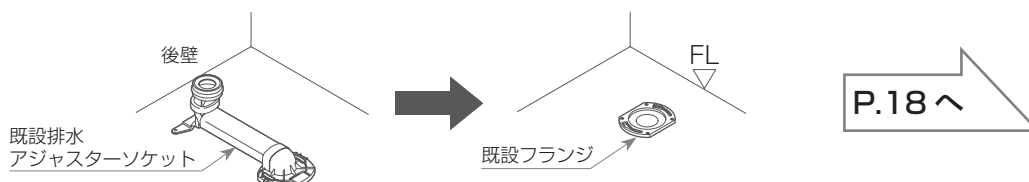
・既設の床固定部材がある場合は、このタイミングで取り外してください。

### 【A：排水ソケットタイプの場合】

・既設の排水ソケットを取り外し、床仕上げ面で排水管を切断した状態に戻します。

P.15へ

### 【B：排水アジャスターソケットタイプの場合】

・既設のアジャスターソケットを取り外し、フランジのみの状態に戻します。既設のフランジはそのまま使用できますので、排水アジャスターソケットの取り付けに進みます。

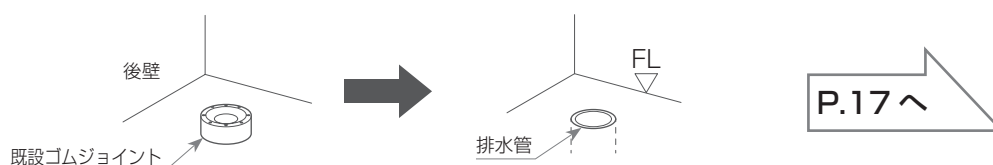
P.18へ

### 【C：フランジタイプの場合】

・既設のフランジはそのまま使用できますので、排水アジャスターソケットの取り付けに進みます。

P.18へ

### 【D：排水ゴムジョイントタイプの場合】

・既設の排水ゴムジョイントを取り外し、床仕上げ面で排水管を切断した状態に戻します。

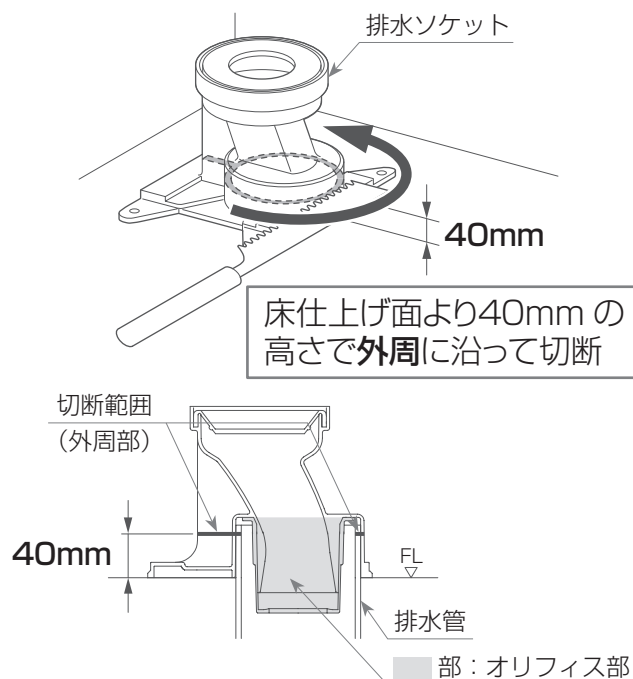
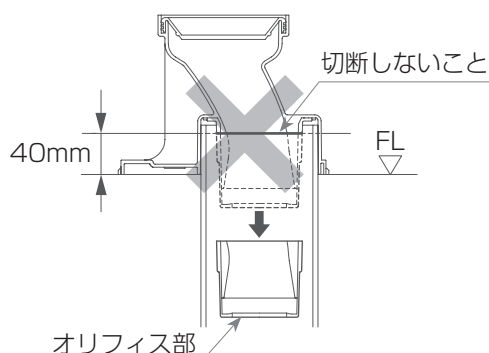
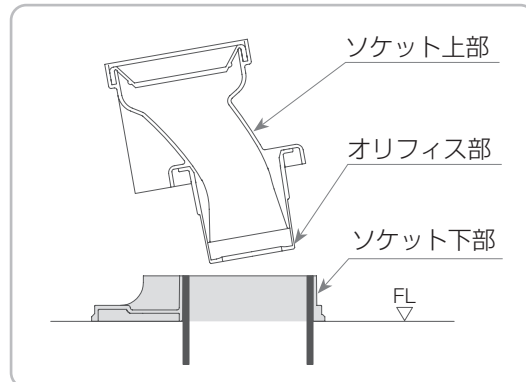
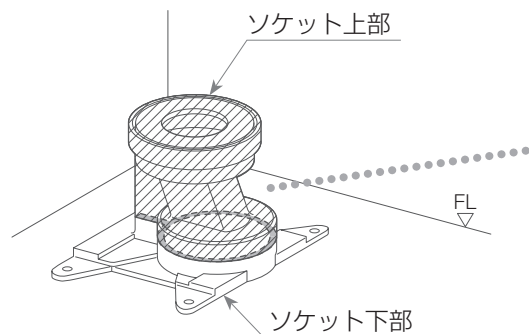
P.17へ

## ■ 既設排水接続部材の取外し

- 下記の手順で排水接続部材を取り外します。

### 【A：排水ソケットタイプの場合】

① 床に固定しているビスを外し、外周部のみを高さ40mmの位置で切断する。

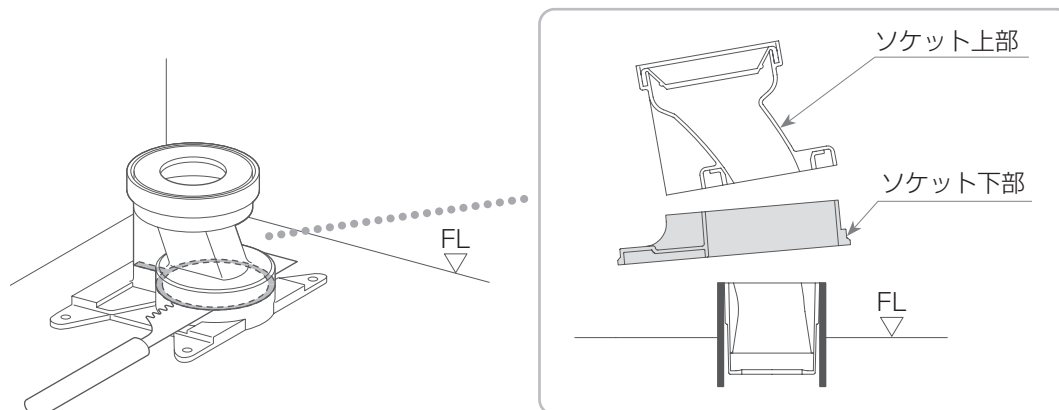
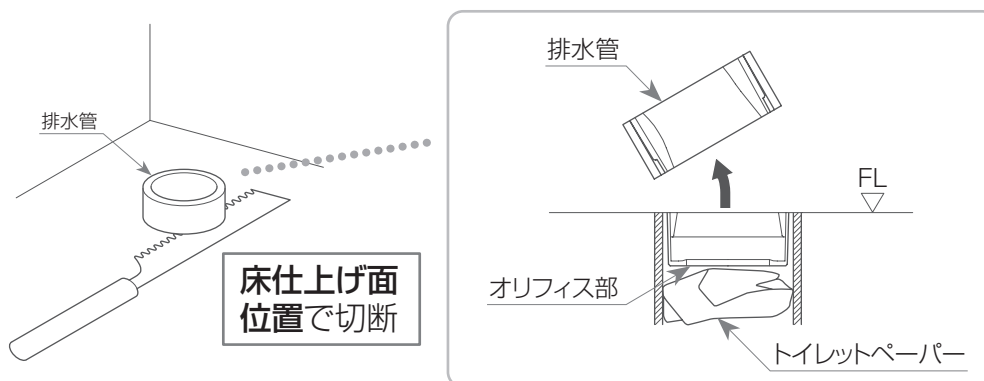
⚠ 注意

●内部まで切断しないでください。
※内部まで切断すると、排水管径によってはオリフィス部が落下し、排水管つまりの原因となる場合があります。

② ソケット上部が取り外せるか確認する。

### ＜ソケット上部が外せる場合＞

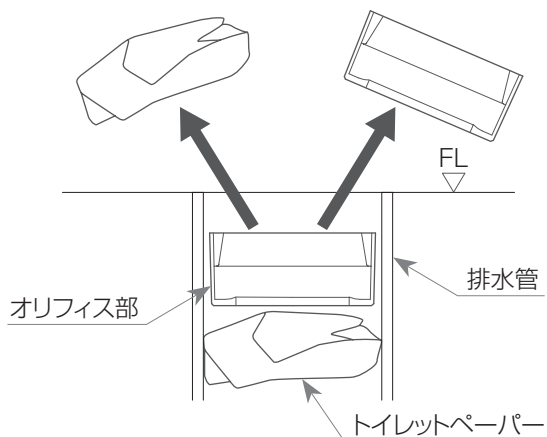
- オリフィス部がソケット上部についた状態で外れますので、残ったソケット下部を床面とソケット下部の間で排水管を切断し取り外します。

次は、P. 18 3 排水接続部材の取付け へ進みます。

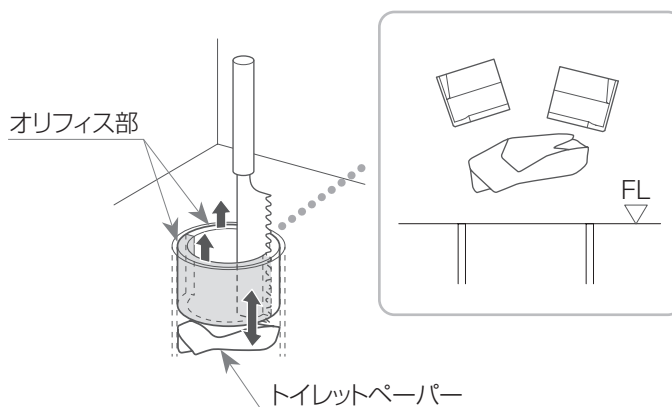
＜ソケット上部が外せない場合＞

① 外周部を切断した位置で内部も切断し、ソケットを取り外す。

② 排水管内のオリフィス部落下防止のため、丸めたトイレットペーパーをオリフィス部の下方に詰め、排水管を床面（F.L）位置で切断する。

③ 排水管内のオリフィス部が外せるか確認する。

＜オリフィス部が外せる場合＞

- オリフィス部と落下防止のために詰めたトイレットペーパーを取り除きます。

＜オリフィス部が外せない場合＞

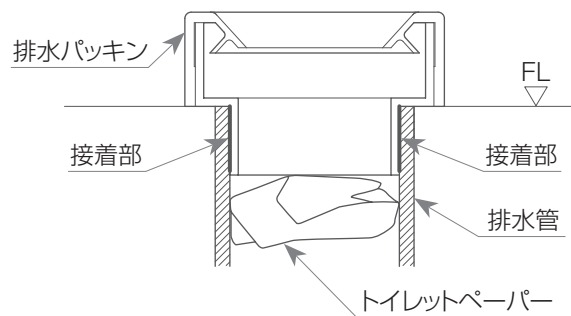
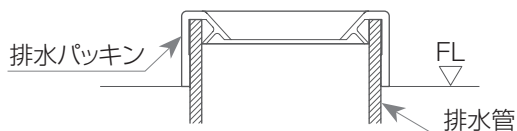
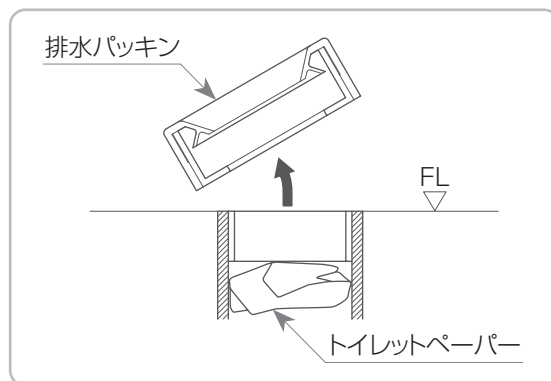
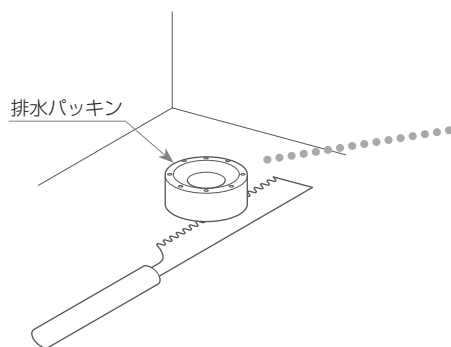
- 縦に切れ目を入れ、接着部はタガネ等を使用して取り外します。

※ 漏水や臭気漏れの原因となるので、排水管をキズつけないように取り外してください。

次は、P. 18 3 排水接続部材の取付け へ進みます。

## 【D：排水ゴムジョイントタイプの場合】

① 排水管内に接着部がある場合は丸めたトイレットペーパーを接着部の下方に詰め、落下防止処置をする。

⚠ 注意

●排水管に排水パッキンが差込まれているだけの場合は、落下防止処置は必要ありません。

② 排水管を床仕上げ面で切断する。

③ 排水管内に接着部が残っている場合は取り除く。

・縦に切れ目を入れ、接着部はタガネ等を使用して取り外します。

⚠ 注意

●排水管にキズをつけないように注意して取り外してください。

※漏水や臭気漏れの原因となるので、排水管をキズつけないように取り外してください。

次は、P. 18 3 排水接続部材の取付け へ進みます。

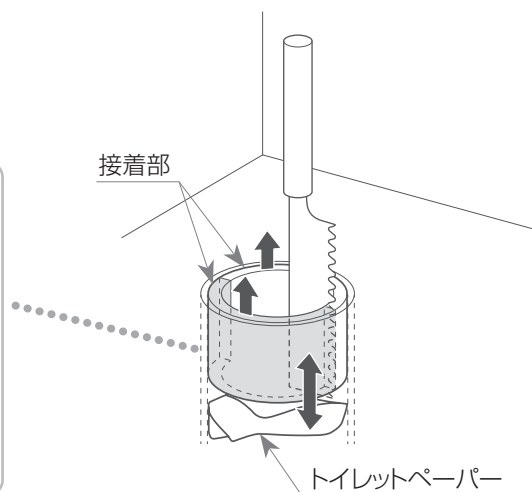
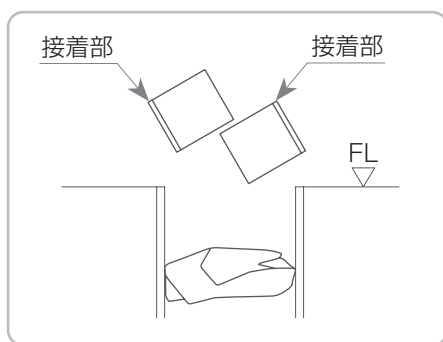
STEP 1 2 排水接続部材の取付前準備

# 3 排水接続部材の取付け

【便器同梱品】

アジャスターソケットタイプ
- 排水アジャスターソケット
- T ボルト
- フランジナット
- ワッシャー

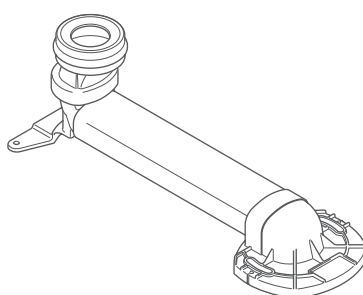
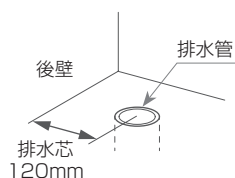
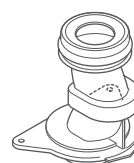
ソケットタイプ
- 排水ソケット
- 変換アダプター（VP100 用）
- 変換アダプター（VU75 用）
- 変換アダプター（VU100 用）

- 便器固定用木ねじ
- ワッシャー
- 便器施工型紙



## ■ 排水接続部材の取り付け手順の確認

### ① 便器に同梱されている排水接続部材を確認する。

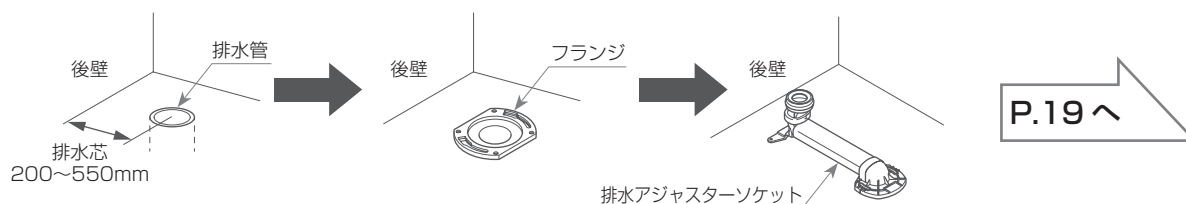
⚠ 注意

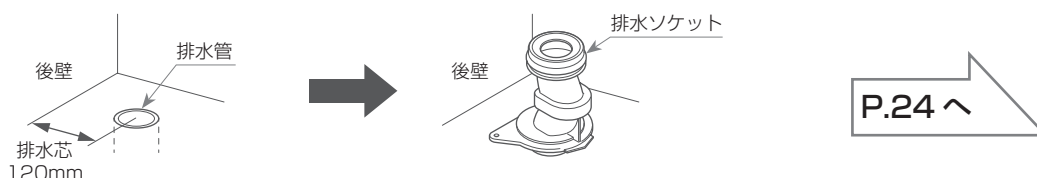
●排水ソケットは排水芯 120mm 専用です。取り付ける排水管の取り出し位置が壁から 120mm であることを確認してください。

A: 排水アジャスターソケット
（対応排水芯：200～550mm）

B: 排水ソケット
（対応排水芯：120mm）

### ② 確認した排水接続部材を下記手順で取り付ける。

・既設の排水接続部材はご使用できません。必ず同梱の排水接続部材をご使用ください。

### A：排水アジャスターソケット（対応排水芯 200 ～ 550mm）の場合

・排水管にフランジが取り付いていない場合は、同梱のフランジを取付けてから排水アジャスターソケットを取り付けます。※既にフランジが取り付いている場合は、フランジ取り付けは必要ありません。

### 【B：排水ソケット（対応排水芯 120mm）の場合】

・既設の排水管に排水ソケットを取り付けます。

## ■ 排水接続部材の取り付け

- 下記の手順で排水接続部材を取り外します。

### 【A：排水アジャスターソケット（対応排水芯 200 ～ 550mm）の場合】

・既設排水管にフランジが付いていない場合は、下記の手順でフランジを取り付けます。既にフランジが付いている場合は、手順① P.20 へ進み排水アジャスターソケットを取り付けます。

## ■ フランジの取り付け

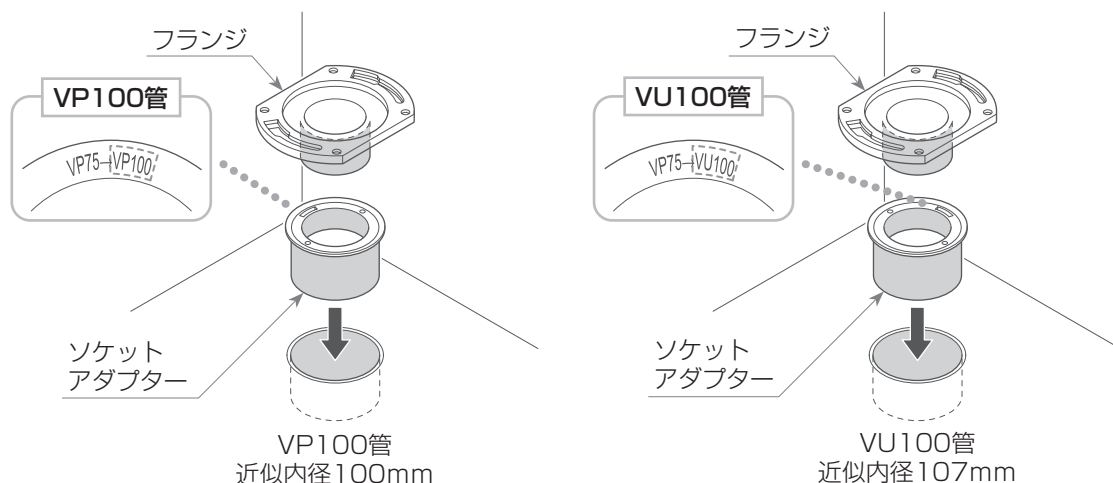
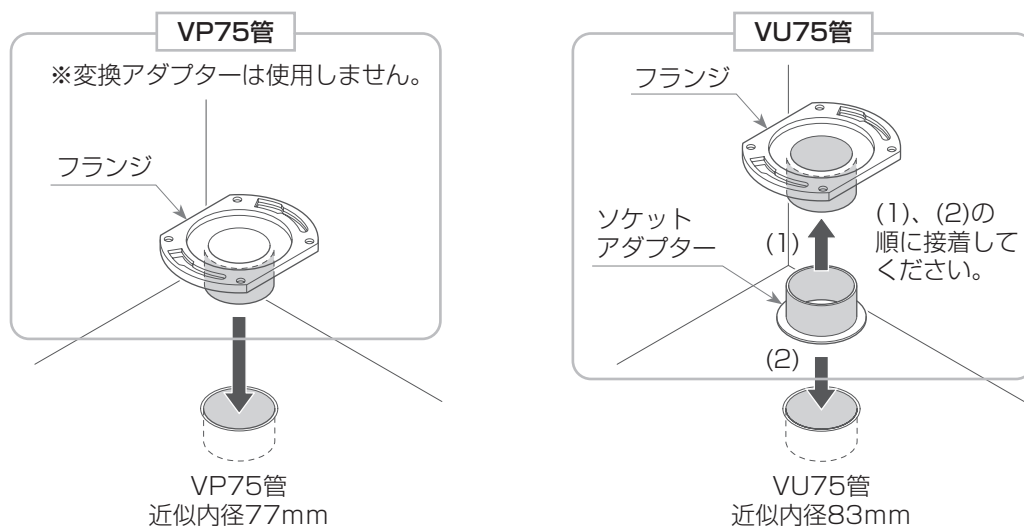
- 接着剤を塗布する排水管とソケットアダプター、フランジの汚れを取ります。
- 下記の接着剤塗布部（網掛け部分）に塩ビ管用接着剤を塗り、接着します。

⚠ 注意

●フランジ、変換アダプター、排水管の接着は確実に行ってください。

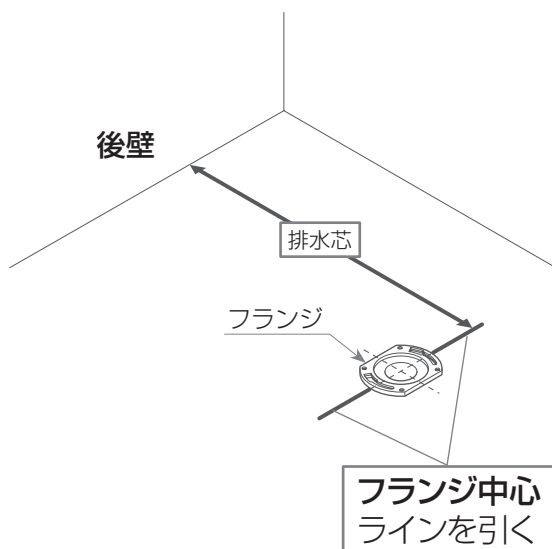
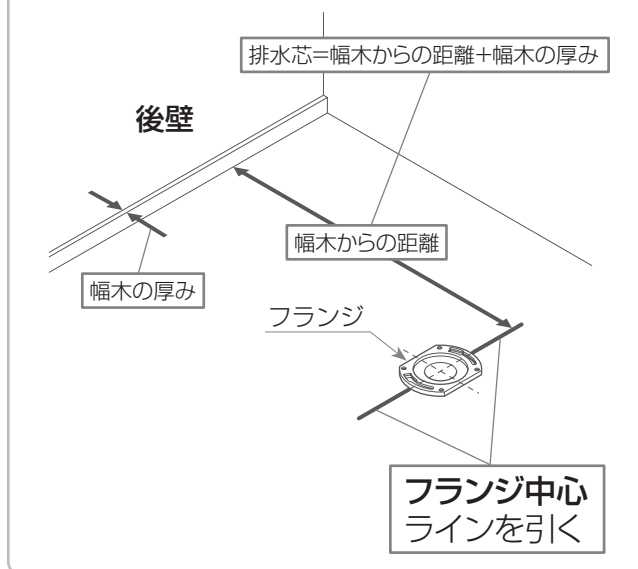
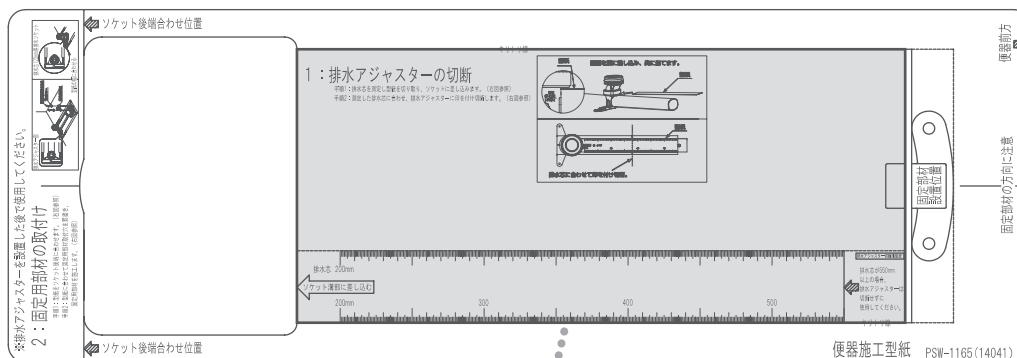
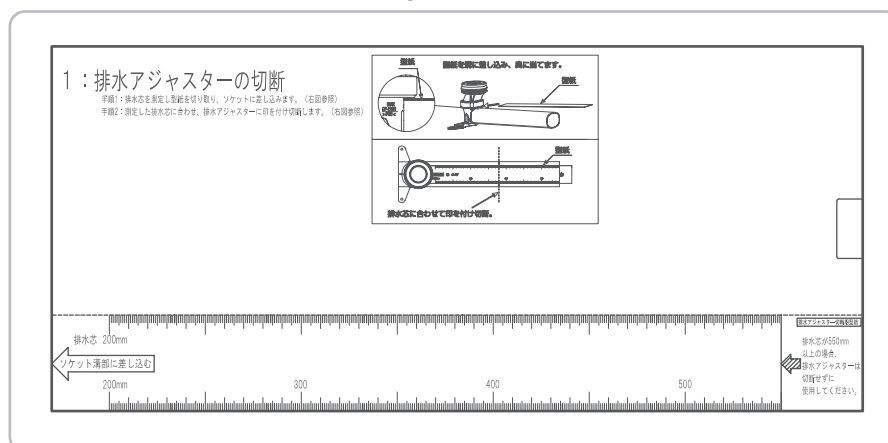
●隙間やガタがある場合は、塩ビ管用接着剤とコーキング剤を併用してシール接着してください。

※接着が不十分ですと、漏水や臭気の原因になります。

【排水管が100管(排水管外径: 114mm)】

【排水管が75管(排水管外径: 89mm)】

## ① フランジ中心ラインを引き、排水芯の寸法を測定する。

・幅木がある場合は、幅木からフランジ中心ラインの距離に幅木の厚みを足したものが排水芯の寸法になります。

**⚠ 注意**

**●便器の取り付け位置を決める重要な線となります。必ず実施してください。**
※便器の取り付け位置を間違えるとタンク、キャビネットが取り付けできなくなる恐れがあります。

## ② キリトリ線に沿って便器施工型紙の網掛け部分を切り取る。

## ③ 切り取った型紙を排水アジャスター部の溝部に差し込み、①で測定した排水芯長さで切断する。

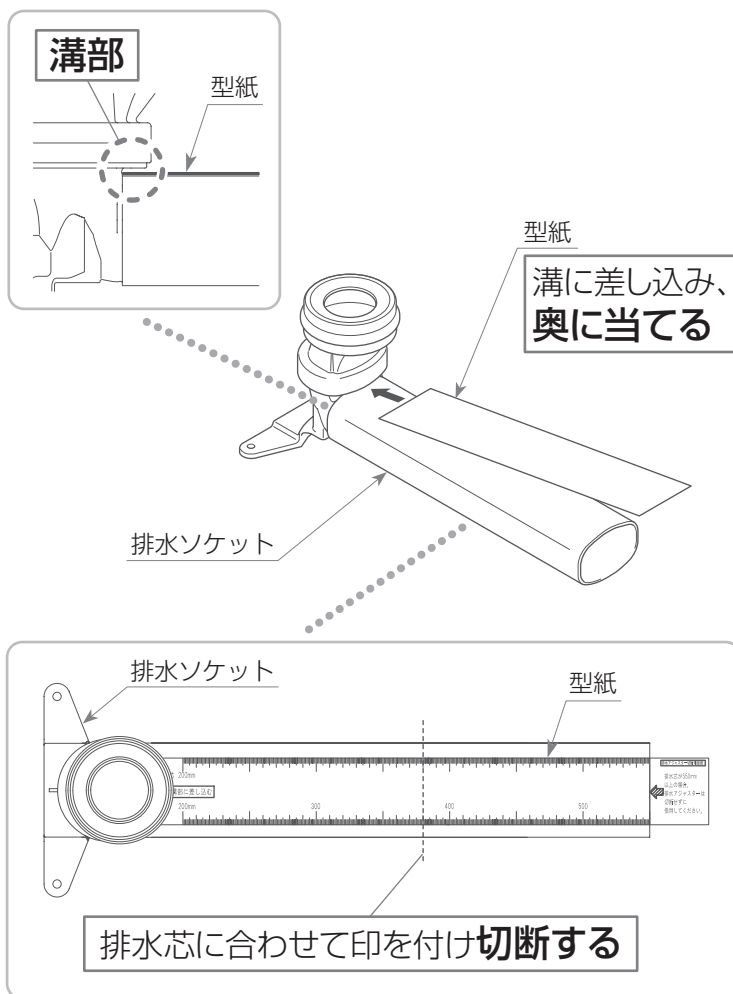
・排水芯が 550mm のときは排水アジャスター部を切断しないでそのまま使用できます。

⚠注意

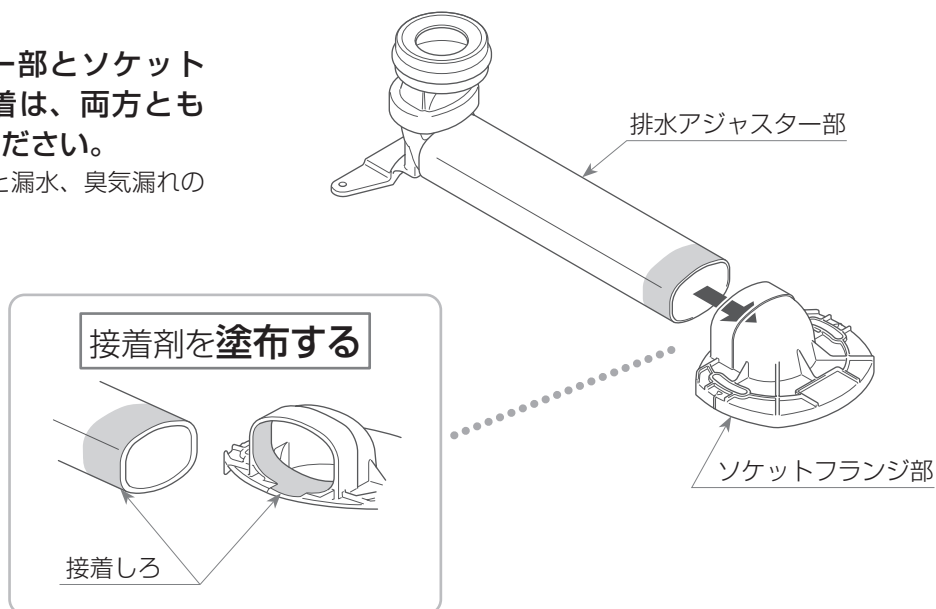
●排水アジャスター部やソケットフランジ部を誤って落とさない様にしてください。
※部材の損傷部から漏水する恐れがあります。

●切断後、ソケットフランジ部を再度差し込んで排水アジャスター部の長さが正しいか確認してください。
※長さを間違えると便器の取付位置がずれ、施工不良の原因となります。長さを間違えた場合は再度ソケットを手配しやり直してください。
（手配品番：CF-Z10HG-SET）

●切断は排水アジャスター部に対して垂直に行ってください。
※斜めに切断すると漏水、臭気漏れの原因となります。

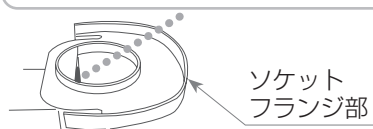
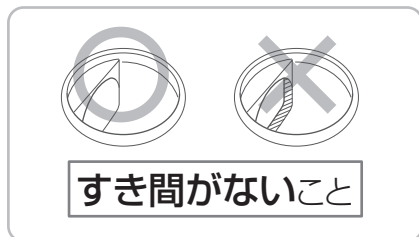
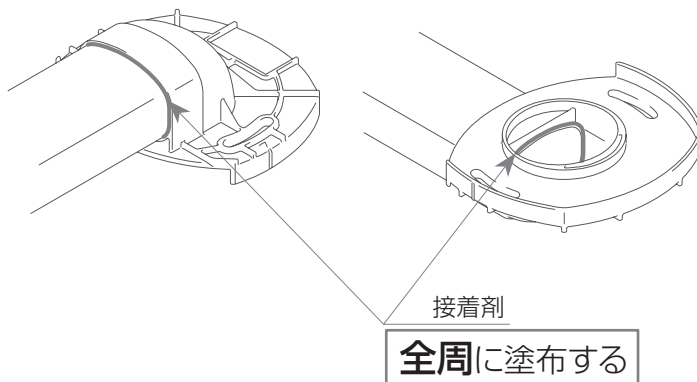
●切断後、排水アジャスター部にバリ等が残らないようにしてください。
※バリ等が残ると接着が不十分となり漏水、臭気漏れの原因となる恐れがあります。

## ④ 排水アジャスター部とソケットフランジ部の接着しろに接着剤を２、３回重ね塗りする。

⚠注意

●排水アジャスター部とソケットフランジ部の接着は、両方とも確実に塗布してください。
※接着が不十分ですと漏水、臭気漏れの原因となります。

## ⑤ 排水アジャスター部をソケットフランジ部の奥まで差し込み、外側と内側両方の端部に接着剤を塗る。

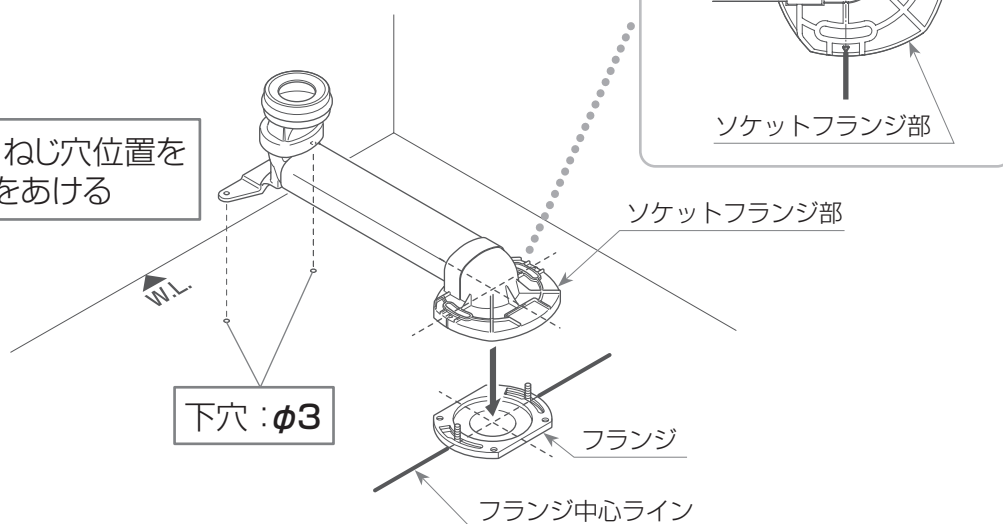
⚠ 注意

●ソケットフランジ部裏側から見て排水アジャスター部が奥までピッタリ差し込まれていることを確認してください。

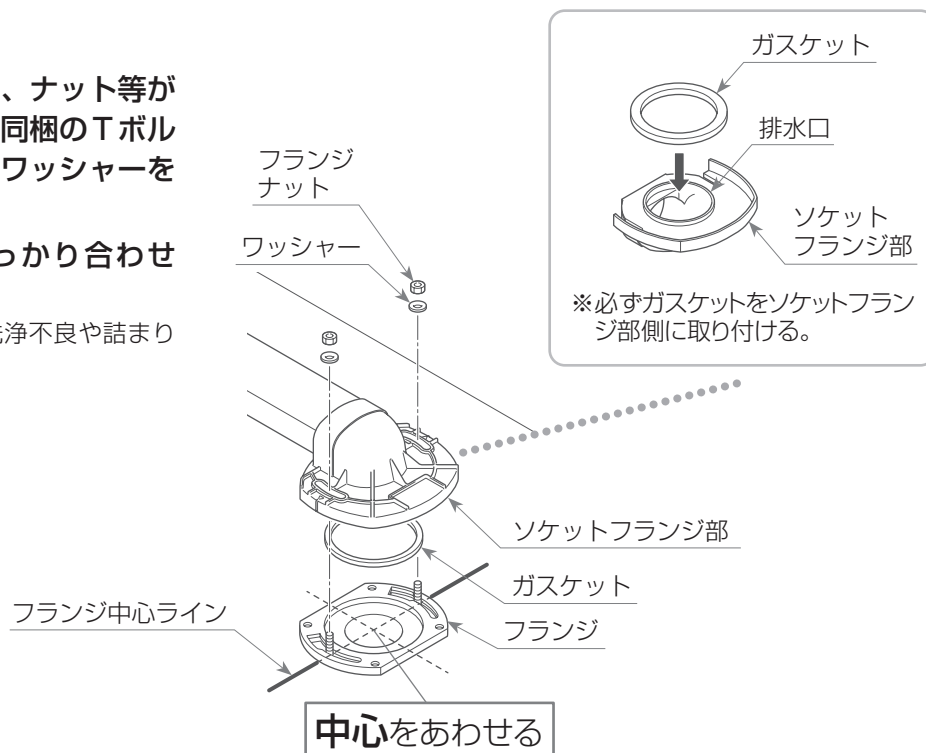
※接着が不十分ですと漏水、臭気漏れの原因となります。

## ⑥ ソケットフランジ部をフランジ中心ラインに合わせて仮置きし、ねじ穴位置をケガき、下穴をあける。

⚠ 注意

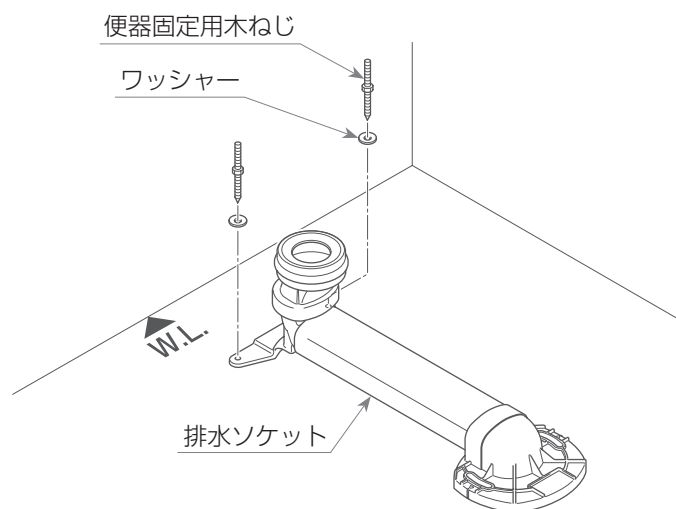
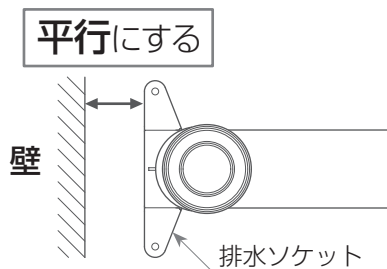
●床がタイルまたはコンクリートの場合は AY ボルト（AY-86D）を使用します。

※AY ボルトを使用する場合の下穴は φ 11mm、深さ 55mm になります。

## ⑦ ソケットフランジ部の排水口外周に同梱のガスケットを付け、それぞれの中心を合わせ、フランジナットで固定する。

**⚠注意**

- **既設フランジのボルト、ナット等が腐食している場合は、同梱のTボルト、フランジナット、ワッシャーを使用してください。**
- **フランジの中心をしっかり合わせてください。**
  ※ずれて施工されると、洗浄不良や詰まりの原因となります。

## ⑧ 排水アジャスター部を同梱の便器固定用木ねじで固定する。

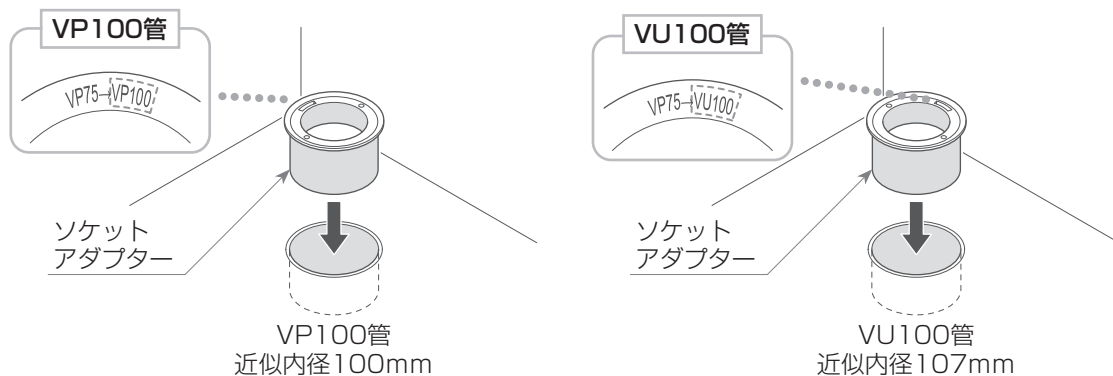
**⚠注意**

- **床面の傾きや不陸にご注意ください。**
  ※逆勾配で設置すると洗浄不良や詰まりの原因となります。
- **フランジナットでの固定の際は、締め過ぎないようにしてください。**
  ※フランジが破損し、漏水の恐れがあります。
- **排水アジャスター部は後ろ壁に対して平行になっていることを確認してください。**
  ※斜めに取付けると便器が斜めに取り付き、キャビネットや洗浄タンクが取付けられなくなる恐れがあります。

次は、P. 26 4 便器の取付け へ進みます。

## 【B：排水ソケット（対応排水芯 120mm）の場合】

① 排水管の内側、使用する変換アダプターの接着面（網掛け部分）をきれいにし、接着面に塩ビ管用接着剤を塗り接着する。

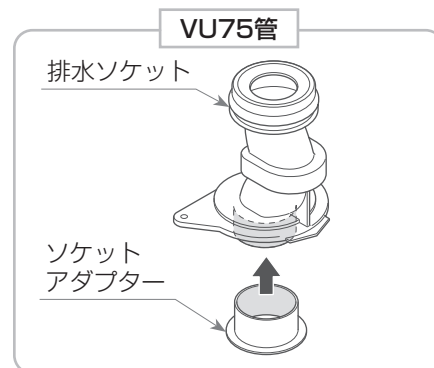
・排水管の種類によって使用する変換アダプターが異なります。排水管の内径を確認し適切な変換アダプターを使用してください。

【排水管が100管（排水管外径: 114mm）】

**⚠注意**

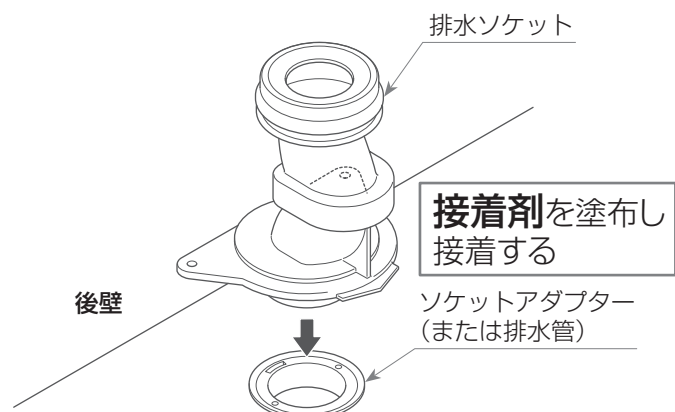
●**排水管とソケットアダプターは正しい組み合わせで使用してください。**
※組み合わせを間違えると組付けできなかったり漏水、臭気漏れの原因となります。

●**ソケットアダプターと排水管の接着は確実に行ってください。また、すきまやガタがある場合は、塩ビ管用接着剤とコーキング剤を併用してシール接着してください。**
※接着が不十分ですと漏水、臭気漏れの原因となります。

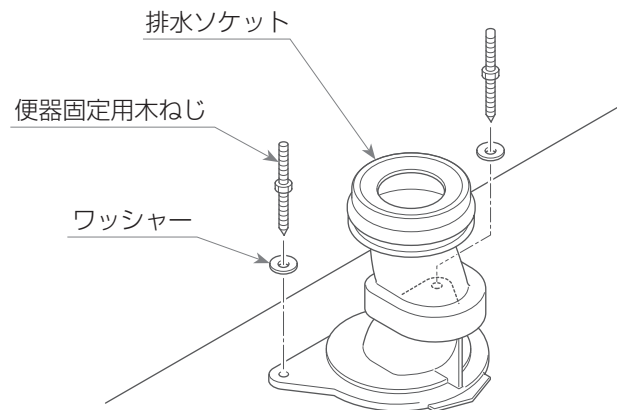
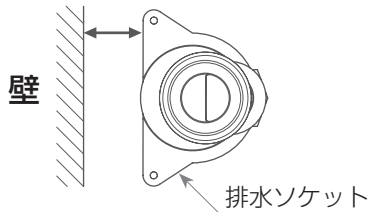
【排水管が75管（排水管外径: 89mm）】

排水管への変換アダプターの接着はしません。
VU75管を使用するときのみソケットアダプターを排水ソケットに接着します。

① 排水管（またはソケットアダプター）と排水ソケットの接着部をきれいにし、接着部に塩ビ管用接着剤を塗布し接着する。

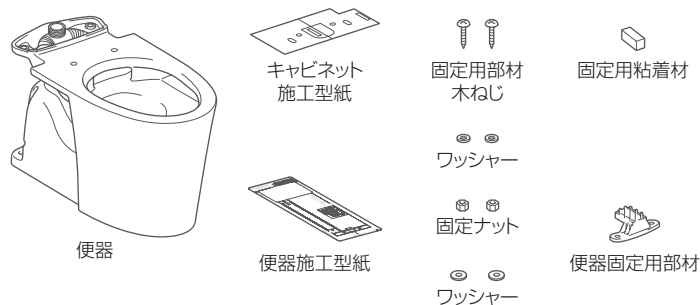
**⚠注意**

●**排水ソケットを誤って落とさないようにしてください。**
※排水ソケットが破損し、漏水の原因となります。

## ② 便器固定用木ねじで排水ソケットを床に固定する。

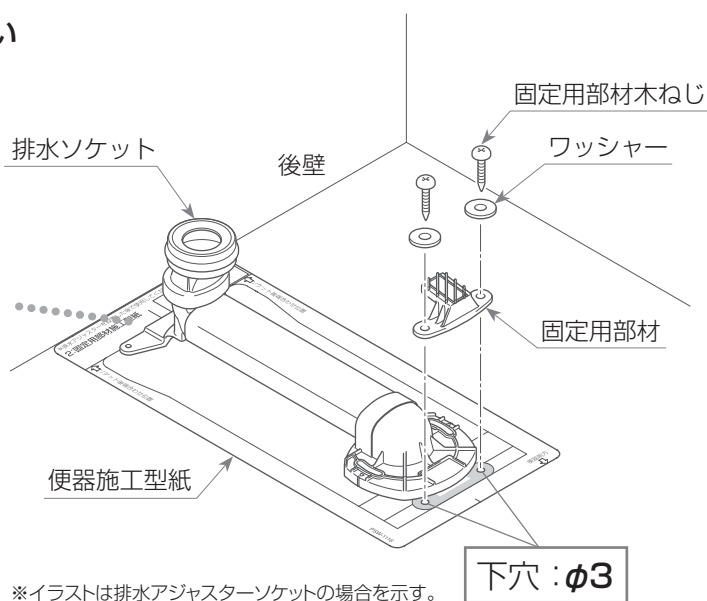
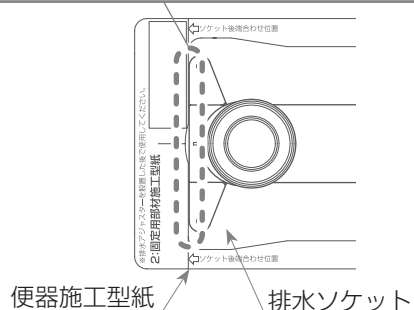
⚠注意

●**排水ソケットは後ろ壁に対して平行になっていることを確認してください。**
※斜めに取付けると便器が斜めに取り付き、キャビネットや洗浄タンクが取付けられなくなる恐れがあります。

次は、P. 26 4 便器の取付け へ進みます。

## 4 便器の取付け

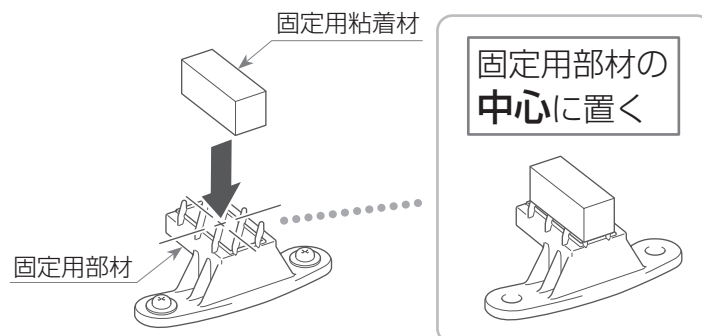
【便器同梱品】

### ① 便器施工型紙を排水アジャスター部後端に合わせて固定用部材のねじ穴位置をケガき、便器施工型紙を取り外して下穴をあけ固定用部材を木ねじで固定する。

⚠ 注意

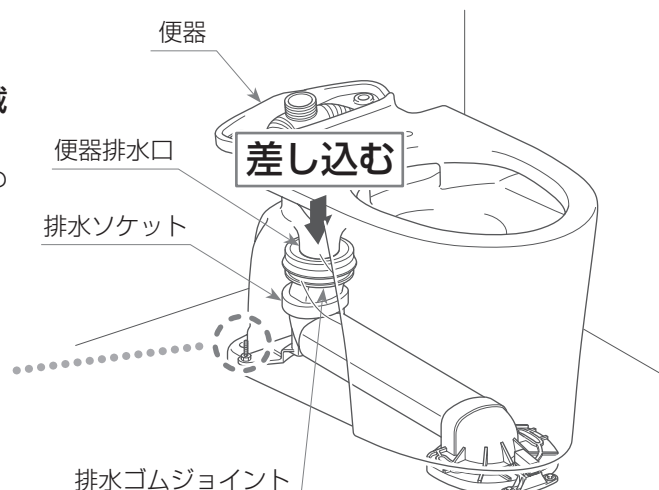
- **床がタイルまたはコンクリートの場合はAY ボルト(AY-23W)を使用します。**
  ※AY ボルトを使用する場合の下穴はφ 11mm、深さ 55mm になります。
- **固定用部材に切粉等のゴミが付着しないようにしてください。**
  ※便器固定不良の原因となります。

※イラストは排水アジャスターソケットの場合を示す。

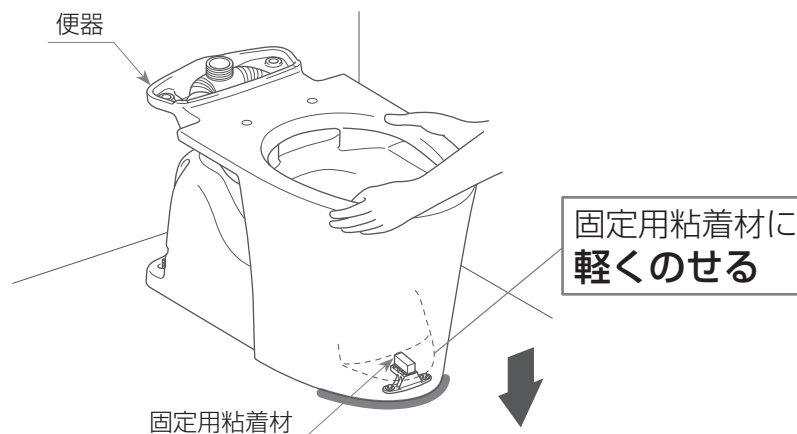
### ② 固定用粘着材を固定用部材上面の中心に置く。

⚠ 注意

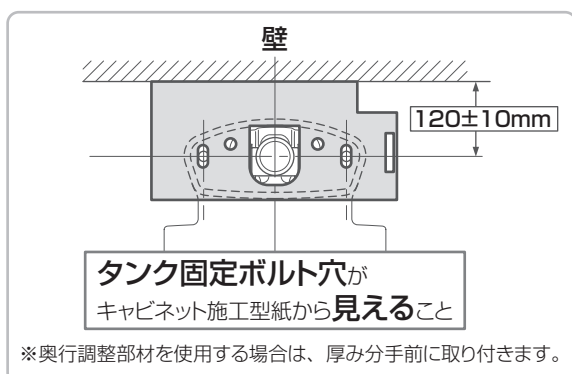
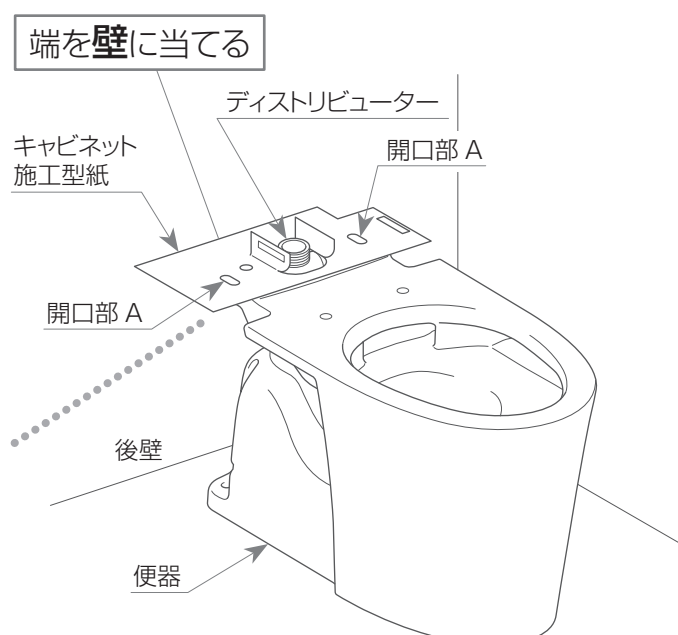
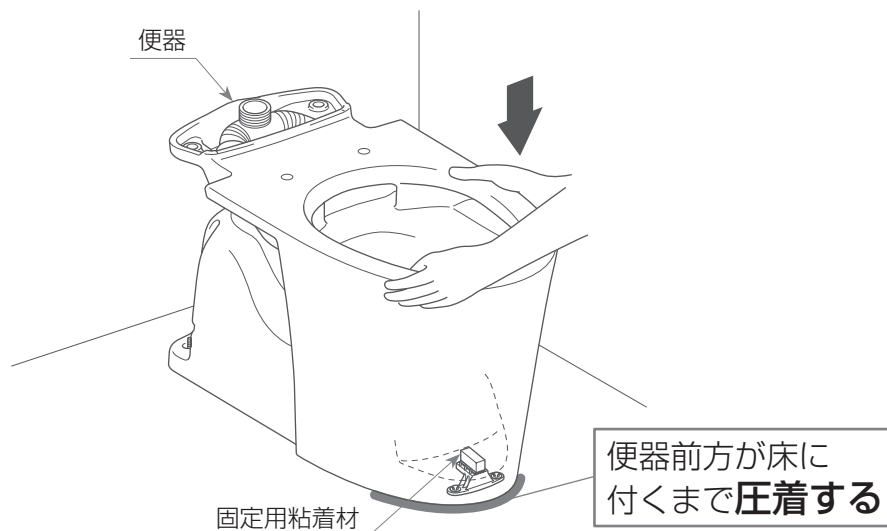
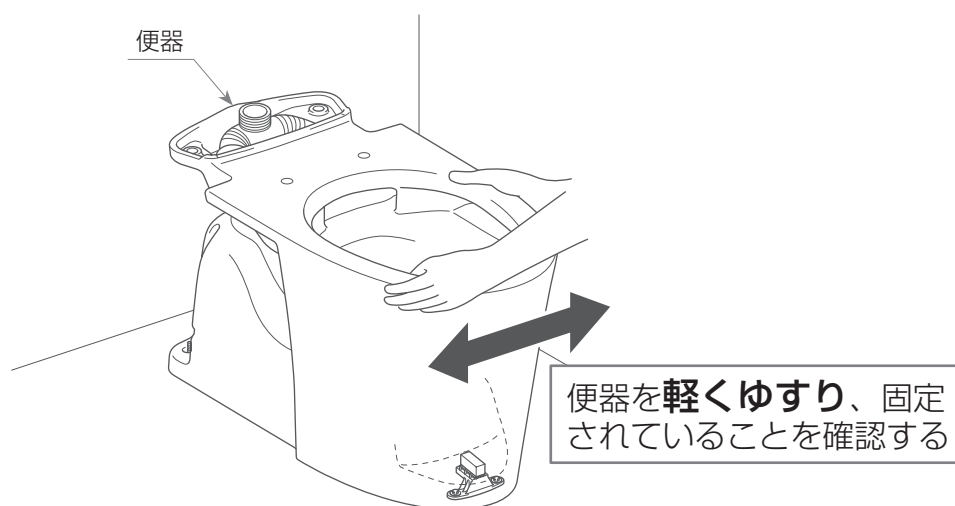
- **固定用粘着材に水気や汚れが付かないようにしてください。**
  ※便器固定不良の原因となります。
- **気温が低い場合、固定用粘着材が硬くなることがあります。暖めて柔らかくしてからご使用ください。**
  ※固定用粘着材は、直接お湯に入れないでください。入れる場合は、ビニール袋等に入れて水気が付かないようにして入れてください。

### ③ 便器の固定穴をボルト部に合わせ、便器排水口を排水ゴムジョイントに差し込み、便器前方を少し浮かせたまま位置を合わせる。

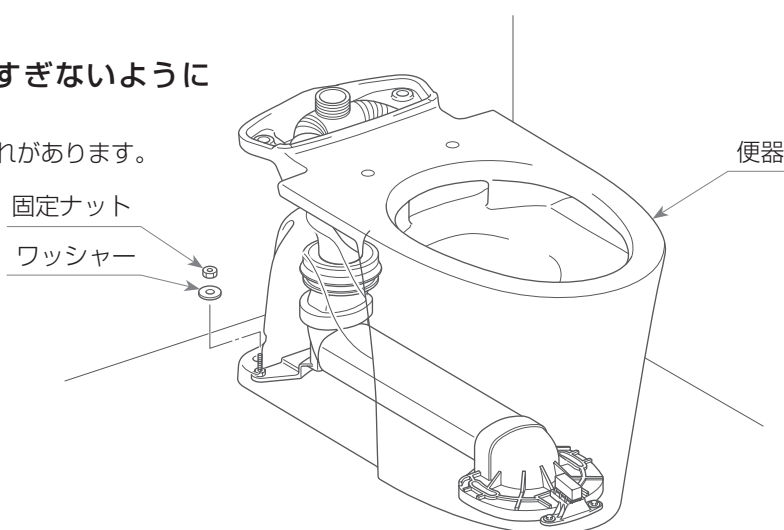
⚠ 注意

●便器の台座や排水アジャスター部の上に載せないでください。
※排水アジャスター部が破損したりパッキンを傷めて漏水する恐れがあります。

※イラストは排水アジャスターソケットを示す。

### ④ 便器前方をゆっくりおろし、固定用粘着材に軽くのせる。

### ⑤ キャビネット施工型紙の中央部を折り曲げ、後壁に押し当てた状態で便器の上に置いて、開口部Aからタンク固定ボルト穴が見えることを確認する。

⚠ 注意

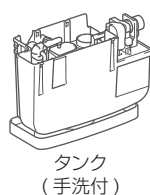
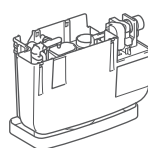
●便器設置位置がずれていないことを確認してください。
※位置がずれている場合は、便器前方を持ち上げて位置合わせを行い、合せた状態で便器を押し下げて便器位置を調整します。

※奥行調整部材を使用する場合は、厚み分手前に取り付きます。

⑥ 固定用粘着材を便器にしっかり圧着させるため、便器前方を床に便器が付くまで押し下げる。

⑦ 便器を軽くゆすり、便器先端が固定されていることを確認する。

⑧ 便器後部をワッシャーと固定ナットでしっかりと固定する。

⚠注意
●ナットは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れる恐れがあります。

※イラストは排水アジャスターソケットの場合を示す。

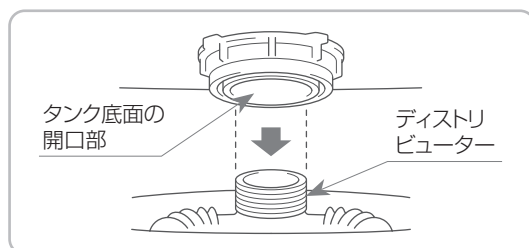
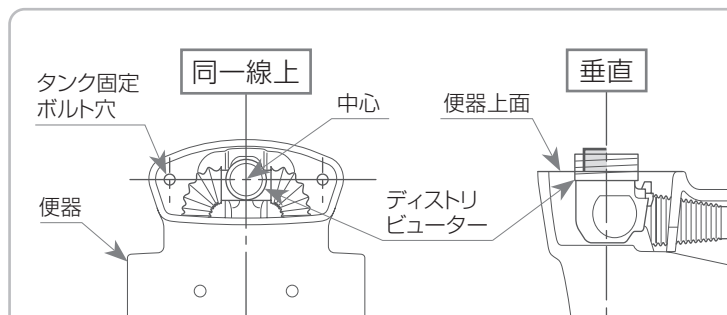
次は、P. 29 STEP 2 1 タンクの取付け へ進みます。

# STEP 2 タンクの取付け



| 1 タンクの取付け | 【タンクキャビネット同梱品】 |
| --- | --- |

## ① タンクを便器に固定する。

⚠ 注意

- **ディストリビューターは、必ずタンク底面の開口部に確実にはめ込んでください。**
  ※止水不良や漏水の原因になります。

- **ディストリビューターを確実にはめ込むために、以下の点に注意してタンクを設置してください。**

ディストリビューターの中心と固定ボルト穴芯が**同一線上**にあること

便器上面に対して**垂直**であること

※上記2つの条件を満たさない場合は、便器からディストリビューターをいったん取り外し、正しい位置と角度に取り付け直してください。

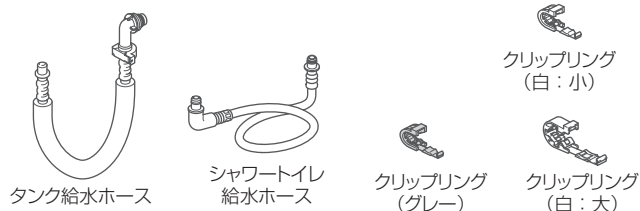
※タンクが正しく取り付けられていないと、ディストリビューターが変形し漏水・止水不良の原因になります。

## ② タンクを同梱のタンク固定ナット用の工具で締め付ける。（締付トルク 20 ～ 25 N・m {20 ～ 25 kgf・cm}）

⚠ 注意

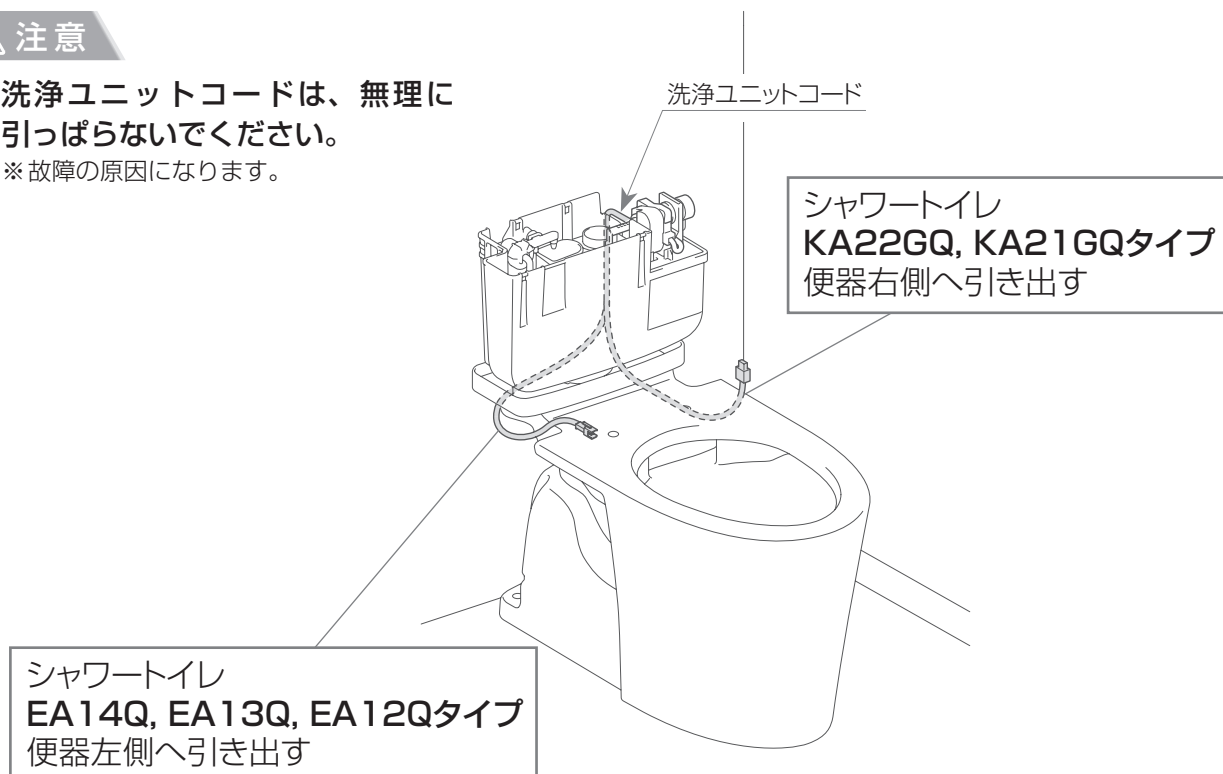
- **ナットの締め付けは、片利きのないように左右くりかえし、少しずつ行ってください。**
  ※漏水の原因になります。

# 2 タンク給水ホース の接続

【タンクキャビネット同梱品】

## ① 洗浄ユニットコードを取り回す。

・タンクキャビネット取付け後、P. 57 STEP 6 1 洗浄ユニットコードの接続 に従って、必ずシャワートイレと接続してください。

⚠ 注意

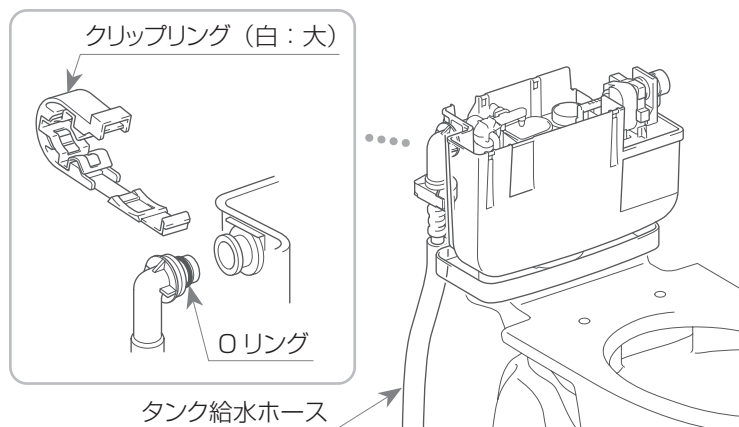
●洗浄ユニットコードは、無理に引っぱらないでください。
※故障の原因になります。

## ② タンク給水ホースをタンクに接続する。

・タンク給水ホースのキャップ（黒）は外します。

⚠ 注意

●クリップリングは確実にはめ込んでください。

●O リングをキズつけないように注意してください。
※きちんとはまっていないと、漏水事故の原因となることがあります。

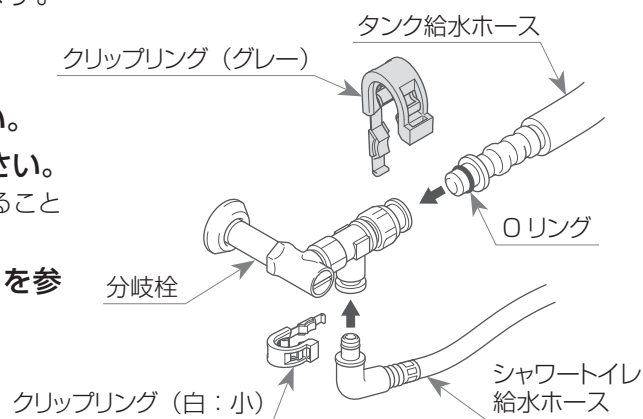
●クリップリングの取付け方・外し方は P. 9 を参照してください。

## ③ タンク給水ホースおよびシャワートイレ給水ホースを分岐栓に接続する。

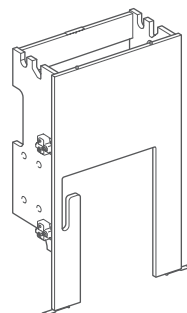
・タンク給水ホースのキャップ（青）は外します。

⚠注意

●クリップリングは確実にはめ込んでください。

●Oリングをキズつけないように注意してください。
※きちんとはまっていないと、漏水事故の原因となることがあります。

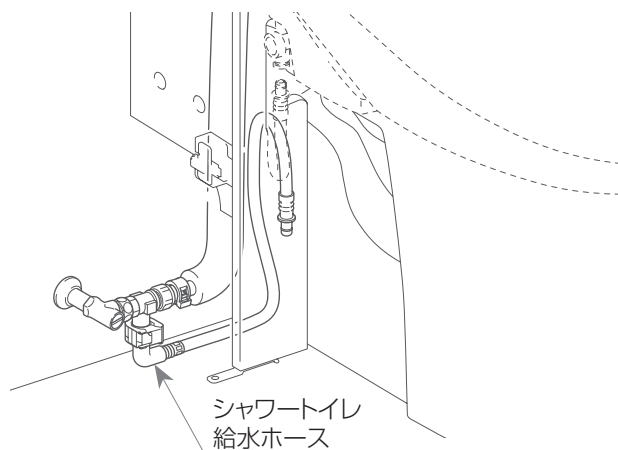
●クリップリングの取付け方・外し方はP. 9を参照してください。

# STEP 3 キャビネット部の取付け

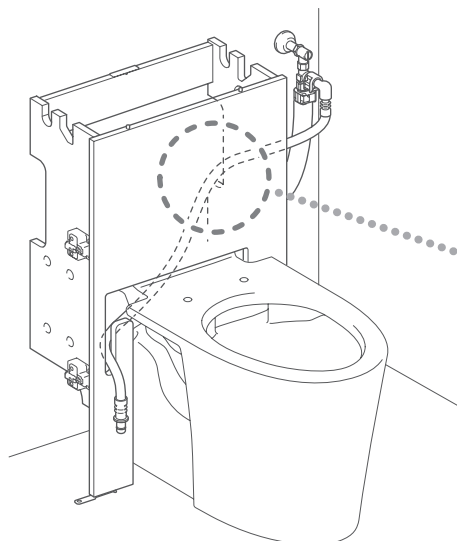
| 1 タンクキャビネットの取付け | 【便器同梱品】 | 【タンクキャビネット同梱品】 |
| --- | --- | --- |

## ① タンクキャビネットをタンクにかぶせ仮置きする。

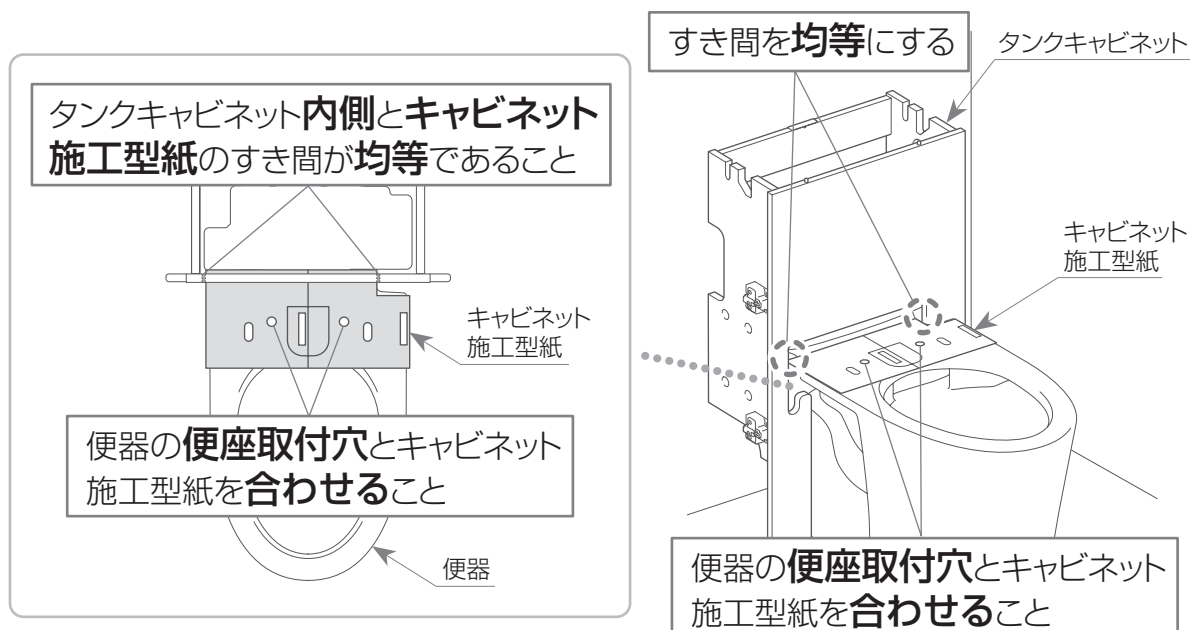
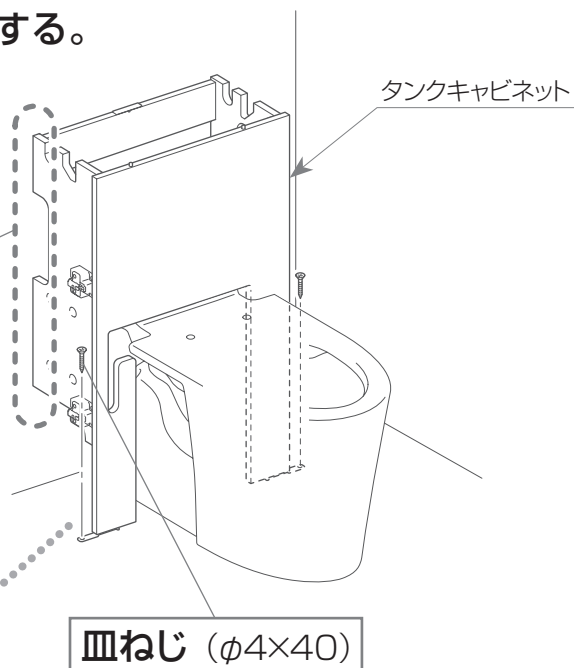
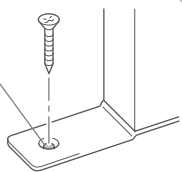
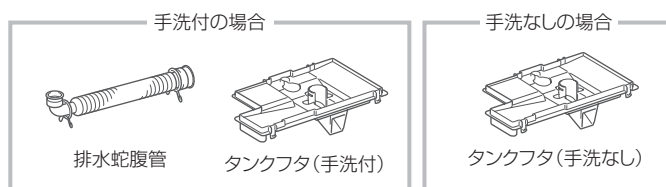
**⚠ 注意**

- **タンクキャビネットを取り付ける際に、便器やタンクにぶつけないように取り付けてください。**

  ※故障の原因や、商品のキズ付きの原因になります。

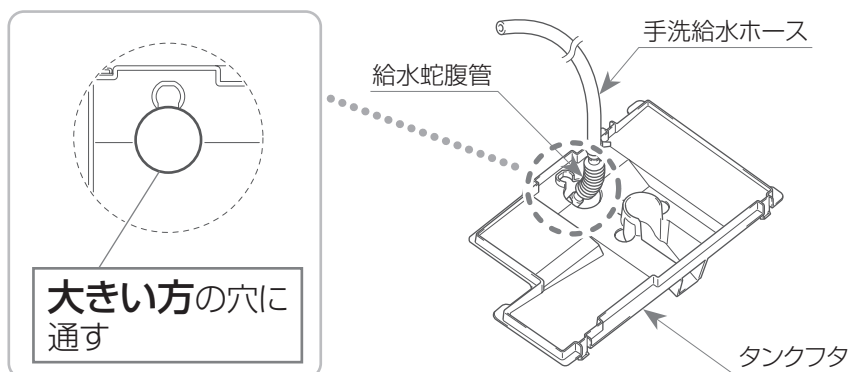
## ② シャワートイレ給水ホースを便器左側へ取り回す。

⚠注意

●給水位置によっては、給水ホースの取り回しに余裕がない場合があります。その場合はタンクキャビネット側板の切り欠きに給水ホースを通して、取り回してください。

## ③ キャビネット施工型紙を使用して、タンクキャビネットを位置決めする。

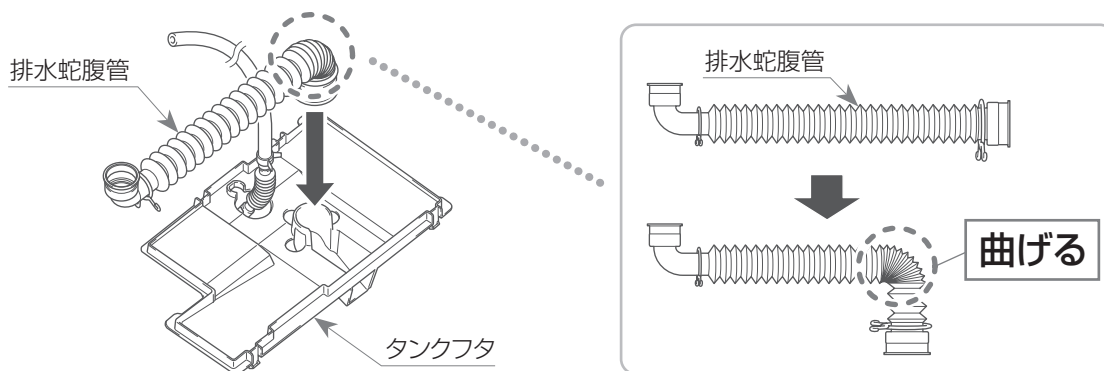
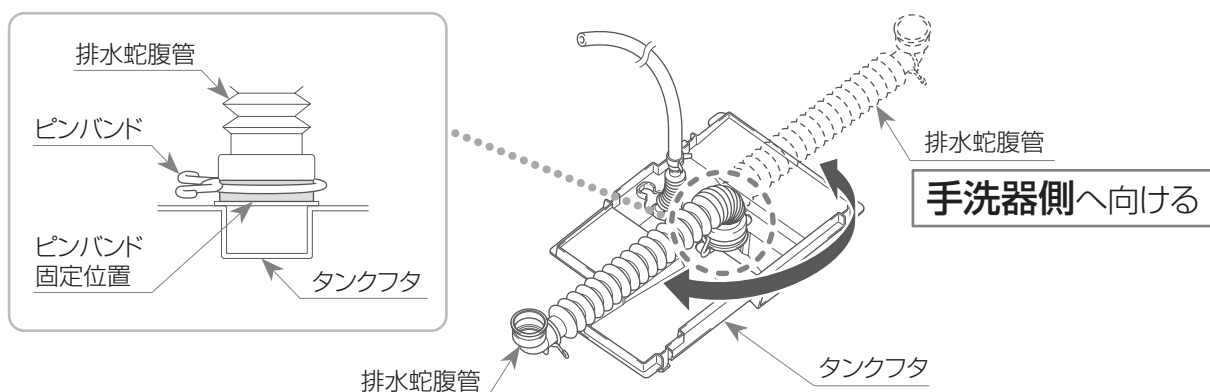
・手洗付の場合、キャビネット施工型紙は後工程で使用します。捨てずにとっておいてください。

## ④ タンクキャビネットを床に固定する。

## ⑤ タンクキャビネットを間柱に固定する。

## 2 タンクフタの取付け

### 【手洗付の場合】

#### ① 手洗給水ホースと給水蛇腹管をタンクフタの穴から通す。

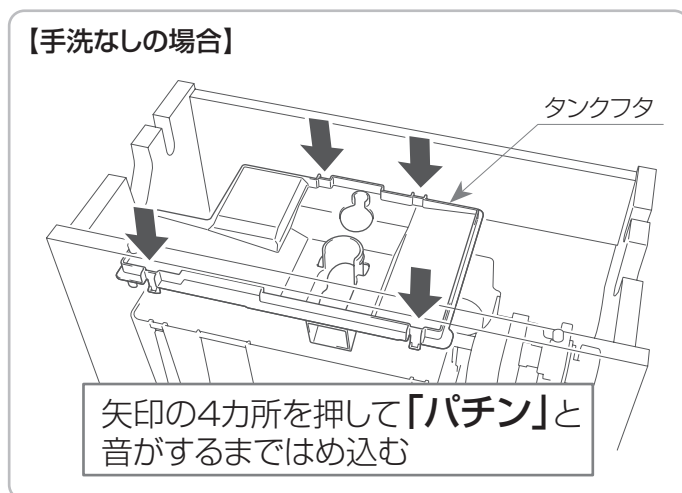
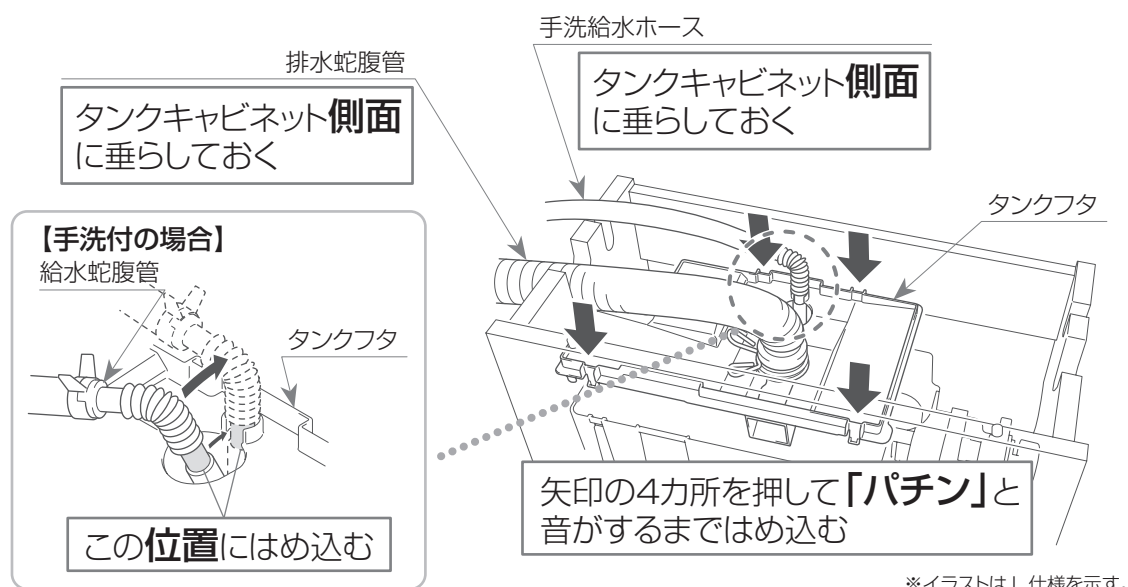
・必ずタンクフタを取り付けてください。動作不良の原因になります。

#### ② 排水蛇腹管を曲げ、タンクフタに取り付ける。

⚠注意

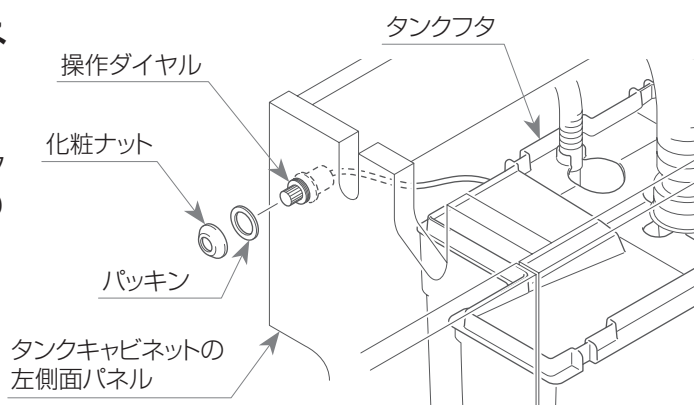
●排水蛇腹管の先端が内フタに当たるまで差し込んでください。

#### ③ 排水蛇腹管を手洗器側へ向け、ピンバンドで固定する。

STEP 3 2 タンクフタの取付け

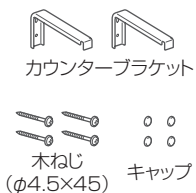
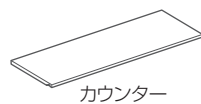
## 【手洗付・手洗なし共通】

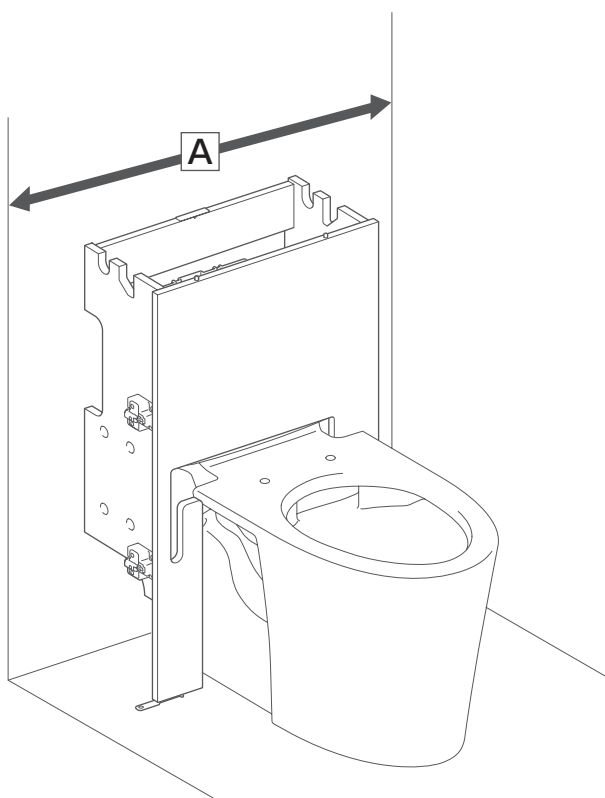
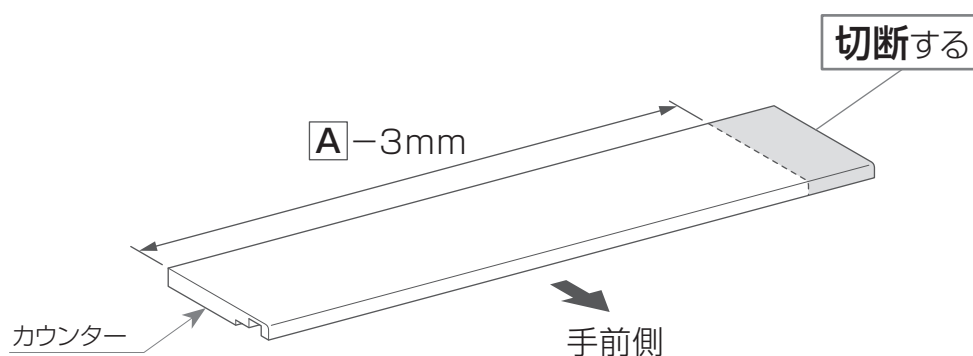
### ④ タンクフタをタンクに取り付け、給水蛇腹管をタンクフタに取り付ける。

※イラストはＬ仕様を示す。

## 【流動式・水抜式便器の場合のみ】

### ⑤ タンクキャビネットの左側面パネルに操作ダイヤルを取り付ける。

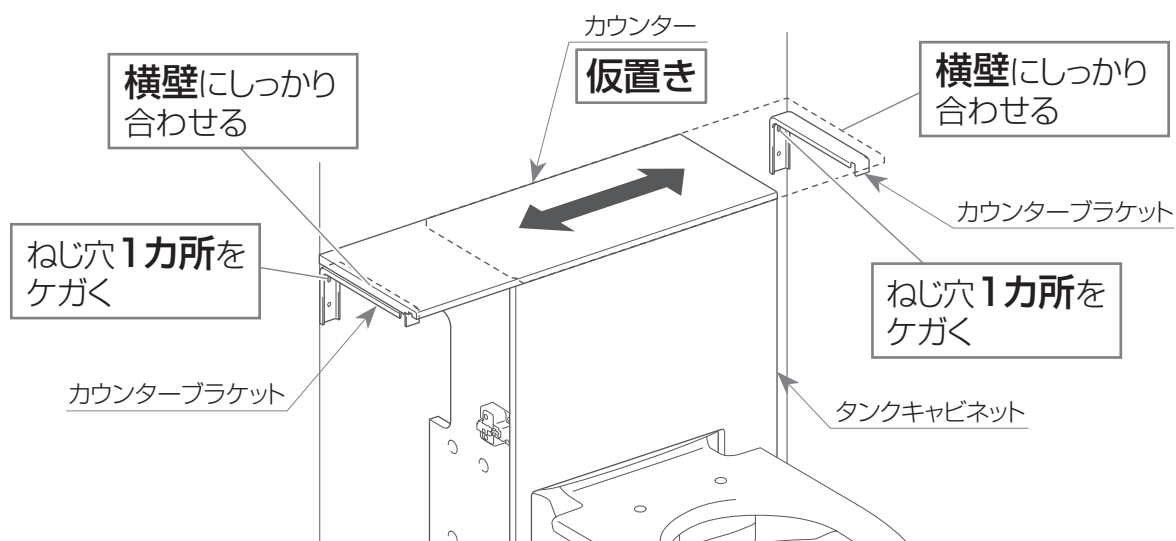
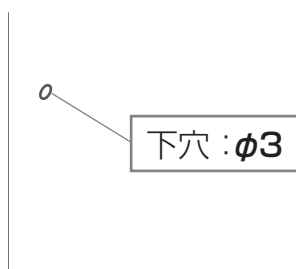
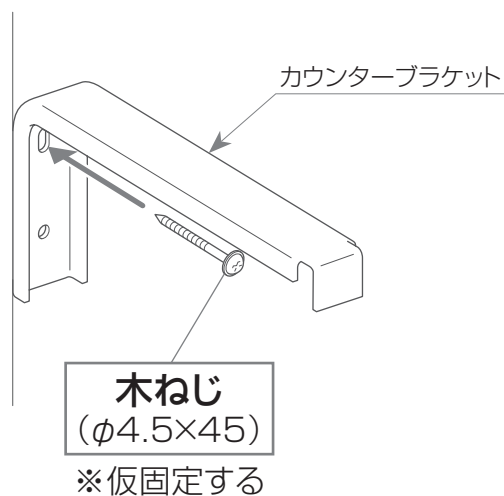
- 操作ダイヤルはタンク内にあります。パッキンと化粧ナットを分解してタンクキャビネットの穴の形状に合わせて取り付けてください。

# STEP 4 カウンターの取付け

## 1 カウンターブラケットの取付け

### 【手洗なしの場合のみ】

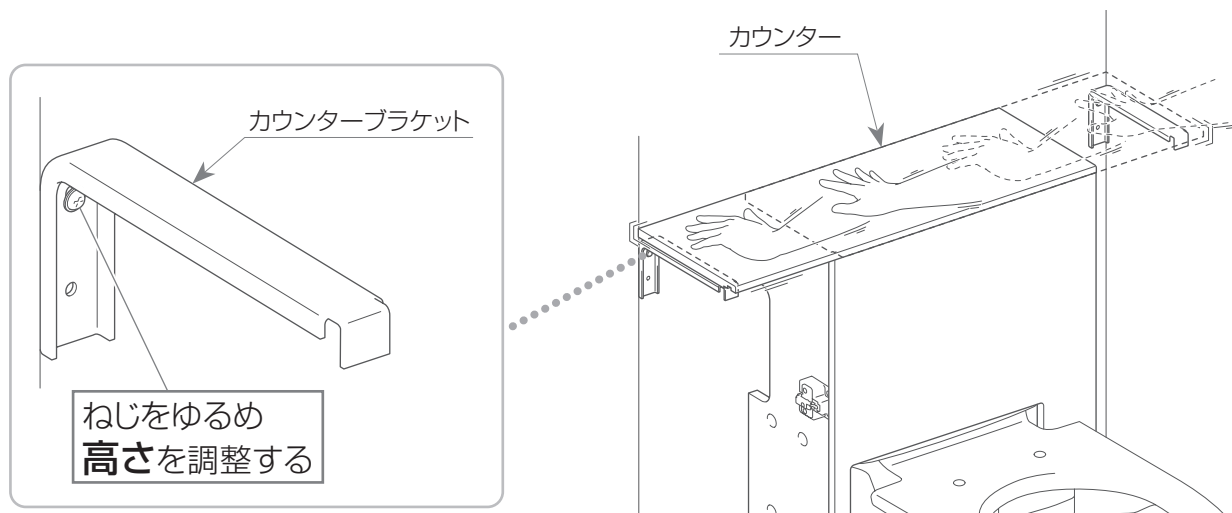
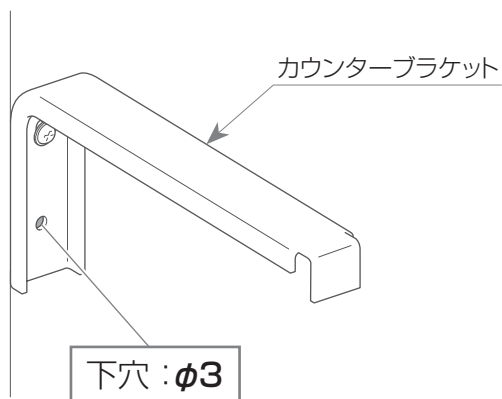
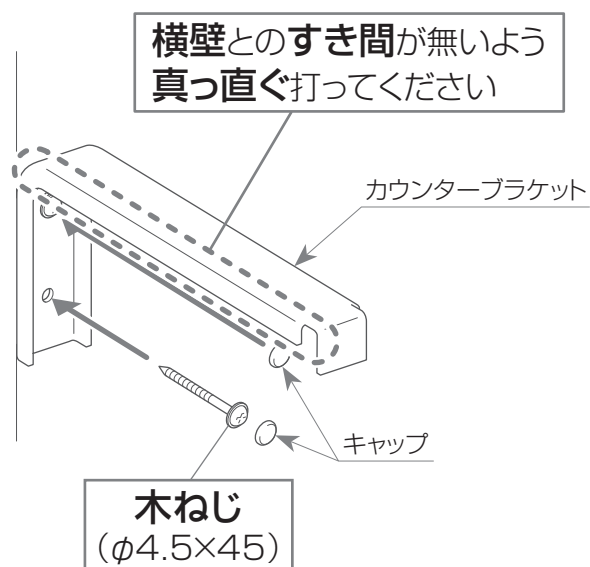
① トイレブースの間口寸法Aを測定する。

② カウンターをケガき、切断する。

## 【手洗付・手洗なし共通】

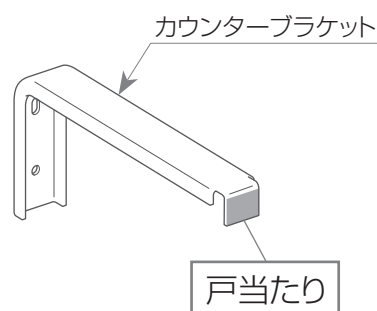
③ カウンターをタンクキャビネットの上に仮置きする。

④ カウンターブラケットをカウンター下にあて、長穴のねじ穴１カ所をケガく。

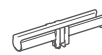
・手洗付の場合はカウンターを左右にずらして、ねじ穴をケガいてください。

⑤ 壁に長穴部の下穴を1カ所あける。

⑥ カウンターブラケットを木ねじで仮固定する。

※仮固定する

⑦ 反対側も同様に仮固定する。

⑧ カウンターがガタつかないか確認し、ガタついている場合はカウンターブラケットの高さを調整する。

⑨ 壁に丸穴部の下穴を1カ所あける。

⑩ カウンターブラケットを木ねじで本固定する。

⚠ 注意

●カウンターブラケットは戸当たりを兼ねています。すき間ができると扉が戸当たりに当たらず品位が低下します。

⑪ 反対側も同様に本固定する。

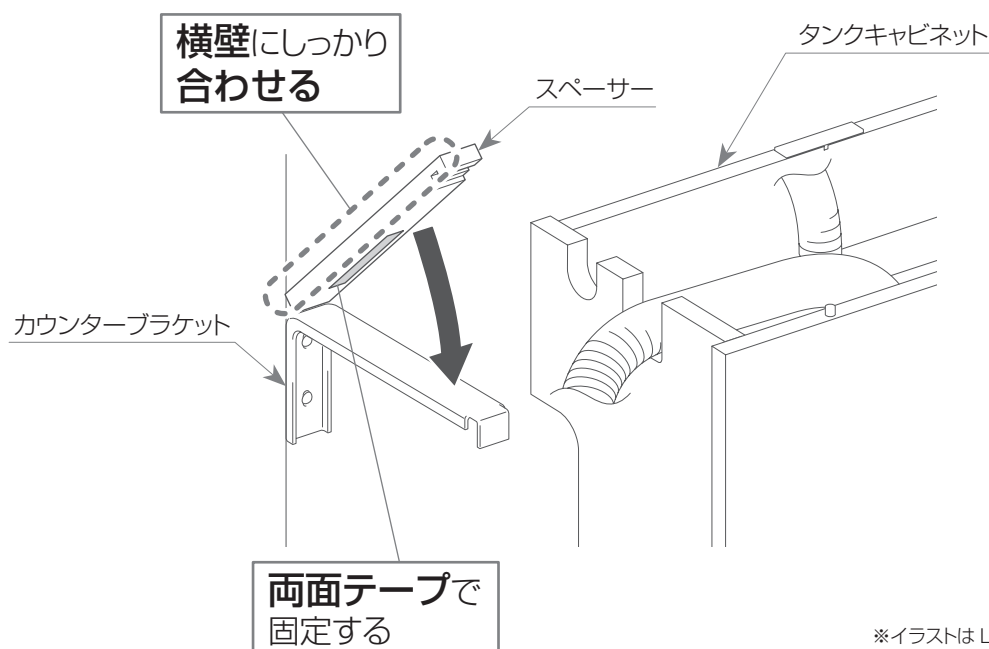
## 2 カウンターの取付け

どちら？

カウンターの種類を確認します。

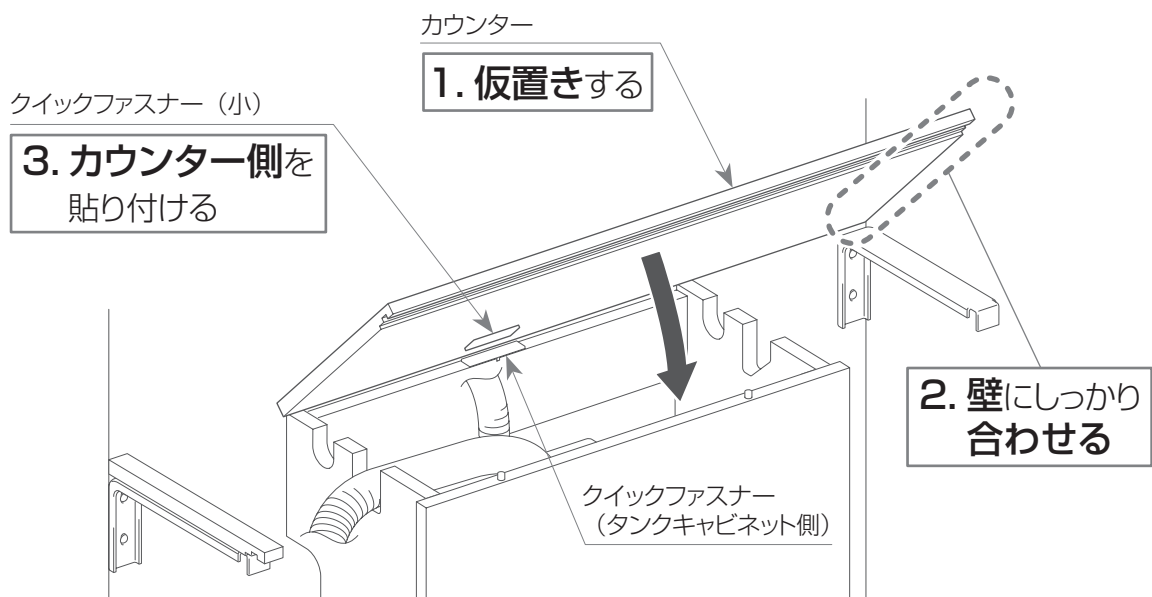
- **手洗付の場合** ……………………………………40 ページへ
- **手洗なしの場合** ………………………………49 ページへ

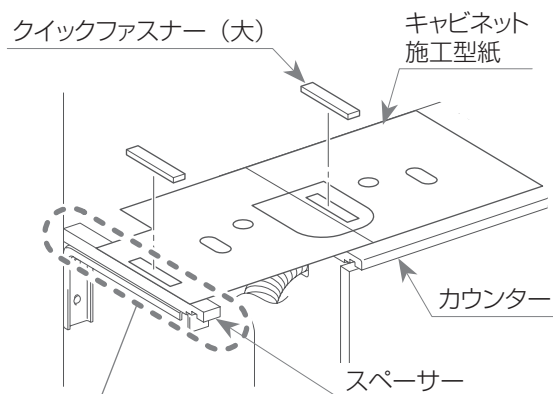
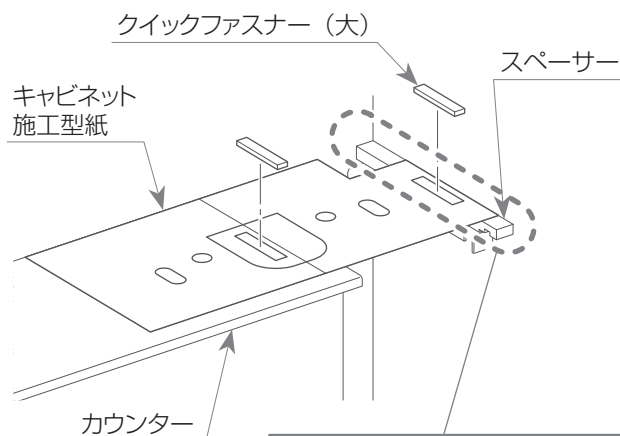
## 手洗付の場合

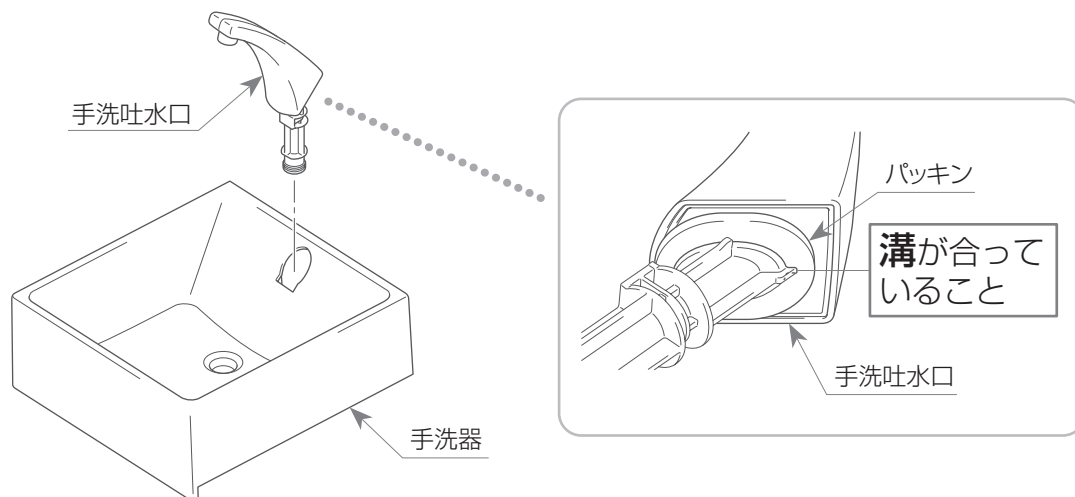
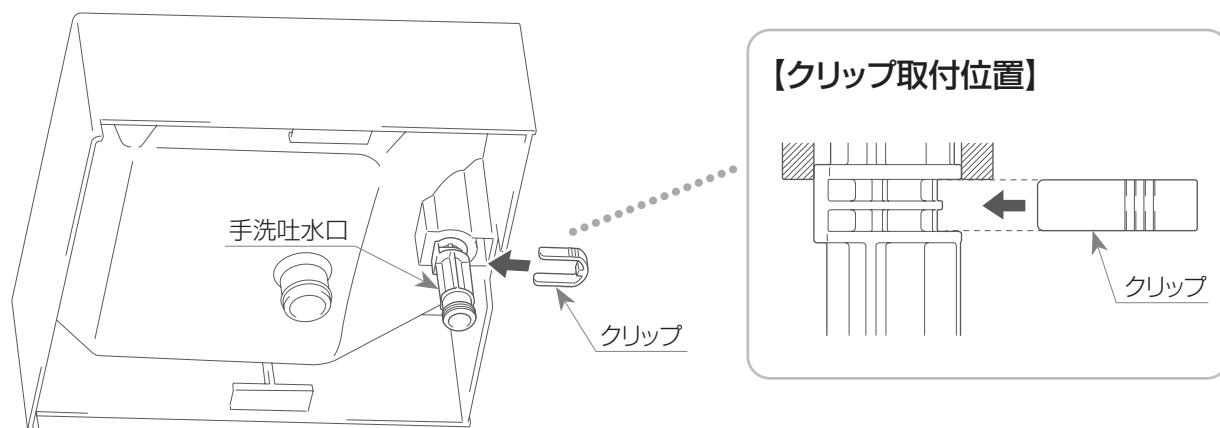
**① スペーサーを手洗器の付く側のカウンターブラケットに、両面テープで取り付ける。**

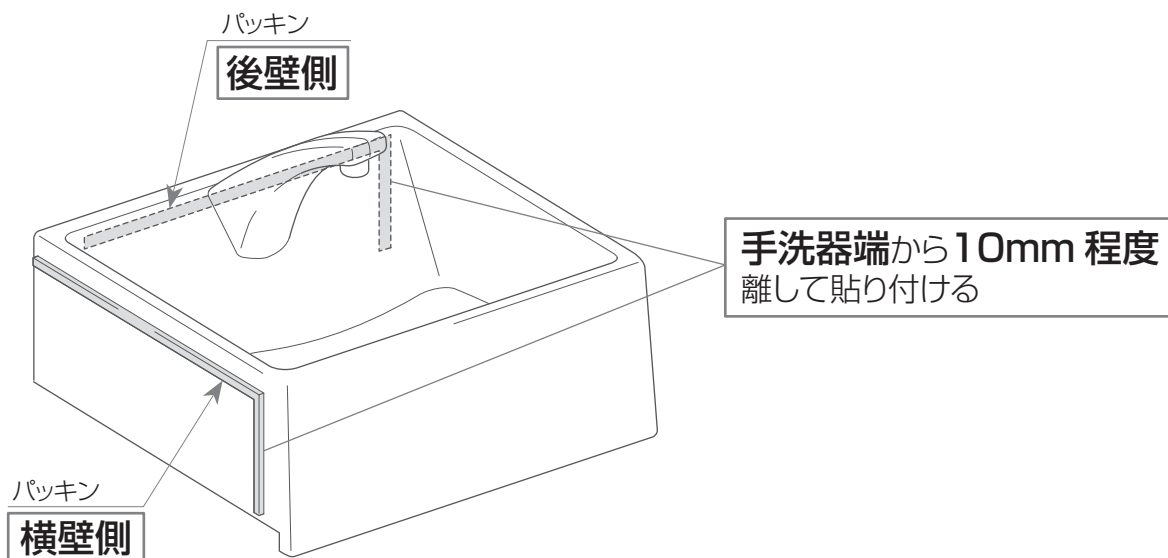
- 両面テープはスペーサー裏側に付いています。
- 取り付ける向きに注意してください。

※イラストはＬ仕様を示す。

## ② カウンター裏にクイックファスナー（小）を貼り付け、カウンターを仮置きする。

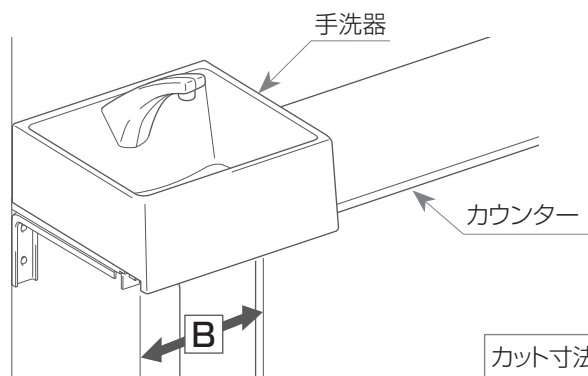
・タンクキャビネット側のクイックファスナーの位置に合わせてください。

※イラストはL仕様を示す。

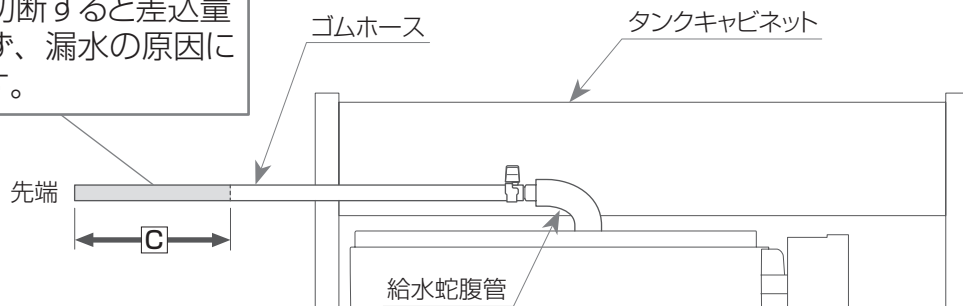
## ③ キャビネット施工型紙を使用してクイックファスナー（大）を貼り付ける。

## ④ カウンターをタンクキャビネットから取り外す。

## ⑤ 手洗器に手洗吐水口を取り付ける。

## ⑥ 手洗器に取り付けた手洗吐水口をクリップで固定する。

## ⑦ 手洗器にパッキンを貼り付ける。

・パッキンは壁に接する面に貼り付けてください。

※イラストはＬ仕様を示す。

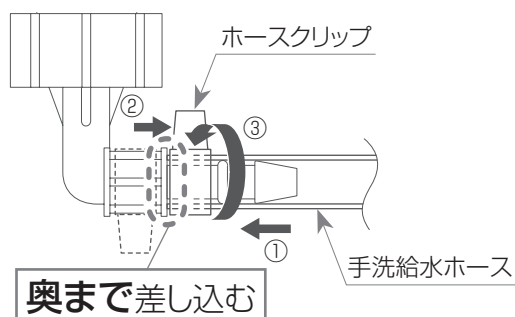
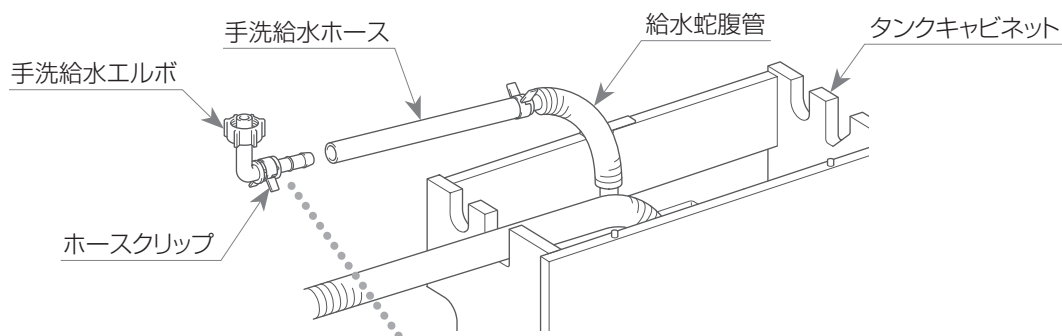
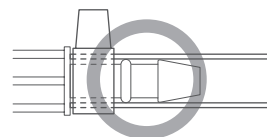
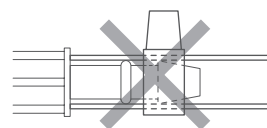
⑧ 手洗器を取り付ける側のタンクキャビネットの前パネル側面から、壁までの寸法Bを測定する。

⑨ ゴムホース先端からカット寸法Cで切断する。

| | 手洗器の位置 | |
|---|---|---|
| | 左 | 右 |
| カット寸法C | 320−Bmm | 250−Bmm |

**切断する**
※斜めに切断すると差込量が足らず、漏水の原因になります。

※イラストはL仕様を示す。

## ⑩ 手洗給水ホースを手洗給水エルボに接続して、ホースクリップで固定する。

**⚠ 注意**

**●手洗給水ホースをホースクリップでしっかりと固定する。**
※きちんとはまっていないと、漏水事故の原因となることがあります。

① 手洗給水ホースを手洗給水エルボに差し込む。
※差し込みが浅く、隙間があると漏水の原因になります。
② ホースクリップを手洗給水ホースに移動する。
③ ホースクリップのつまみ部を上向きに回転させて、手洗給水ホースを固定する。

## ⑪ 手洗給水ホースをカットした寸法Ⓒ（P. 43）で、給水防露材をカットする。

**<手洗器が向かって左の場合>**

**<手洗器が向かって右の場合>**

## ⑫ 給水管防露材を巻き付ける。

片側のセパレート紙をはがす

給水管防露材

セパレート紙

給水管防露材

給水管防露材

給水管防露材に手洗給水ホースをのせる

10mm程度あける

セパレート紙をはがす

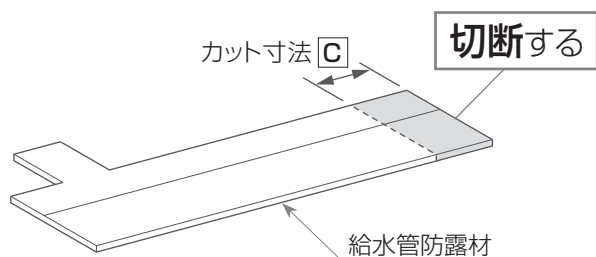
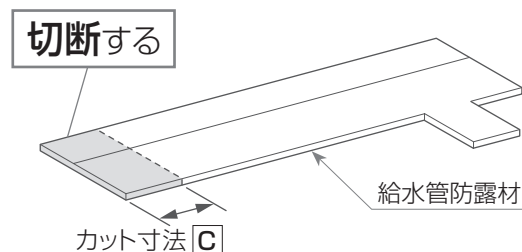
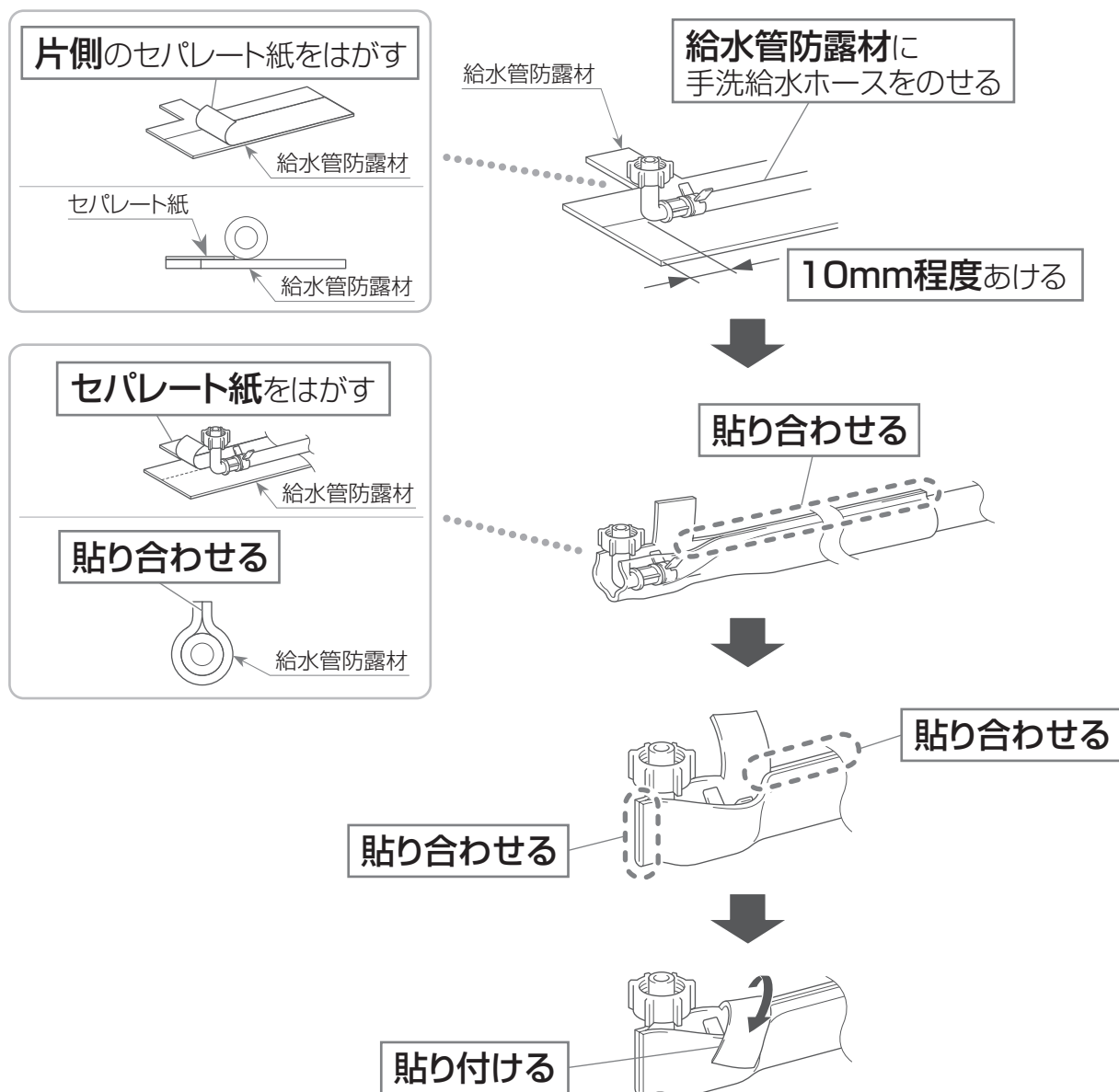
給水管防露材

貼り合わせる

給水管防露材

貼り合わせる

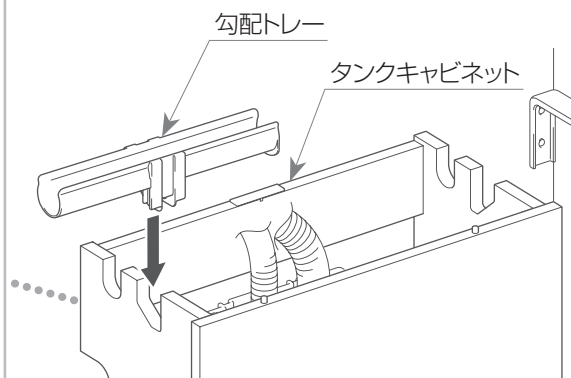
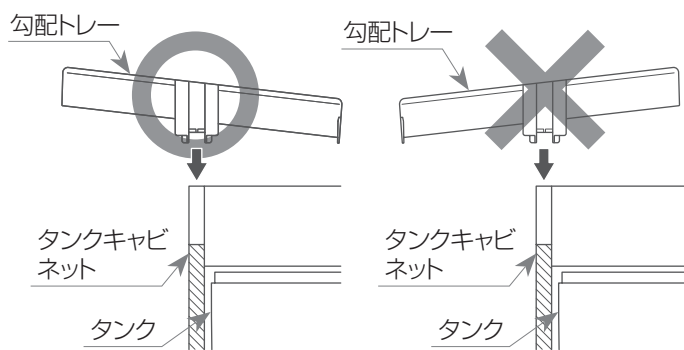
貼り合わせる

貼り合わせる

貼り付ける

※イラストは手洗器が向かって左の場合を示す。

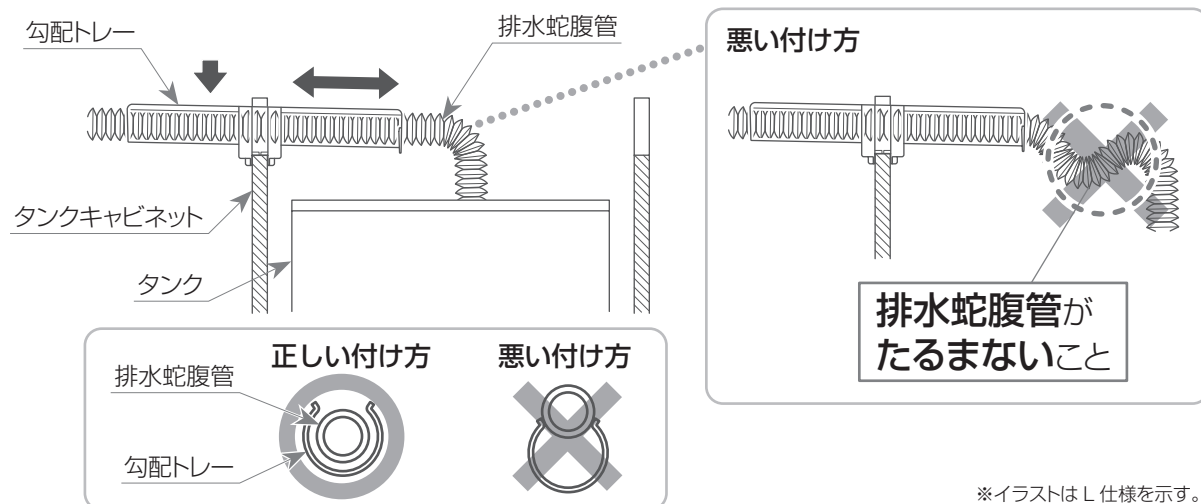
## ⑬ タンクキャビネットに勾配トレーを取り付ける。

⚠注意

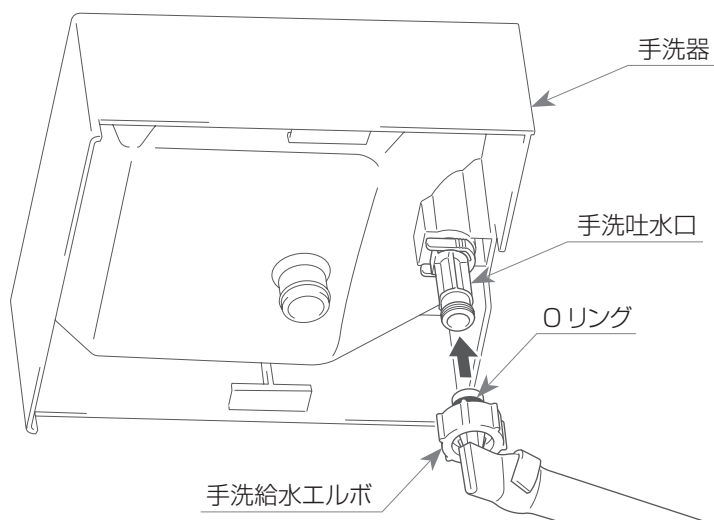
●勾配トレーをタンクキャビネットの取付部形状に合わせて、タンク側が下り勾配となるように取り付けてください。

●手洗器を付ける側をお客様に確認してください。

※イラストはＬ仕様を示す。

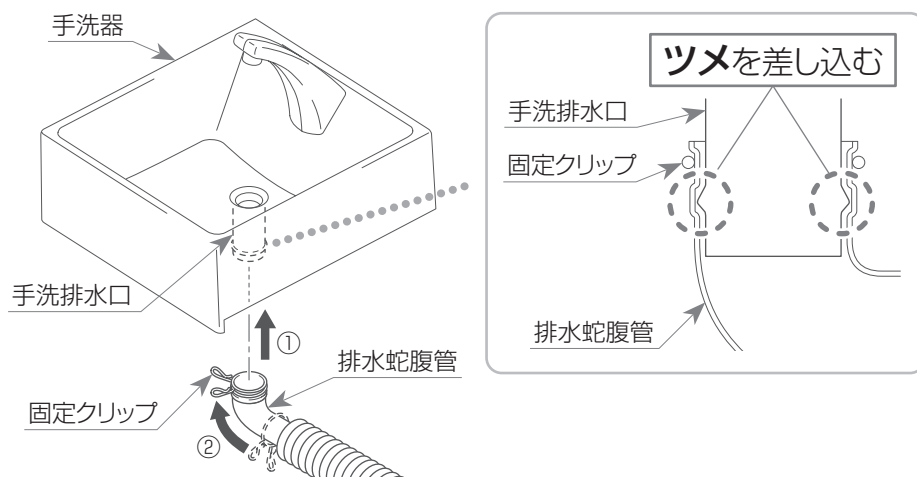
## ⑭ 手洗器の排水位置に合わせ、排水蛇腹管を伸ばして、勾配トレーに取り付ける。

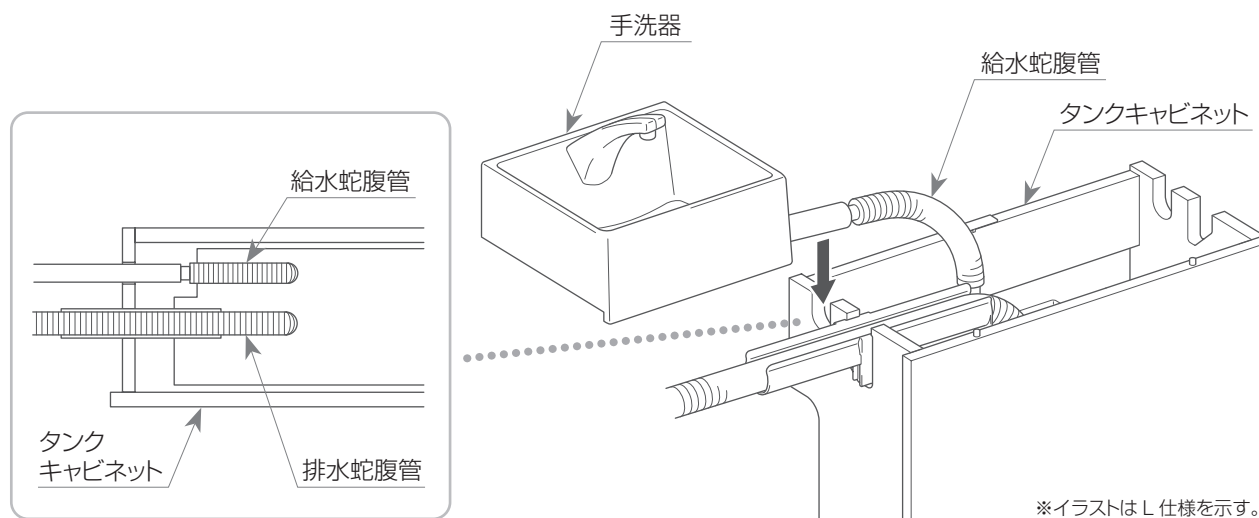
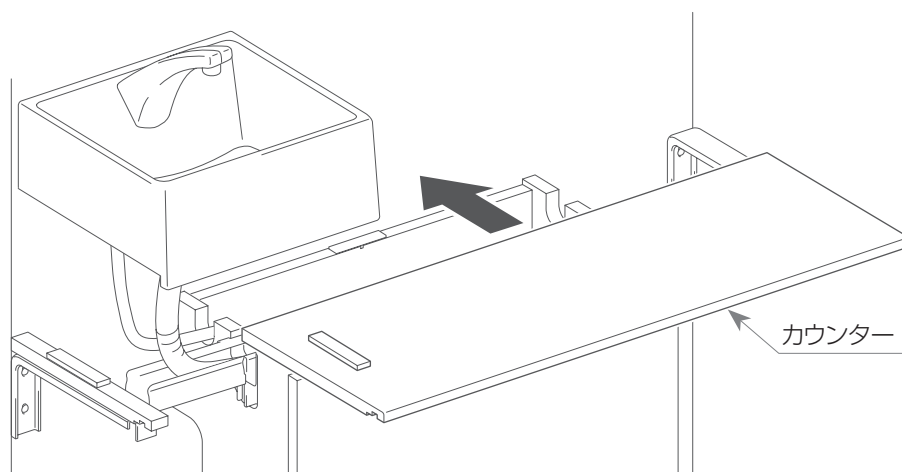
※イラストはＬ仕様を示す。

## ⑮ 手洗給水エルボを手洗器に取り付ける。

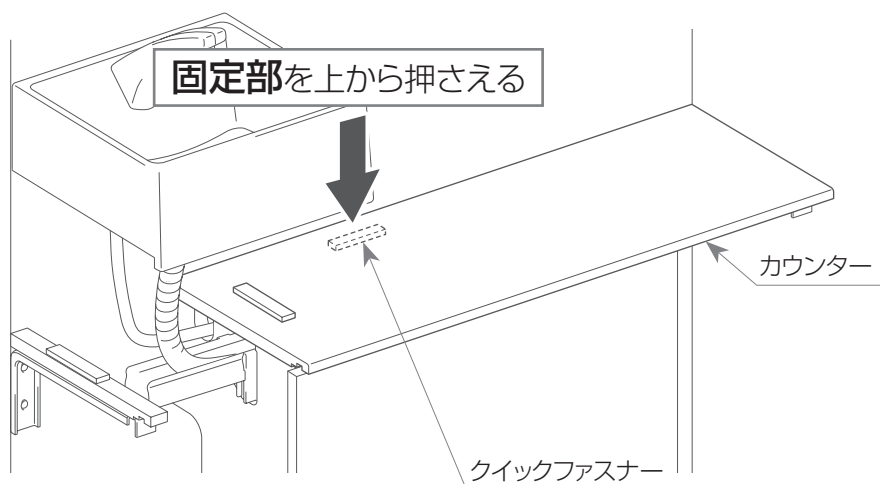
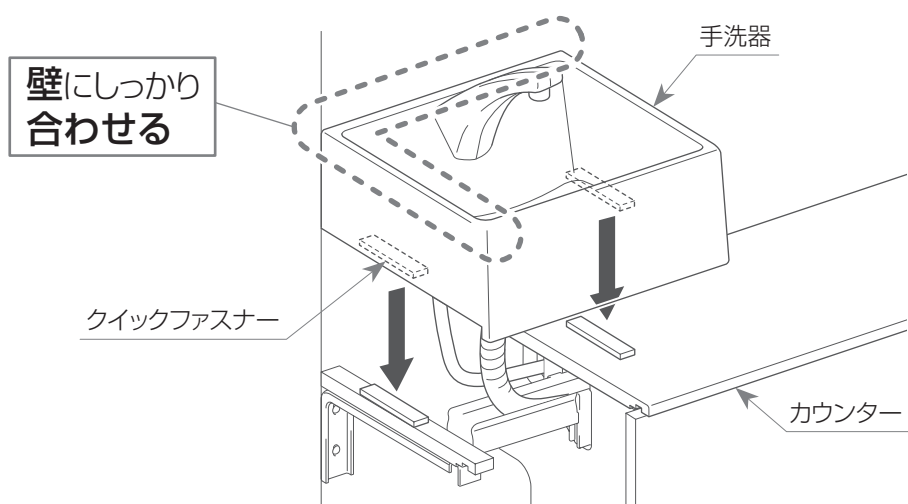
⚠ 注意

●Ｏリングをキズつけないように注意してください。
※きちんとはまっていないと、漏水事故の原因となることがあります。

## ⑯ 排水蛇腹管を手洗器に取り付ける。

⚠ 注意

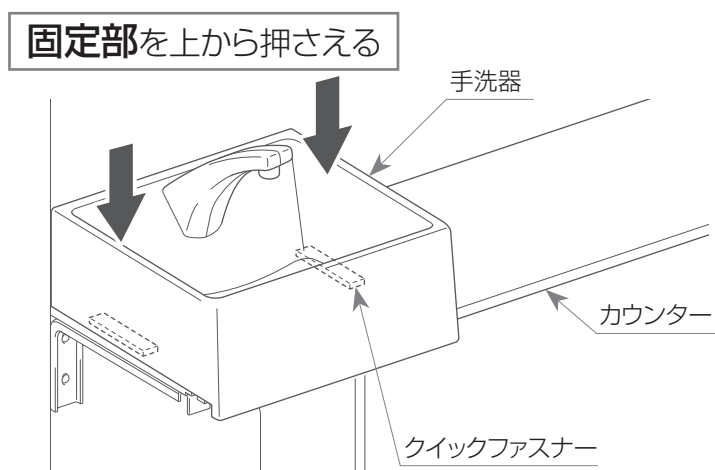
●固定クリップを図の位置に取り付けてください。
※取り付けないと、漏水の原因になります。

STEP 4
2 カウンターの取付け

## ⑰ 給水蛇腹管をタンクキャビネットに通す。

## ⑱ カウンターをタンクキャビネットに取り付ける。

※イラストはＬ仕様を示す。

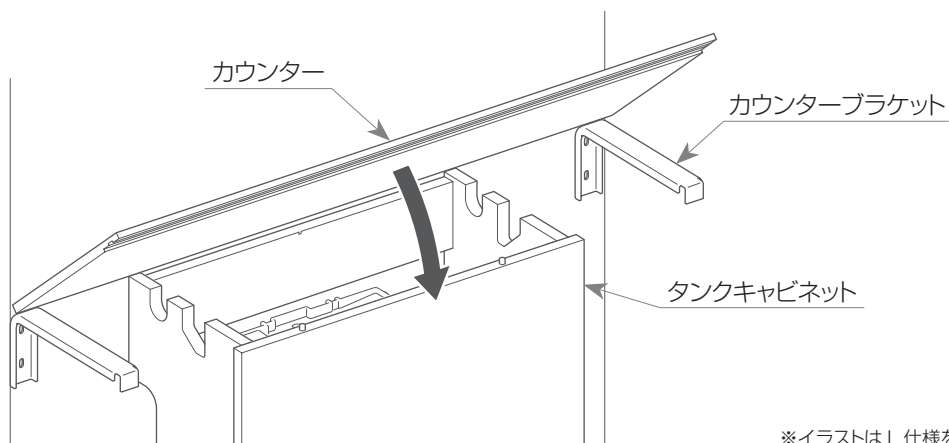
## ⑲ クイックファスナーの固定部を上から押さえる。

※イラストはＬ仕様を示す。

## ⑳ 手洗器をカウンターに取り付ける。

※イラストはＬ仕様を示す。

## ㉑ クイックファスナーの固定部を上から押さえる。

※イラストはＬ仕様を示す。

## 手洗なしの場合

### ① カウンターをタンクキャビネットとカウンターブラケットの上にのせる。

### ② エンドキャップをテープでカウンターに取り付ける。

・テープはエンドキャップに付いています。
・エンドキャップは壁から１mm ずつすき間があくように取り付けてください。

カウンターを**切断した側**に取り付ける

カウンター

**曲がり部分**を
合わせる

エンドキャップ

カウンター

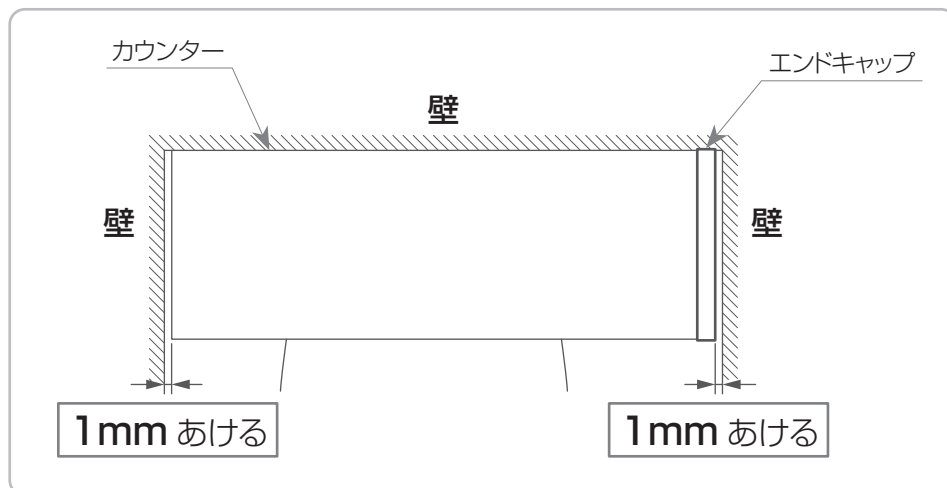
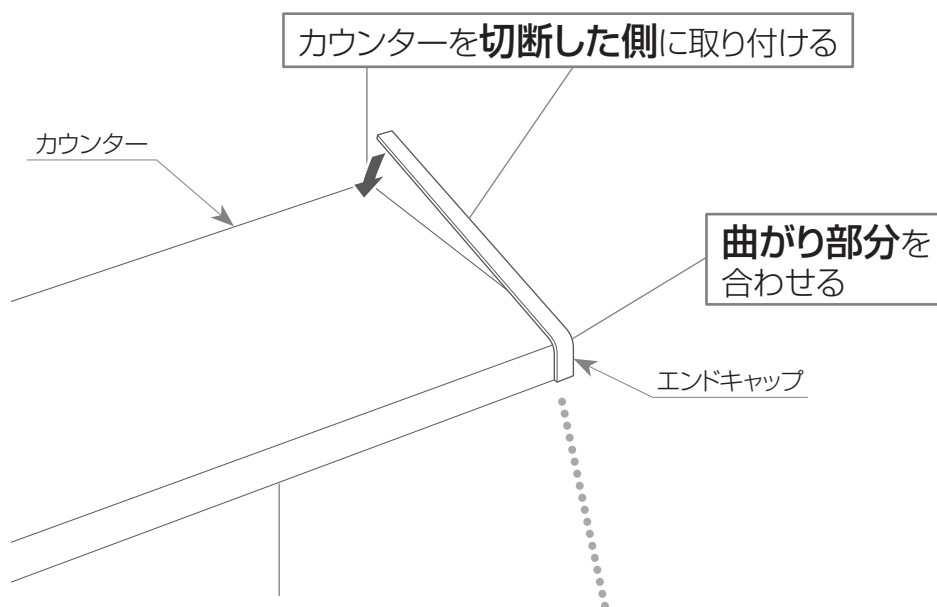
エンドキャップ

壁

壁

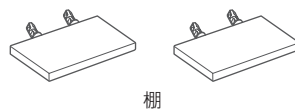
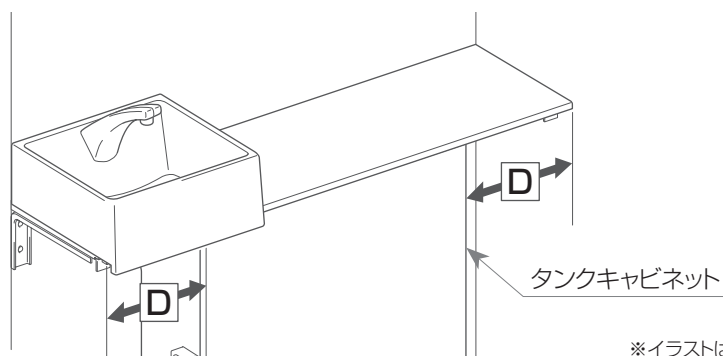
壁

１mm あける

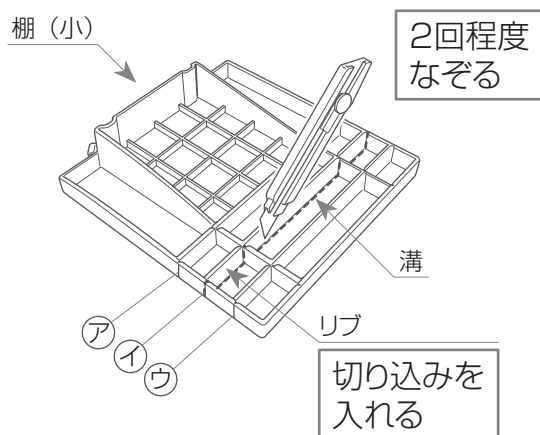
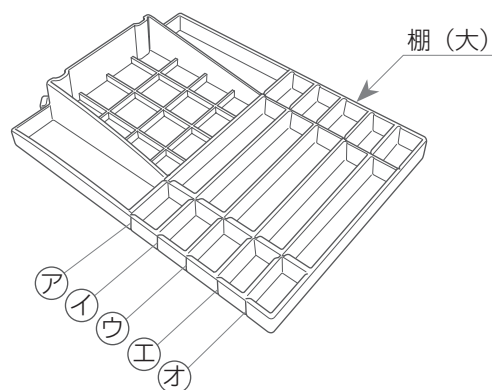
１mm あける

# STEP 5 扉の取付け

## 1 棚の取付け

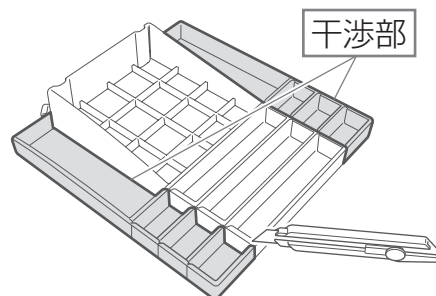
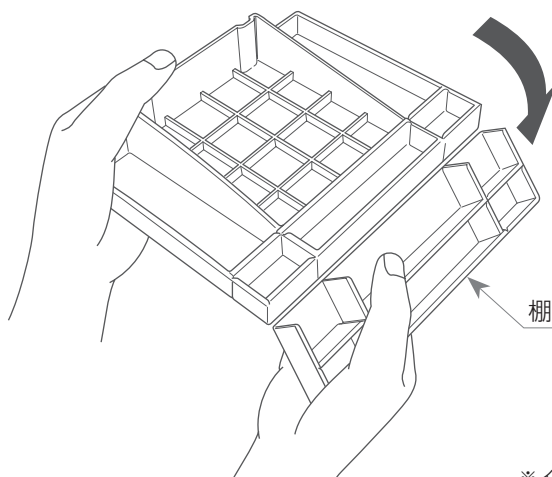
【タンクキャビネット同梱品】

棚

### ① タンクキャビネットの前パネル側面から壁までの寸法Dを測定する。

### ② 棚裏側の切断用溝をカッターでなぞる。

・一度ではうまく切り取れません。すべての溝に切り込みを入れてください。

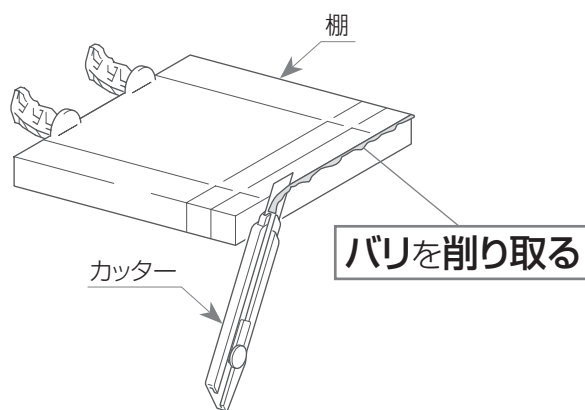
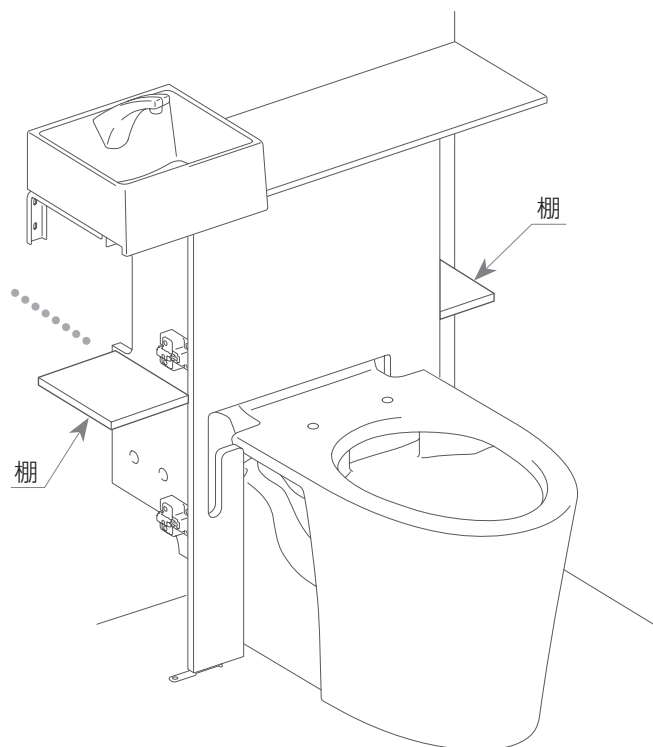
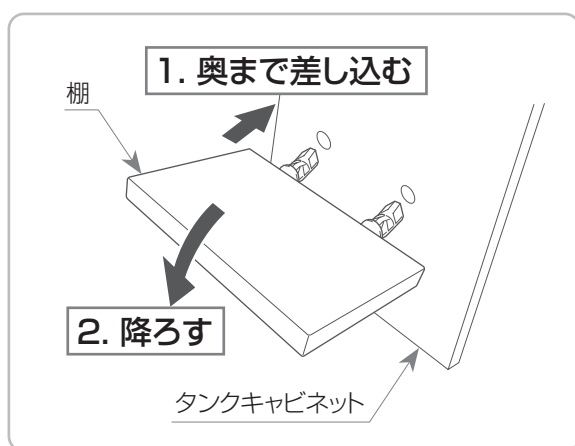
**【棚（小）の場合】**

**【棚（大）の場合】**

| | カット位置 | |
|---|---|---|
| 測定寸法D | 棚（小） | 棚（大） |
| 141mm 以下の場合 | ア | ア |
| 142 ～ 166mm の場合 | イ | イ |
| 167 ～ 191mm の場合 | ウ | ウ |
| 192 ～ 216mm の場合 | カット不要 | エ |
| 217 ～ 241mm の場合 | カット不要 | オ |
| 242mm 以上の場合 | カット不要 | カット不要 |

**【収納部に給水ホースがくる場合】**

※棚の干渉部をカットする

## ③ 棚を裏側から折って、切断する。

※イラストは棚（小）を示す。

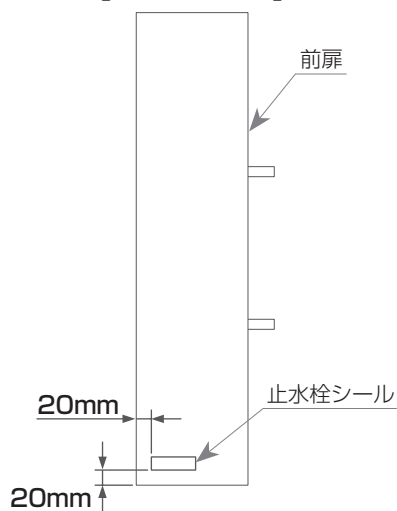
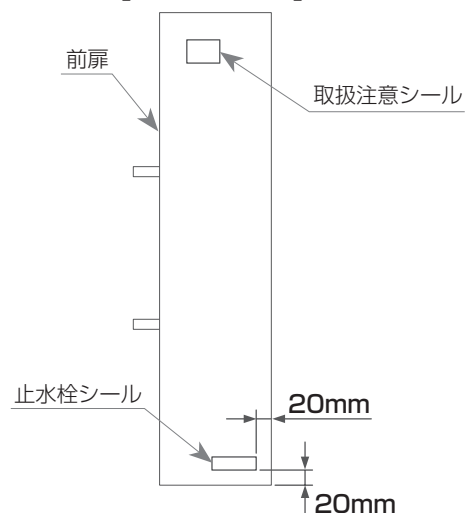
⚠ 注意

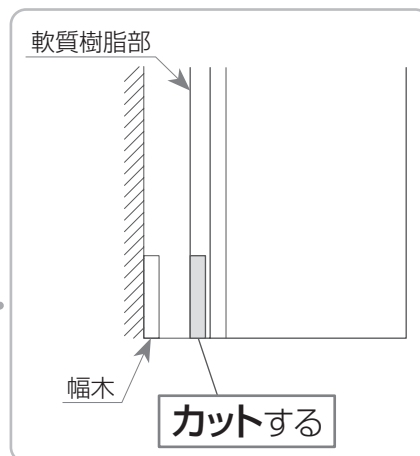
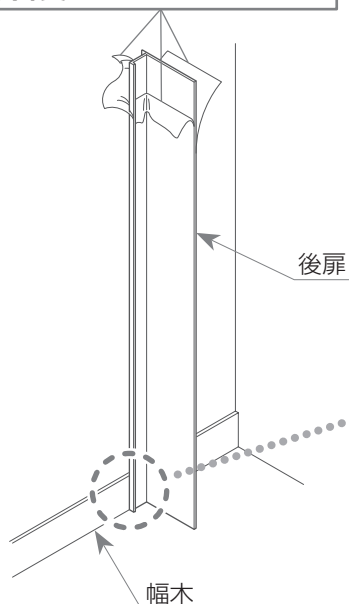
●棚を切断した後は必ずバリを取ってください。

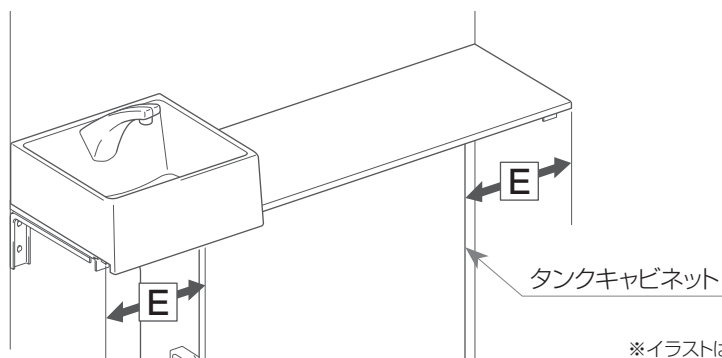
※バリ取りが不十分な場合は、切断面でケガをする恐れがあります。

## ④ 棚を取り付ける。

※イラストはL仕様を示す。

# 2 扉の取付け

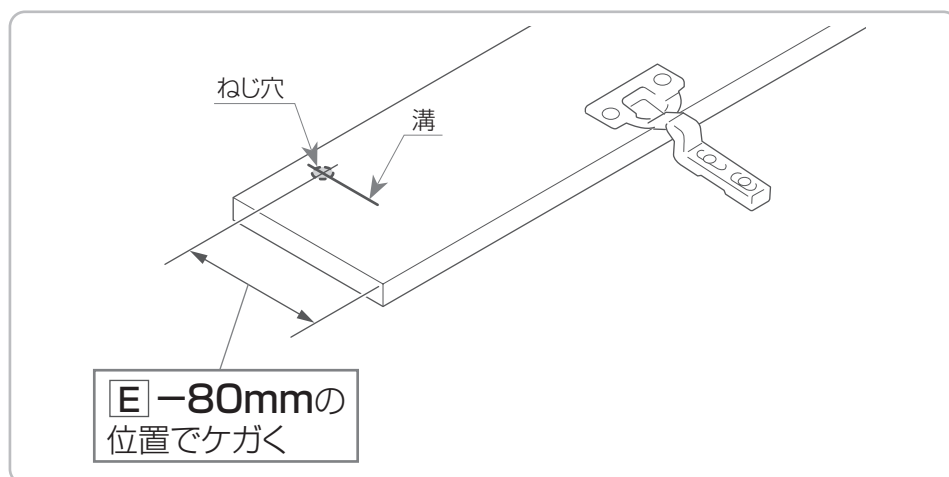
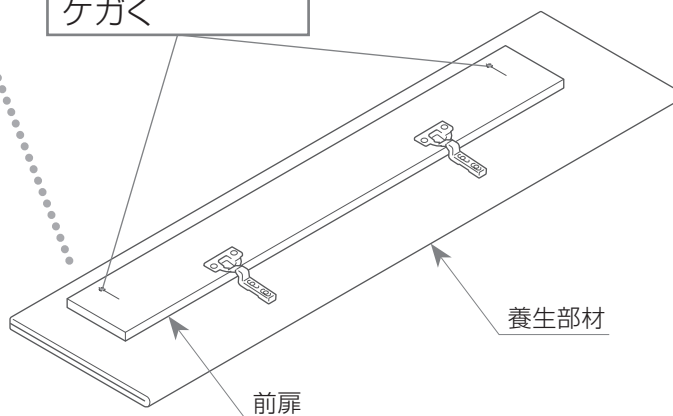
## ① 止水栓がある側の前扉の表面に、止水栓シールを貼り付ける。

・取扱注意シールが貼られている扉が右側の前扉です。

## ② 後扉の保護フィルムをはがし、幅木がある場合は幅木に合わせて後扉の軟質樹脂部をカットする。

・後扉と幅木が干渉すると、異音の発生や幅木をキズ付ける恐れがあります。

### ③ タンクキャビネットの前パネルの側面と壁との間Eを測定する。

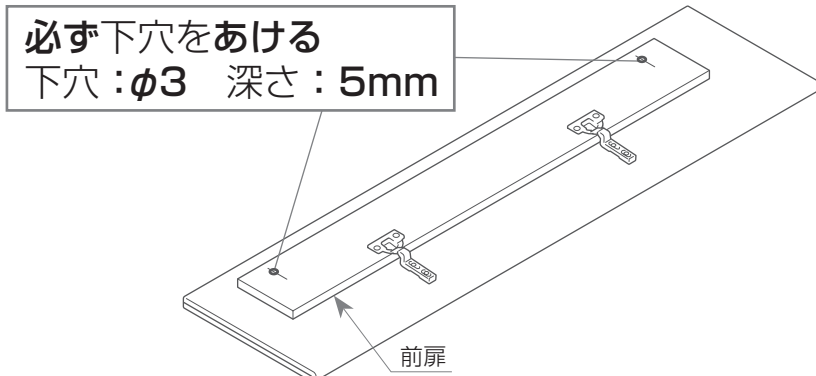
・右側の扉を取り付ける場合は、タンクキャビネットの右側と壁の間を測定します。

### ④ 前扉の溝に図の寸法でねじ穴をケガく。

⚠注意

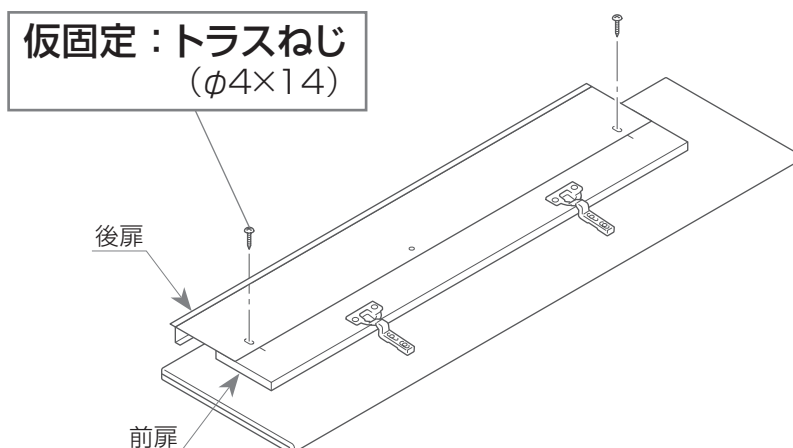
●前扉をケガく際は、必ず養生部材（梱包ダンボールなど）を敷いて作業を行ってください。
※製品および床などをキズつける恐れがあります。

## ⑤ 前扉に下穴を2カ所あける。

・下穴をあけないと、前扉と後扉の間にすき間ができ、しっかり取り付きません。

**⚠注意**

●下穴をあける際、深さ 5mm を守ってください。
※貫通する恐れがあります。

## ⑥ トラスねじで前扉と後扉の上下2カ所を軽く押して動かない程度に固定（仮固定）する。

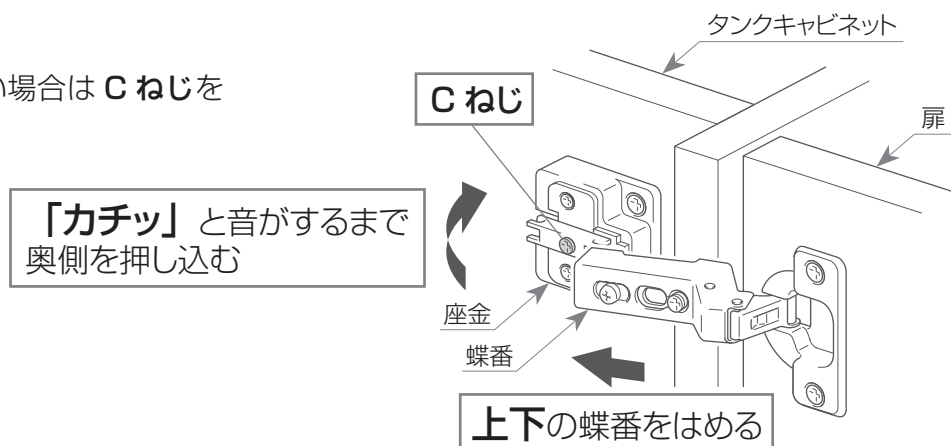
**参考**

ここでは仮固定とし、扉のすき間調整後にしっかり固定します。

## ⑦ 右側の扉も同様に固定する。

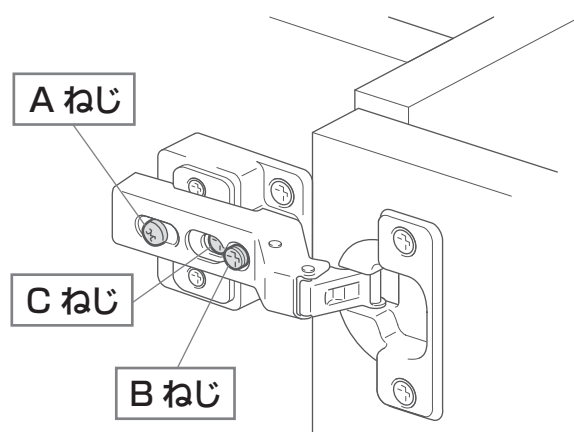
## ⑧ 扉をタンクキャビネットに取り付ける。

・上下の蝶番の手前側を座金にはめ込んで、蝶番の奥側を押し込み、蝶番を座金にロックします。

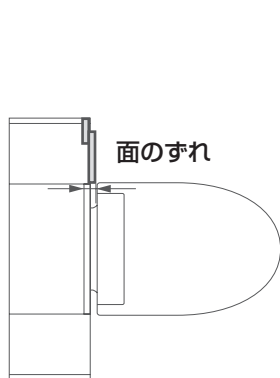
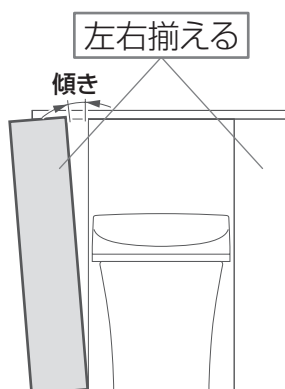
**参考**

扉の蝶番がはめにくい場合は C ねじを
ゆるめます。

STEP 5
2 扉の取付け

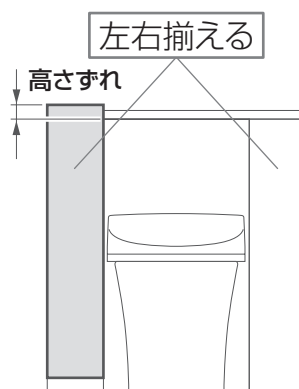
## ⑨ 扉とタンクキャビネットとの目地のすき間を確認する。

・扉（吊元側）のすき間を調整します。

**【面ずれの場合】**

A ねじで調整

**【傾いている場合】**

B ねじで調整

※目地すき間は 1 ～ 2mm
にする。

**【高さずれの場合】**

C ねじで調整

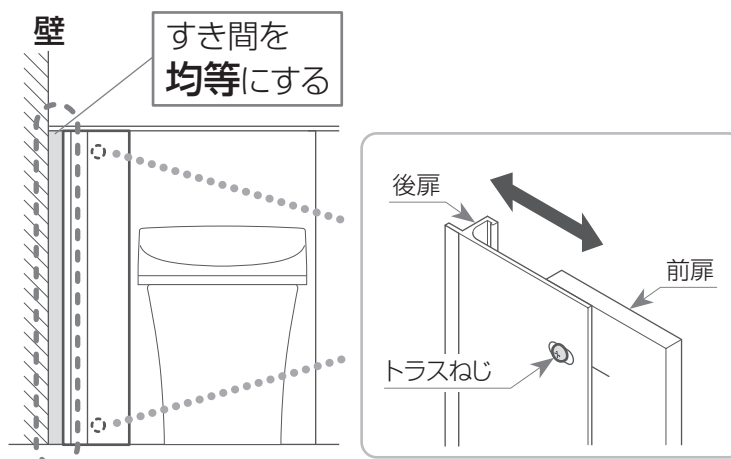
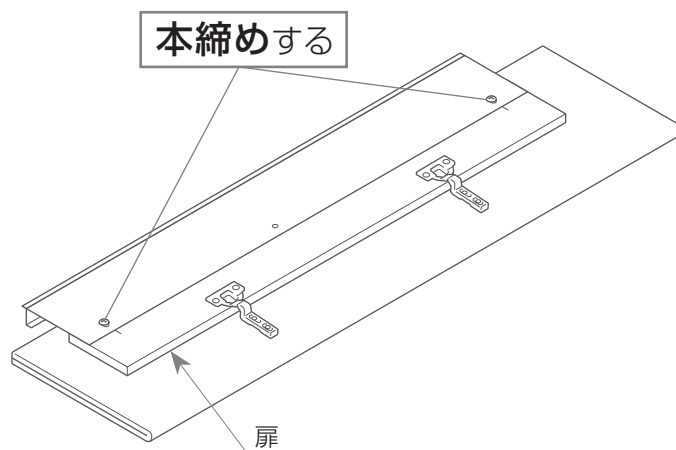
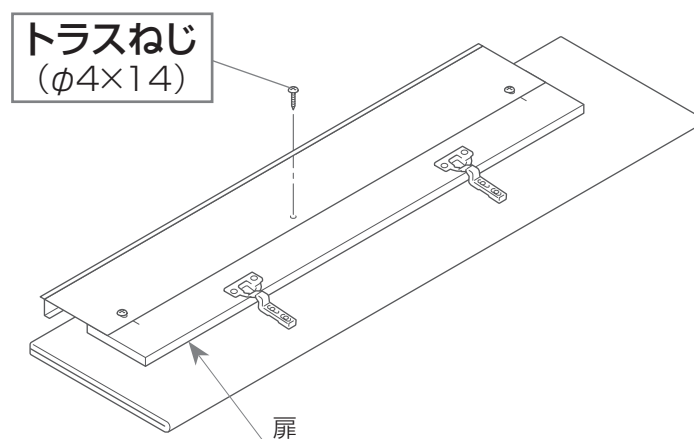
**⚠注意**

●調整後は必ず A、B、C ねじが固く締まっていることを確認してください。

2 扉の取付け

## ⑩ 扉裏のトラスねじをゆるめ、扉と壁（幅木）のすき間を上下均等になるよう調整する。

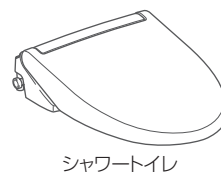
**参考**

壁側とのすき間が 2mm になるように調整します。

⑪ 扉を一旦外し、トラスねじを本締めする。

⑫ 扉の中央をトラスねじで固定する。

⑬ 扉をタンクキャビネットに取り付ける。

・すき間を確認し、ずれがあれば再度調整を行ってください。

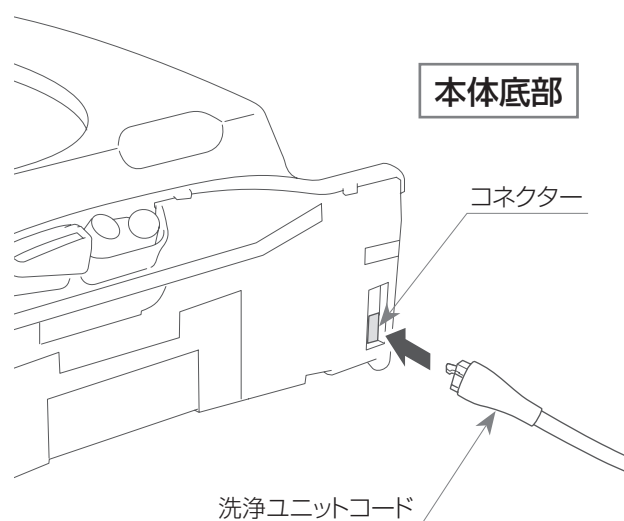
⑭ 反対側も同様に取り付ける。

# STEP 6 シャワートイレの取付け

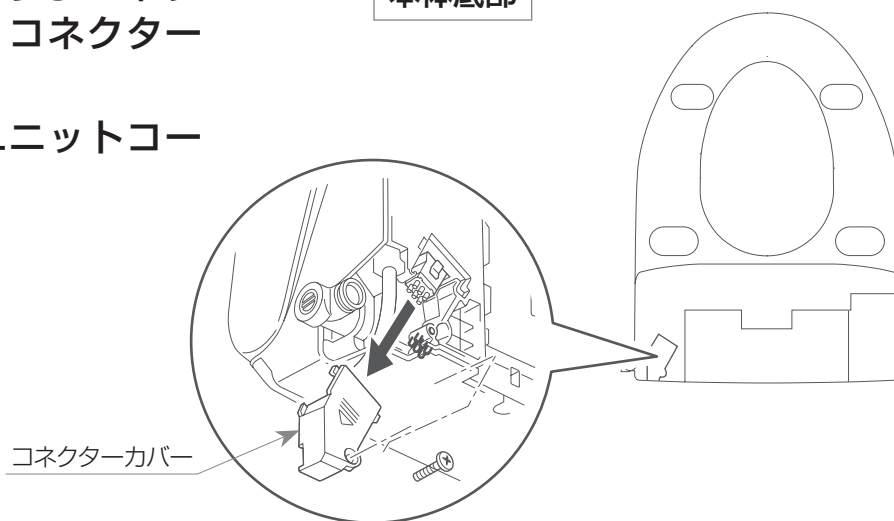
| 1 洗浄ユニットコードの接続 | ■シャワートイレ同梱品  シャワートイレ |
|---|---|
| ※シャワートイレの取付けは、同梱の施工説明書をご覧ください。 | |

シャワートイレの型番を確認します。

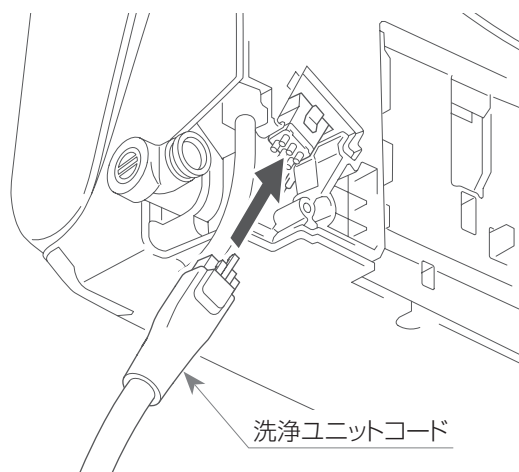
- CW-KA22GQ型、KA21GQ型の場合 ………57ページへ
- CW-EA14Q型、EA13Q型、EA12Q型の場合 …58ページへ

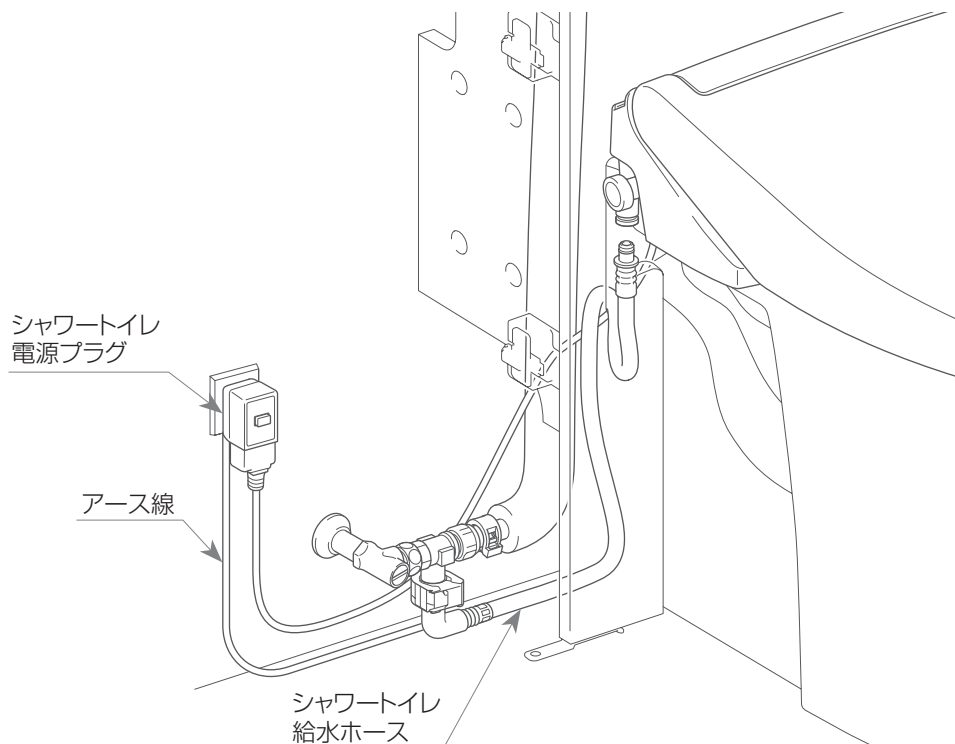
## CW-KA22GQ型、KA21GQ型の場合

① 本体底部の右側にあるコネクターに洗浄ユニットコードを接続する。

## CW-EA14Q 型、EA13Q 型、EA12Q 型の場合

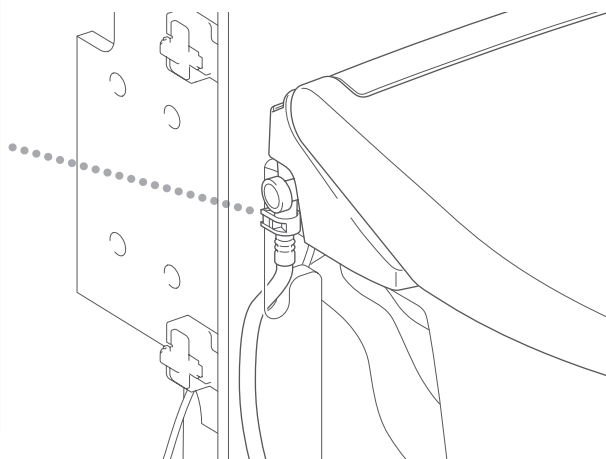
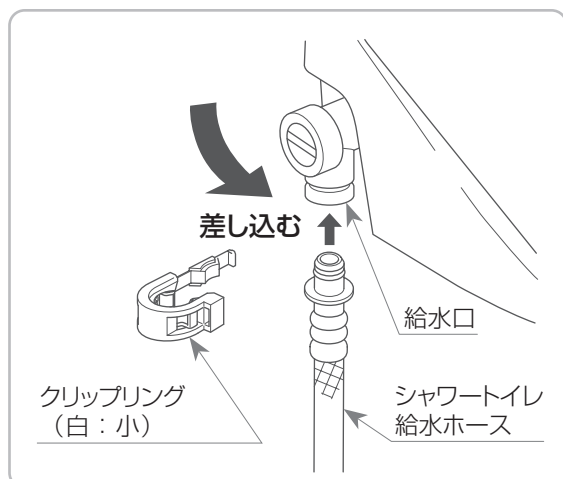
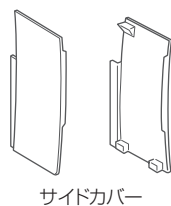
① 本体底部の左側にあるコネクターカバーを外し、コネクターを取り出す。

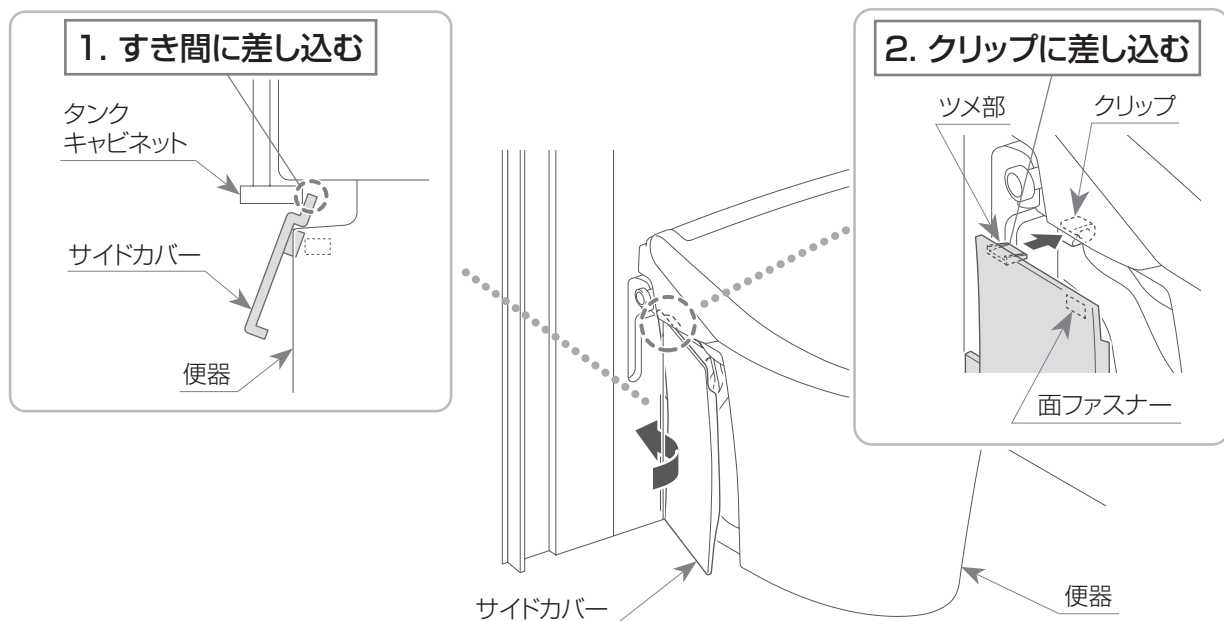
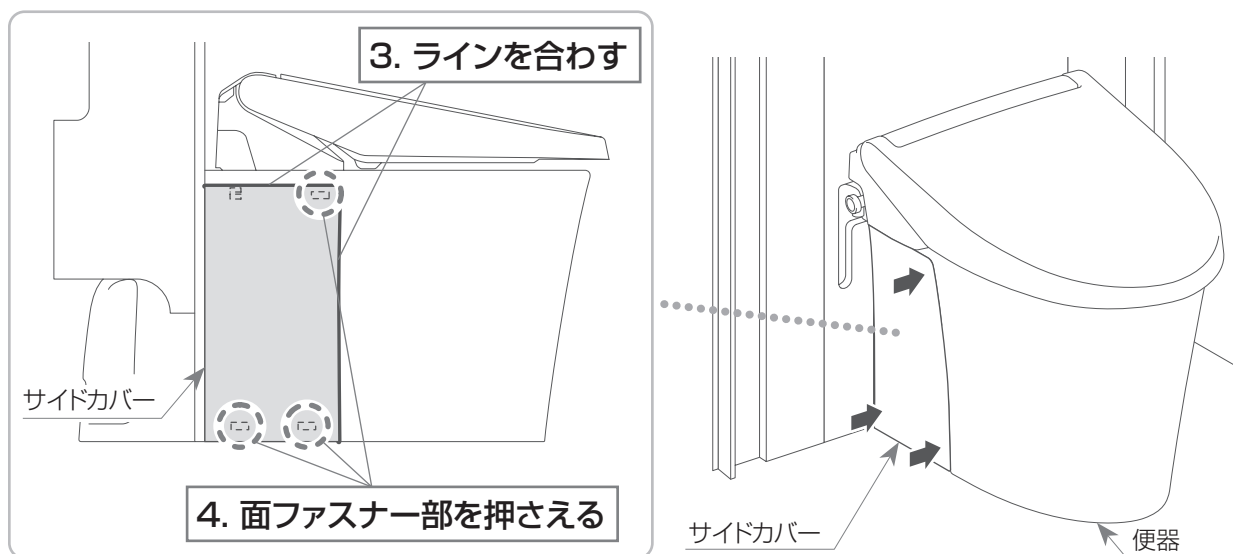
② コネクターを洗浄ユニットコードに接続する。

③ 接続したコネクターを本体に納め、洗浄ユニットコードをコードフックにかける。

④ コネクターカバーを取り付ける。

| 2 電源およびコードの取回し | 【タンクキャビネット同梱品】<br><br>クリップリング<br>（白：小） |
| --- | --- |
| ※シャワートイレの取付けは、同梱の施工説明書をご覧ください。 | |

## ① シャワートイレを取り付け、シャワートイレ給水ホースと電源コードを取り回す。

## ② シャワートイレ給水ホースをシャワートイレの給水口に接続する。

**⚠注意**

- **クリップリングは確実にはめ込んでください。**
- **O リングをキズつけないように注意してください。**
  ※きちんとはまっていないと、漏水事故の原因となることがあります。
- **クリップリングの取付け方・外し方は P. 9 を参照してください。**

## 3 サイドカバーの取付け

① サイドカバーの奥側を便器とタンクキャビネットのすき間に差し込む。
② サイドカバーのツメ部を便器のクリップに差し込み、固定する。

③ サイドカバーの上側および手前側を便器ラインに合わせる。
④ サイドカバーの面ファスナー部を押さえて、便器に固定する。

⑤ 反対側も同様に取り付ける。

# 4 止水位の確認

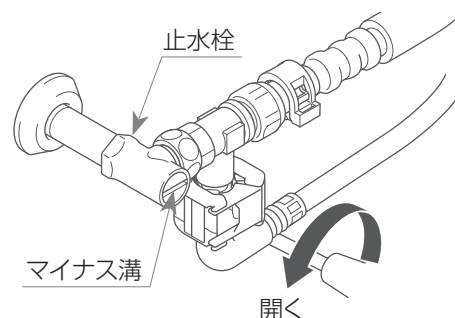
※通水されていない場合は、施工チェックシートをカウンターの上に置き、通水時に確認してください。洗浄不良の原因となります。

## ① 止水栓を全開にする。

- 固着を防ぐため、半回転戻しておいてください。
- 止水栓を閉めておく場合は、軽く締めた後、さらに約 1/4 回転（目安）ほど締めてください。

⚠注意

**●止水栓のマイナス溝に合ったマイナスドライバーを使用してください。**

※マイナス溝は樹脂製ですのでキズを付ける恐れがあります。

## 【手洗付の場合】

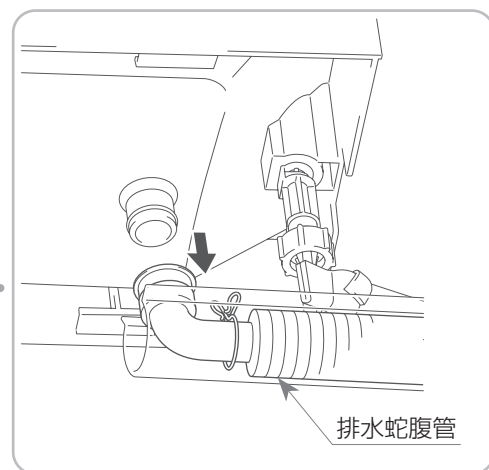
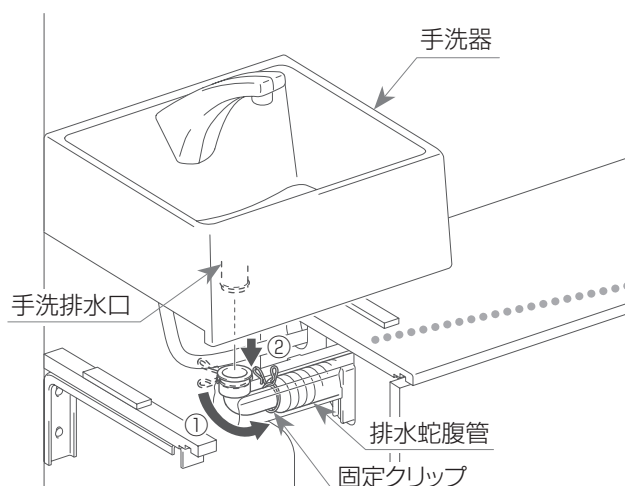
**※【手洗なしの場合】は、⑨に進みます。**

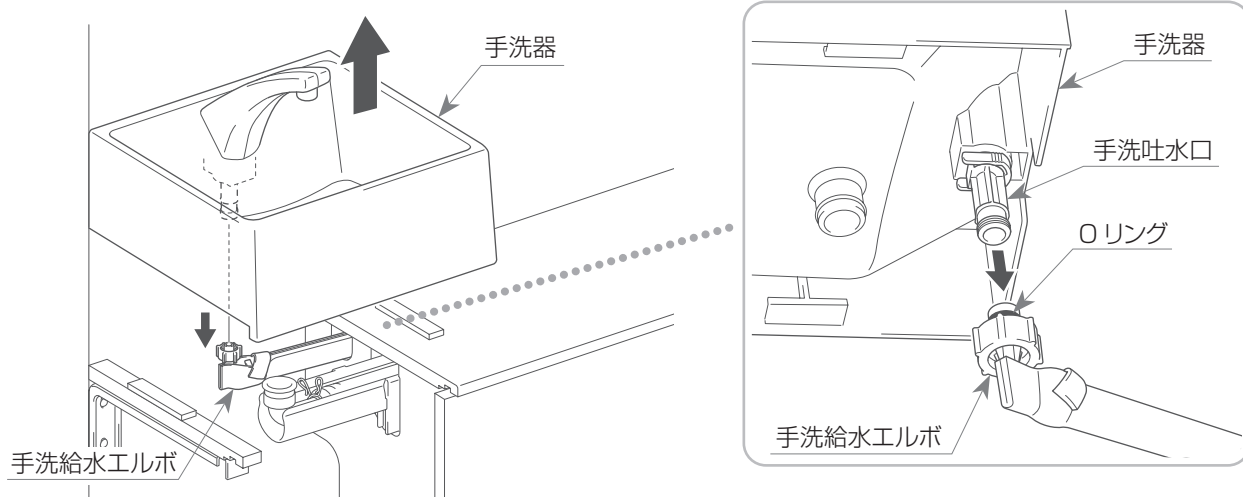
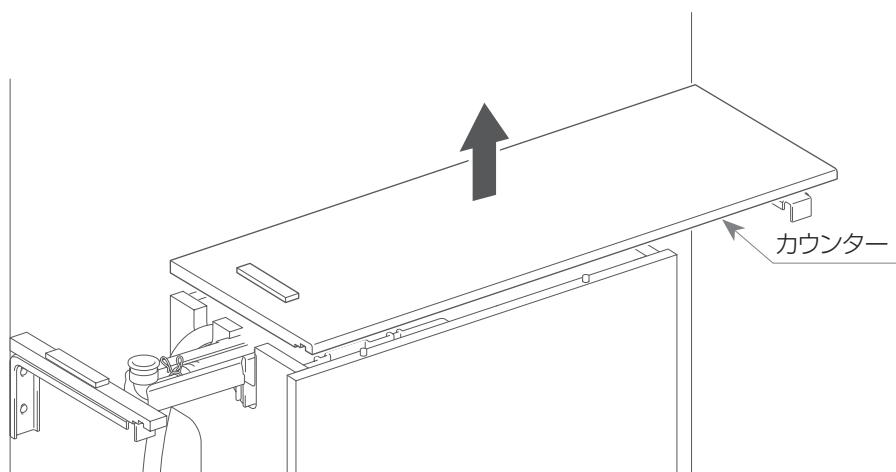
## ② 大洗浄ボタンを押して、手洗吐水開始時間の確認する。

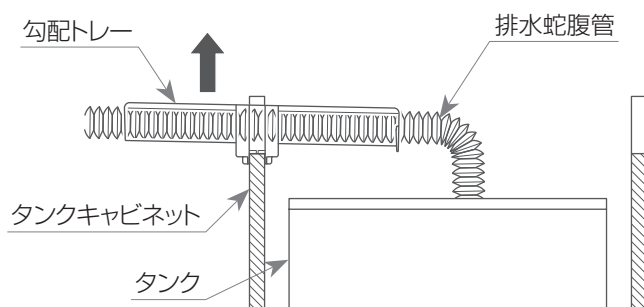
- 手洗吐水開始が遅いと感じたら、ボールタップの調整を行ってください。

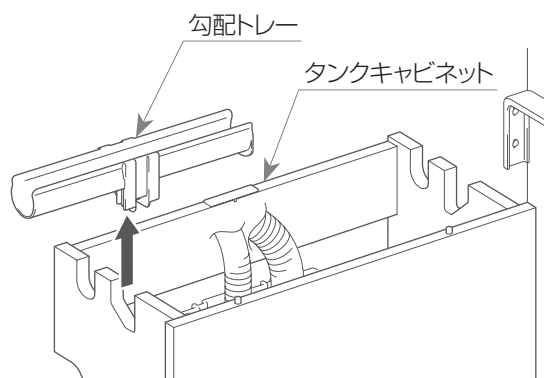
※吐水開始時間の目安は、4 秒です。それを超える場合は、⑪の調整時にボールタップの調整ダイヤルを右に回して、フロートを上げてください。操作方法は、⑪を確認ください。

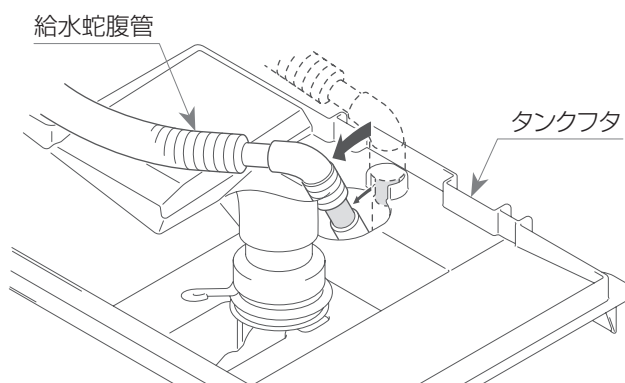
※通電していない場合は、洗浄ハンドルを奥側へ操作して、手洗吐水開始時間の確認をしてください。

## ③ 手洗器から排水蛇腹管を取り外す。

※イラストはＬ仕様を示す。

④ 手洗器から手洗給水エルボを取り外す。

⑤ カウンターを取り外す。

※イラストは L 仕様を示す。

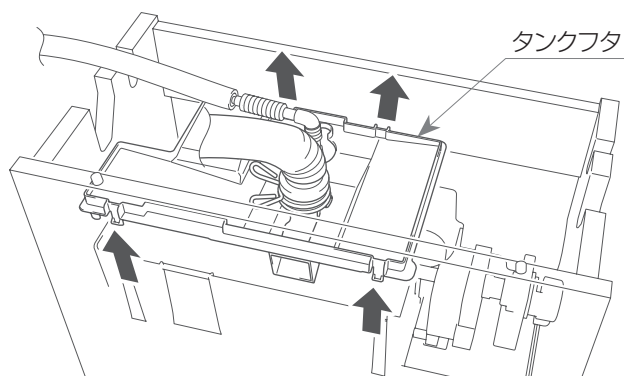
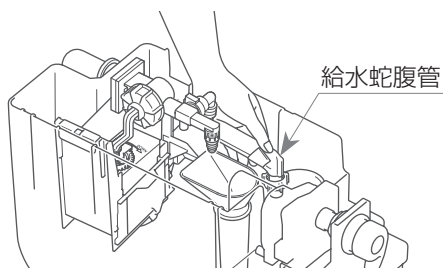
⑥ 排水蛇腹管を勾配トレーから取り外す。

※イラストは L 仕様を示す。

## ⑦ 勾配トレーを取り外す。

※イラストはL仕様を示す。

## ⑧ 給水蛇腹管をタンクフタから取り外す。

## 【手洗付・手洗なし共通作業】

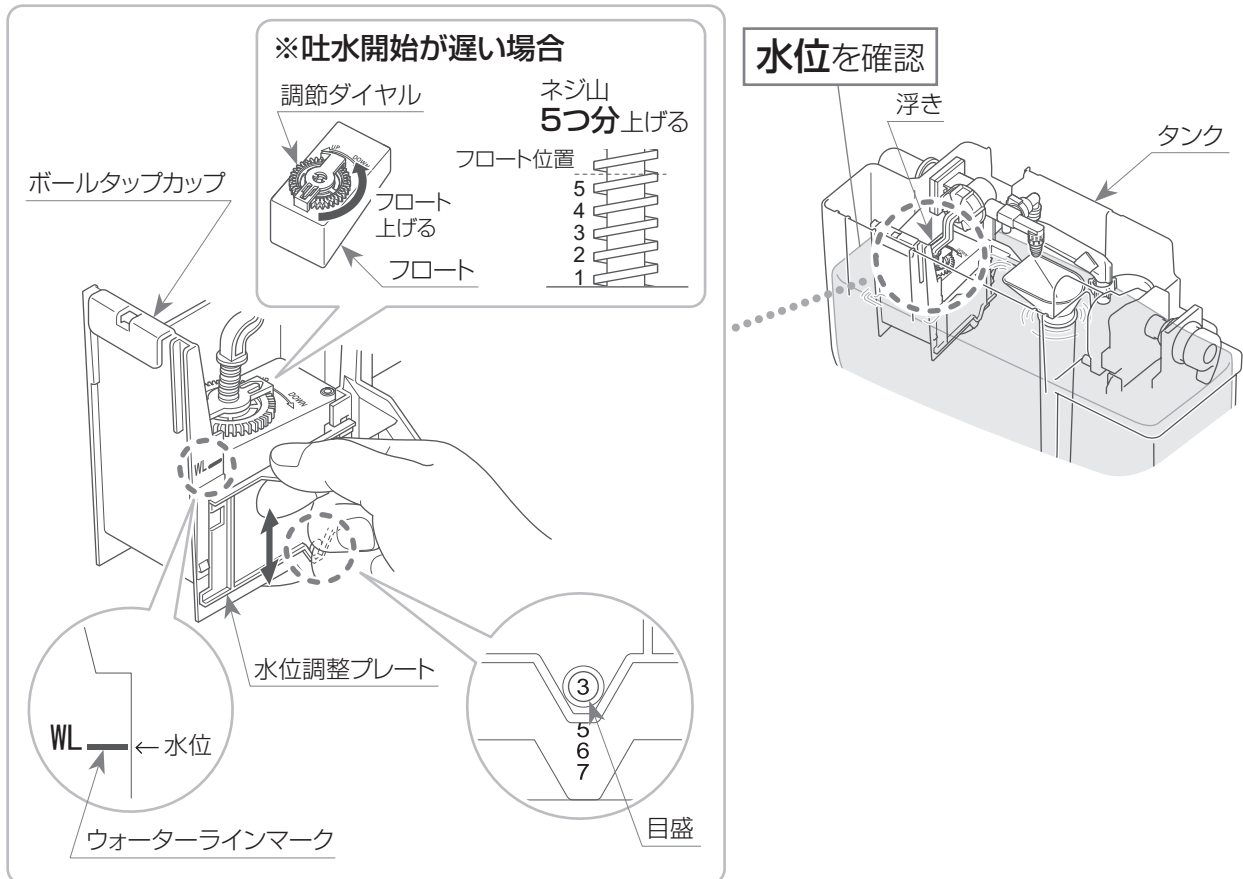
## ⑨ タンクフタを取り外す。

⚠注意

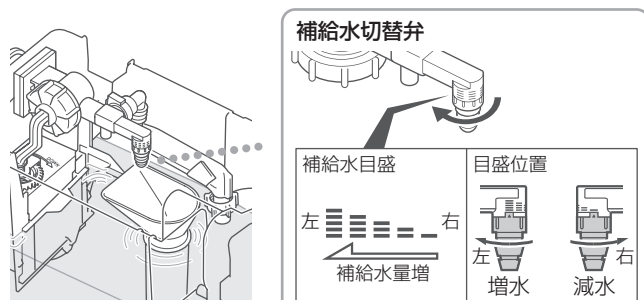
●手洗付の場合、手洗器から給水蛇腹管を外し、管の口をタンク内に向けてください。
※漏水の原因になります。

※イラストはL仕様を示す。

## ⑩ タンク内に水が溜まり、給水が止まることを確認する。

## ⑪ タンク内の水位（水面）がボールタップカップのウォーターラインマークに、合っていることを確認する。

- 水位が合っていない場合は、水位調整プレートを上下に動かし水位調節してください。
  水位を下げる場合は、下へ動かし目盛の数値を大きくする。（例：調整前３→調整後４）
  水位を上げる場合は、上へ動かし目盛の数値を小さくする。

## ⑫ 大小の便器洗浄を数回行い、便器の溜水面の確認する。

- 溜水面が低下する場合、便器の性能が十分に得られない可能性があります。
  以下の調整作業を行ってください。

1. 補給水切替弁を左に回して調整する。
2. 再度、溜水面が低下しないことを確認する。
※調整の際は、接続管を下に向けてください。

⑬ タンクフタを取り付ける。（P.36 手順④参照）

## 【手洗付の場合】

⑭ 手洗器とカウンターを取り付ける。（P.45 手順⑬〜㉑参照）

次は、⑮へ進みます。

## 【手洗なしの場合】

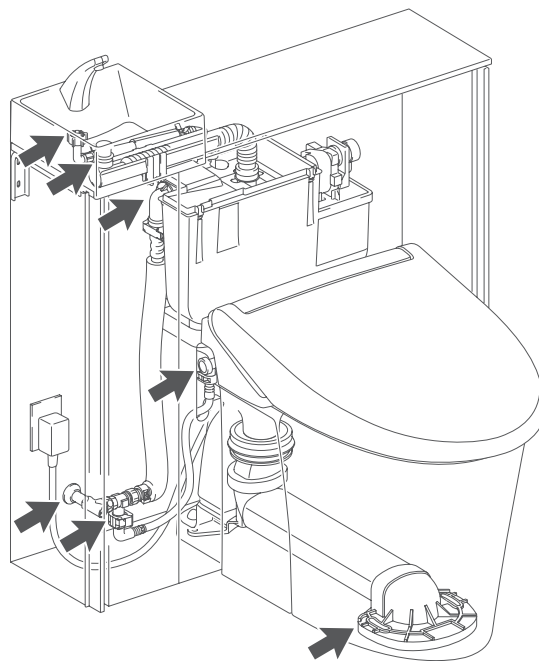
⑮ カウンターを取り付ける。（P.49 手順参照）

## 【手洗付・手洗なし共通作業】

⑯ 水漏れ点検をする。

・洗浄ハンドルを操作して便器洗浄を数回行い、各接続部に漏水がないことを確認します。同時にフロート弁の開閉、ボールタップの動作、洗浄ハンドルの戻り具合等、ロータンク内部金具に不具合がないことを確認します。

⚠ 注意

●給排水接続部の水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。

⑰ 洗浄確認をする。

・便器鉢内に長さ 760mm のトイレットペーパーを丸めたもの 7 個を入れ、これが 1 回の洗浄で排出できることを確認します。もし、1 回で排出できない場合は、フロート弁やその他の内部金具を点検します。

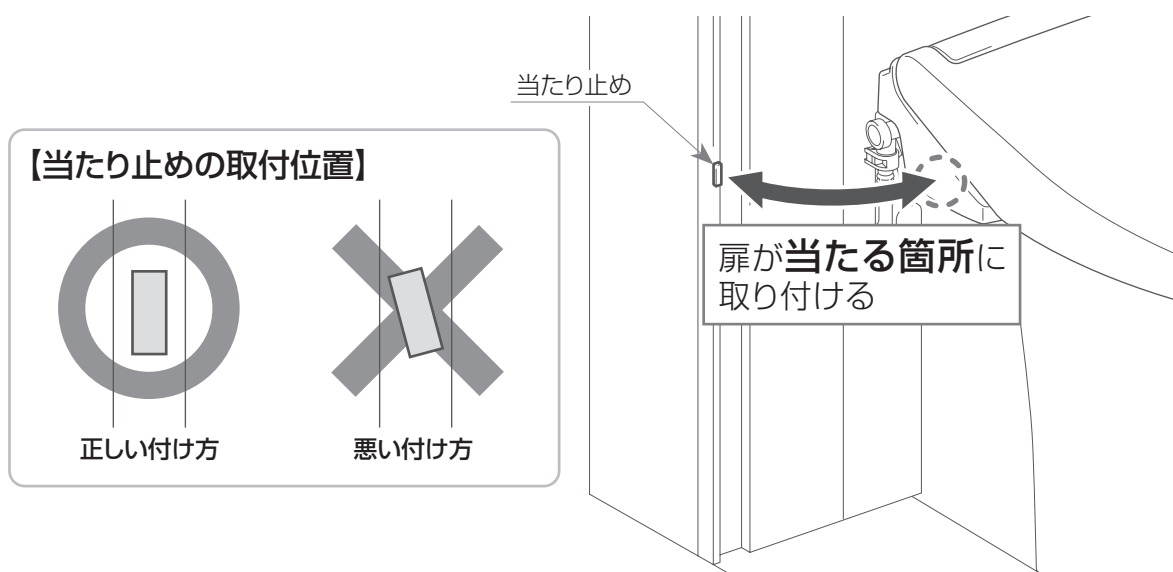
# 5 試運転と引渡し準備

| 【タンクキャビネット同梱品】 | ■シャワートイレ同梱品 |
| --- | --- |
|  当たり止め |  当たり止め |

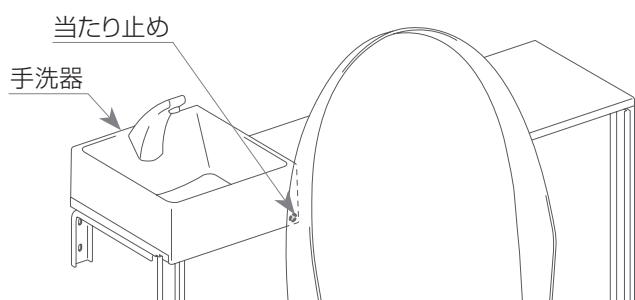
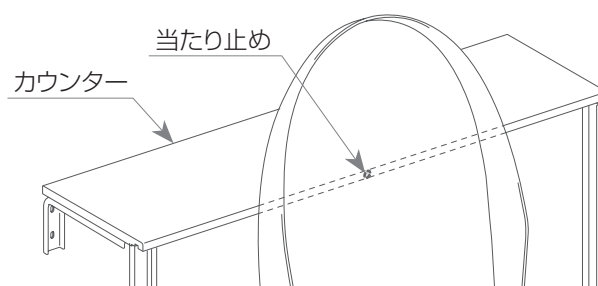
① 扉と各パネルの保護フイルム、シートをはがす。

② シャワートイレの電源を「入」にする。

③ リモコンのスイッチを押して、正常に便器洗浄が行われるかを確認する。

④ 扉に当たり止めを取り付ける。

⑤ 便フタの当たり止めを貼り付ける。

- 貼り付け位置はシャワートイレの便フタが当たるところに当たり止めを貼り付けてください。
- 貼り付け面をきれいにふきとってから貼り付けてください。

## 【手洗付の場合】

## 【手洗なしの場合】

●別紙の施工チェックシートで水漏れ点検を行ってください。通水されてない場合は、施工チェックシートをカウンターの上に置き、通水時に確認してください。

●お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。（シャワートイレの施工説明書、キャビネットタンク取扱説明書参照）